

令和6年度

通常総会

令和6年6月15日（土）宮崎県看護等研修センター



「看護の日」キャラクター
Kangochan



公益社団法人 宮崎県看護協会

令和 6 年度 宮崎県看護協会

通常総会要綱

目 次

宮崎県看護協会の基本理念

会長あいさつ

通常総会プログラム

提出議題

第一号議案	令和6年度役員等選出	7
	令和7年度日本看護協会代議員及び予備代議員の選出	8
(委員任命)	令和7年度選挙管理委員会委員の任命	8
第二号議案	令和5年度決算報告(案)並びに監査報告	9

報告事項

報告事項1	令和5年度理事会報告	13
	令和5年度常任理事会報告	15
報告事項2	令和5年度事業報告	16
	職能委員会報告	26
	保健師職能委員会	26
	助産師職能委員会	27
	看護師職能委員会Ⅰ	28
	看護師職能委員会Ⅱ	30
	常任委員会報告	32
	推薦委員会	32
	教育委員会	32
	働き続けられる職場環境づくり推進委員会	34
	広報出版委員会	35
	特別委員会報告	36
	看護制度委員会	36
	医療安全推進委員会	37
	認定看護管理者教育運営委員会	38
	学会委員会	39
	実習指導者講習会検討委員会	39
	まちの保健室地区代表者委員会	40
	災害看護地区代表者委員会	42
	専門認定看護師委員会	43
	令和5年度地区活動報告	45
	令和5年度日本看護協会理事会及び地区別法人会員会報告	55
報告事項3	令和6年度重点事業並びに事業計画	58
報告事項4	令和6年度収支予算	67

活動報告資料

教育部

令和5年度研修分類別研修実績	71
令和5年度認定看護管理者教育教育課程ファーストレベル	75
令和5年度認定看護管理者教育教育課程セカンドレベル	76
令和5年度宮崎県保健師助産師看護師実習指導者講習会	78
令和5年度看護職員認知症対応力向上研修	80

事業部

「まちの保健室」事業	82
令和5年度自殺対策に係る人材育成研修事業実績	84
令和5年度キャリア支援講話実績報告	85

ナースセンター

看護職員無料職業紹介事業報告	86
令和5年度復職支援研修受講者就業状況調査報告	87
令和5年度看護系進学状況調査結果	88
令和5年度看護の出前授業実施報告	88
令和5年度看護人材獲得支援員設置事業報告	90

在宅支援室

令和5年度訪問看護推進事業報告	92
令和5年度宮崎県看護協会訪問看護ステーションなでしこ3館運営協議会報告	94
令和5年度宮崎県看護協会訪問看護ステーションなでしこ3館報告	95

資料

定款	101
定款細則	107
会館整備資金取扱規程	111
組織図	112
令和5年度役員委員名簿	113
令和5年度関係機関等への委員等の参画	116
令和5年度関係団体の後援	118
令和6年度日本看護協会代議員及び予備代議員名簿	119
令和6年度入会施設一覧名誉会員個人会員	120
年次別入会者数	129
県内就業者数と入会状況	130
全国看護協会会員数と入会率	131
日本看護協会歌	132

宮崎県看護協会の基本理念

I 使命

人々の人間としての尊厳を維持し、健康で幸福でありたいという普遍的なニーズに応え、人々の健康な生活の実現に貢献する。そのため、

- 一 教育と研鑽に根ざした専門性に基づき看護の質の向上を図る
- 一 看護職が生涯を通して安心して働き続けられる環境づくりを推進する
- 一 人々のニーズに応える看護領域の開発・展開を図る

II 活動理念

- 一 看護職の力を変革に向けて結集する
- 一 自律的に行動し協働する
- 一 専門性を探究し新たな価値を創造する

III 基本戦略

看護の質の向上、看護職が働き続けられる環境づくり、看護領域の開発・展開の3つの使命に基づく事業領域において、政策形成、自主規制、支援事業、開発・経営、広報、社会貢献の6つの実現手法を用いて、人々の健康な生活の実現を図るものである。

令和 6 年度 宮崎県看護協会通常総会開催にあたって

公益社団法人宮崎県看護協会
会長 中武 郁子

会員の皆さまには、日頃より宮崎県看護協会事業へのご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

また元日に発生した能登半島地震により犠牲になられた方々のご冥福をお祈りするとともに被災された皆さまが一日も早く日常生活を取り戻されますよう心より祈念申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症は昨年 5 月に感染症法上の位置づけが 2 類から 5 類へと引き下げられ大きな転換期を迎えました。感染対策は個人の判断に委ねられることになり、人々の行動もコロナ禍前に戻っています。

私たち看護職はじめ医療・介護従事者は、3 年以上もの長い間地域の医療・介護提供体制を守るためにコロナウイルスと闘ってきました。

看護職は平時はもとより、大規模災害の発生や感染症蔓延時等どのような状況においても人々に寄り添い対応するという使命は変わりません。

コロナ禍においては、有事に備え平時からの地域ネットワークの構築や、日常的な健康管理の重要性を再認識するとともに、人々の健康のために看護職が果たす役割について考える機会にもなりました。

国が進めている医療計画では、第 8 次医療計画に「新興感染症・まん延時における医療」の事業が追加され、本年 4 月から、災害と新興感染症に対応する新たな災害支援ナース制度が始まりました。

宮崎県看護協会では、日本看護協会と連携し、災害や新興感染症の発生時に、他の医療機関等への応援派遣に対応できる看護職の養成研修を実施するとともにリスト化を進めています。今後の災害支援ナース派遣に関しては、県と緊密な連携の下に対応してまいります。

また昨年は「看護師等の確保を促進するための措置に関する基本的な指針」が制定から 30 年を経て初めて改定されました。

看護を巡る状況の変化や少子高齢化の進行により、現役世代が急減する中、看護ニーズの増大に対し、看護職確保及び資質の向上に向けて取り組むべき方向が示されています。特筆すべきは看護管理者の資質向上とリーダーシップの重要性が明文化されていることです。是非それぞれの現場でご活用下さい。

2040 年の社会情勢を見据え、加えて自然災害や新興感染症の拡大などによる健康危機への対応など、人々が地域でその人らしく生活できるためにも全世代型の地域包括ケアシステムを構築・推進していくことが求められています。

2024 年度の重点事業は、昨年度の事業を踏襲し、継続的に進めていとともに課題解決に向けて取組んでまいります。

- 1 地域包括ケアを支える看護提供体制の強化
- 2 看護職の働き方の推進
- 3 看護職の役割拡大の推進と人材育成
- 4 地域における健康危機管理体制の整備
- 5 組織力の強化

国内で初めて新型コロナウイルス感染症が確認されたのは、会長に就任して 2 年目の冬でした。正体不明なウイルスに対する恐れや偏見はじめ、数回に及ぶ非常事態宣言等多くの人々が不安な日々を過ごしてきました。

看護協会として、会長として現場に寄り添うために何をすべきか模索する日々の中、根底にあったのは看護とは何か、看護職は何をする人かということでした。看護の役割は、対象となる人々がどのような健康状態であっても、人生を生きる一人の個人として「医療の視点」と「生活の視点」をもって総合的にみることです。看護職は、人が生まれ、看取りの時まで、その人に寄り添い、人々の健康と療養を支える専門職です。看護職が専門職としてその役割を果たすために看護協会としての活動があるのだと思います。

引き続き協会事業へのご理解とご支援をお願い申し上げます。

令和6年度公益社団法人宮崎県看護協会 通常総会プログラム

日 程 令和6年6月15日（土） 10:00～12:25

会 場 宮崎県看護等研修センター 大研修室

- | | |
|-------|--|
| 9:30 | 開場 |
| 9:55 | オリエンテーション |
| 10:00 | 開会
物故会員への黙祷
会長あいさつ
来賓祝辞
来賓紹介
宮崎県看護協会長表彰
各種表彰者紹介 |
| 10:45 | 議長団選出
議事録署名人選任 |
| 10:50 | 議決事項
第一号議案 令和6年度役員等選出
令和7年度日本看護協会代議員及び予備代議員の選出

令和7年度選挙管理委員会委員の任命
＜ 選 挙 ＞ |
| 11:10 | 第二号議案 令和5年度決算報告（案）並びに監査報告 |
| 11:25 | 報告事項
報告事項1 令和5年度理事会報告
報告事項2 令和5年度事業報告
報告事項3 令和6年度重点事業並びに事業計画
報告事項4 令和6年度収支予算 |
| 12:10 | 選挙結果報告
新役員紹介
議長団退出
退任役員代表あいさつ |
| 12:25 | 閉会 |

提 出 議 題

第一号議案

令和 6 年度役員等選出・・・・・・・・・・・・・・・・・・7

令和 7 年度日本看護協会代議員及び予備代議員の選出・・・・・・・・8

(委員任命)

令和 7 年度選挙管理委員会委員の任命・・・・・・・・・・8

第二号議案

令和 5 年度決算報告（案）並びに監査報告・・・・・・・・・・9

(第一号議案) 令和6年度役員等選出
令和7年度日本看護協会代議員及び予備代議員の選出

令和6年度改選役員候補者

役職名		定数	改選	候補者	候補者名	所 属	現・新
会 長		1	1	1	久保 敦子	自宅	新
副 会 長		2	1	1	中村 小夜子	宮崎大学医学部附属病院	新
常 務 理 事		2	2	2	永野 秀子	自宅	新
					川崎 伸子	自宅	新
看護師職能Ⅰ理事		1	1	1	釘崎 信	西都病院	新
地区理事	延岡・西臼杵	7	2	2	鴨田 充世	延岡市医師会病院	新
	都城・北諸県				荒武 昌代	藤元総合病院	新

令和6年度推薦委員会委員候補者

候補者名	所 属	現・新
興梠 靖子	五ヶ瀬町国民健康保険病院	新
上原 千枝	宮崎県日向保健所	新
安田 みゆき	宮崎県立宮崎病院	新
岡野 理恵	宮崎江南病院	新
上田 淳子	藤元上町病院	新
清水 小百合	串間市民病院	新

令和7年度日本看護協会代議員及び予備代議員候補者

番号	代議員・予備代議員区分	氏 名	職能別	役職等
1	代議員候補者	田中 美幸	保健師	副会長
2	代議員候補者	川崎 伸子	看護師	常務理事
3	代議員候補者	蛸原 夕起子	保健師	保健師職能理事
4	代議員候補者	田中 優子	助産師	助産師職能理事
5	代議員候補者	釘崎 信	看護師	看護師職能Ⅰ理事
6	代議員候補者	黒木 正樹	看護師	看護師職能Ⅱ理事
7	代議員候補者	崎村 真由美	准看護師	准看護師理事
8	代議員候補者	弓削 尚美	看護師	小林・えびの・西諸県地区理事
9	代議員候補者	山中 ゆかり	看護師	日南・串間地区理事
予備 1	予備代議員候補者	中村 小夜子	看護師	副会長
予備 2	予備代議員候補者	永野 秀子	保健師	常務理事
予備 3	予備代議員候補者	永山 加恵	保健師	保健師職能委員
予備 4	予備代議員候補者	林田 留実子	助産師	助産師職能委員
予備 5	予備代議員候補者	佐藤 百恵	助産師	助産師職能委員
予備 6	予備代議員候補者	井上 めぐみ	看護師	看護師職能委員（Ⅰ領域）
予備 7	予備代議員候補者	佐藤 幸代	看護師	看護師職能委員（Ⅱ領域）
予備 8	予備代議員候補者	中村 幸恵	准看護師	看護師職能委員（Ⅰ領域）
予備 9	予備代議員候補者	鴨田 充世	看護師	延岡・西臼杵地区理事
予備 10	予備代議員候補者	荒武 昌代	看護師	都城・北諸県地区理事

令和7年度選挙管理委員会委員の任命について

公益社団法人宮崎県看護協会は、役員・推薦委員並びに日本看護協会通常総会代議員及び予備代議員の選挙を公正に行うために、事前に選挙管理委員会を設置し以下の任務を行うものとします。

- （１）選挙に関する公示（選挙の４か月前までに正会員に公示する）
- （２）立候補、又は候補者辞退の届出の受理
- （３）推薦委員会から推薦候補者名簿の受理
- （４）立候補者及び推薦候補者の公示
- （５）投票及び開票の管理
- （６）当選者の確定
- （７）当選者の総会議長への報告
- （８）その他選挙事務の管理に必要と認めた事項

令和7年度選挙管理委員会委員候補者

職 種	氏 名	所 属
保健師	田邊 真理	宮崎県高鍋保健所
保健師	地田 良美	宮崎市保健所
助産師	松本 友紀子	宮崎県立延岡病院
助産師	長倉 千夏	宮崎県立宮崎病院
看護師Ⅰ	餅原 悦子	小林市立病院
看護師Ⅰ	日高 栄美	和田病院
看護師Ⅱ	日野 亮司	訪問看護ステーション陽のひかり
看護師Ⅱ	谷口 世志美	自宅

(別冊)

報 告 事 項

報告事項 1	令和 5 年度理事会報告	13
報告事項 2	令和 5 年度事業報告	16
報告事項 3	令和 6 年度重点事業並びに事業計画	58
報告事項 4	令和 6 年度収支予算	67

（報告事項１）令和５年度 理事会報告

１．役員総数：理事 17 名、監事 3 名

２．開催回数：8 回

３．開催状況

回数	日時	主な協議事項	出席者数	
			理事	監事
第 1 回	令和 5 年 4 月 15 日(土) 9：55～11：30	協議 1. 基本方針 令和 5 年度事業計画について：承認 協議 2. 事業推進に関する事項 2-1 事業報告（令和 5 年 1 月～3 月分）（案）について：承認 2-2 第 1 回常任委員会・特別委員会合同委員長会議について：承認 協議 3. 寄附金の執行について：承認 協議 4. 人事関係：なし 協議 5. トルコ地震への寄付について：承認	17 名	3 名
第 2 回	令和 5 年 5 月 19 日(金) 11：00～11：55	協議 1. 基本方針：なし 協議 2. 事業推進に関する事項 特別委員会（看護制度委員会・医療安全推進委員会）委員の変更について：承認 協議 3. 管理的事項 令和 4 年度決算報告（案）並びに監査報告について：承認 協議 4. 人事関係：なし 協議 5. その他：なし	17 名	3 名
第 3 回	令和 5 年 6 月 17 日(土) 12：25～12：50	協議 1. 会長、副会長の選定（案）について：承認 協議 2. 常務理事の選定（案）について：承認 協議 3. 会長代行の優先順位（案）について：承認	16 名	3 名
第 4 回	令和 5 年 7 月 15 日(土) 11：05～12：10	協議 1. 基本方針：なし 協議 2. 事業推進に関する事項 2-1 事業報告（令和 5 年 4 月～6 月分）（案）について：承認 2-2 令和 5 年度施設代表者会議について：承認 協議 3. 管理的事項：なし 協議 4. 人事関係：なし 協議 5. その他：なし	16 名	2 名
第 5 回	令和 5 年 10 月 28 日(土) 9：55～11：30	協議 1. 基本方針：なし 協議 2. 事業推進に関する事項 2-1 事業報告（令和 5 年 7 月～9 月分）（案）について：承認 協議 3. 管理的事項：なし 協議 4. 人事関係：なし 協議 5. その他 令和 6 年度理事会等開催計画（案）について：承認	12 名	3 名

回数	日時	主な協議事項	出席者数	
			理事	監事
第6回	令和5年 12月9日(土) 9:55～11:05	協議1. 基本方針 1-1 令和6年度重点事業(案)について:承認 1-2 令和6年度教育計画(案)について:承認 協議2. 事業推進に関する事項: 2-1 特別委員会「災害看護地区代表者委員会」の名称、構成委員の変更(案)について:承認 協議3. 管理的事項 3-1 研修受講料(認定看護管理者)改定(案)について:承認 3-2 訪問看護ステーションなどしこの諸運営規則の改正(案)について ・「訪問看護ステーションなどしこ1号館(2号館、3号館)運営規則」(医療保険)(案) ・「訪問看護ステーションなどしこ1号館(2号館、3号館)運営規則」(介護予防)(案) ・「訪問看護ステーションなどしこ1号館(2号館、3号館)運営規則」(介護保険)(案) ・「指定居宅介護支援事業所運営規則などしこ2号館(などしこ3号館)」(案) 協議4. 人事関係:なし 協議5. その他 5-1 令和6年度日本看護協会長表彰候補者の推薦について:承認	15名	2名
第7回	令和6年 1月20日(土) 10:00～11:40	協議1. 基本方針 令和6年度重点事業並びに事業計画(案)について:承認 協議2. 事業推進に関する事項 2-1 事業報告(令和5年10月～12月分)(案)について:承認 協議3. 管理的事項 3-1 寄附金の執行について:承認 協議4. 人事関係:なし 協議5. その他:なし	17名	2名
第8回	令和6年 3月16日(土) 9:55～10:50	協議1. 基本方針:なし 協議2. 事業推進に関する事項: 2-1 令和6年度宮崎県看護協会通常総会開催方法及びプログラム(案)について:承認 2-2 通常総会議長団等の選出(案)について:承認 2-3 通常総会提出議案:承認 2-4 令和7年度選挙管理委員会委員について:承認 2-5 令和5年度職能委員並びに常任委員等の選任について:承認 2-6 令和6年度宮崎県看護協会収支予算(案)について:承認 協議3. 管理的事項:なし 協議4. 人事関係 4-1 事務局長の選任について:承認 協議5. その他 5-1 令和6年度宮崎県看護協会長表彰候補者の選考について:承認 5-2 能登半島地震に対する寄付について 5-3 令和6年度理事会等開催計画の一部変更について	16名	2名

令和５年度 常任理事会報告

1. 構 成 員：会長・副会長（２名）・常務理事（２名）
2. 開催回数：７回
3. 開催状況

回数	日時	主な協議事項	出席
第１回	令和５年 ４月１２日(水) ９：５５～１１：３０	第１回（４月１５日）理事会の協議事項・報告事項について	５名
第２回	令和５年 ５月１５日(月) ９：５５～１１：１０	第２回（５月１９日）理事会の協議事項・報告事項について	５名
第３回	令和５年 ７月１２日(水) １０：００～１１：４０	第４回（７月１５日）理事会の協議事項・報告事項について	５名
第４回	令和５年 １０月２５日(水) １０：００～１１：３０	第５回（１０月２８日）理事会の協議事項・報告事項について	５名
第５回	令和５年 １２月６日(水) １０：００～１１：３０	第６回（１２月９日）理事会の協議事項・報告事項について	５名
第６回	令和６年 １月１７日(水) １０：００～１１：３０	第７回（１月２０日）理事会の協議事項・報告事項について	５名
第７回	令和６年 ３月１３日(水) １０：００～１１：２０	第８回（３月１６日）理事会の協議事項・報告事項について	５名

(報告事項 2) 令和 5 年度事業報告

1. 看護教育及び学会等学術振興に関する看護の質向上に関する事業（公益目的事業）

1-1) 継続教育の推進

(1) 教育の企画・実施（P71～74 参照）

- ①「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育
 - ・20 研修 受講者 1,341 名
- ②ラダーと連動した継続教育
 - ・10 研修 受講者 1,142 名
- ③看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成に向けた継続教育
 - ・3 研修 受講者 207 名
- ④専門能力開発を支援する教育体制の充実にに向けた継続教育
 - ・6 研修 受講者 347 名
- ⑤資格認定教育
 - ・9 研修 受講者 256 名
- ⑥看護の質向上のための研修（地区開催）（P45～54 参照）
 - ・6 研修 受講者 268 名

(2) 教育研修計画の広報

- ・2024 年度「教育研修計画」リーフレットの作成（11,000 部）及び配布

(3) 会員専用ページ「キャリアース」への研修受講履歴の提供によるキャリア構築の支援

(4) 教育委員会の開催 定例 8 回、企画会議 3 回（P32～34 参照）

(5) 日本看護学会教育関連の学会、研修会等への参加

- ・第 54 回日本看護学会学術集会 11 月 8 日～9 日 参加者 1 名
- ・日本看護サミット 2023 2 月 14 日 参加者 1 名

(6) 研修実施報告書の作成

- ・令和 4 年度「教育研修実施報告書」の作成、配布
- 作成部数：500 部 配付先：会員施設、県医師会・郡市医師会等

(7) 研修環境の整備・管理

- ①購入雑誌・図書の検討及び見直し
- ②教材機器の整備・管理
- ③研修管理システム「マナブル」の運営

1-2) 新人看護職員育成の推進

(1) 新人看護職員研修推進事業（宮崎県委託事業）

①新人看護職員研修の計画・実施

- ・新人看護職員合同研修 4 研修 受講者 837 名
- ・新人看護職員「研修責任者」研修、「教育担当者」研修、「実地指導者」研修 1 研修 受講者 134 名
- ・新人看護職員研修責任者研修 1 研修 受講者 22 名
- ・新人看護職員教育担当者研修 1 研修 受講者 36 名
- ・新人看護職員実地指導者研修 1 研修 受講者 72 名
- ・看護基礎教育の現場と看護現場の連携研修 1 研修 受講者 59 名

②研修計画・実施について広報

- ・ホームページに新人看護職員研修受入機関を掲載 10 施設
- ・2024 年度新人看護職員研修計画リーフレット及びクリアファイルの作成、配付
- 作成部数：3,000 部 配布先：会員施設、医師会、看護師等学校養成所等

③新人看護職員教育体制づくり支援（アドバイザー派遣）事業

- ・アドバイザー派遣 1 施設
- ・打合せ会議の開催 6 月 21 日 参加者 6 名
- ・フォローアップ 8 月 28 日 参加者 23 名

- ④新人看護職員研修推進協議会の開催 2月1日 参加者9名
- ⑤新人看護職員研修に関連する学会、研修会への参加
 - ・第54回日本看護学会学術集会 11月8日～9日 参加者1名
 - ・日本看護サミット2023 2月14日 参加者1名
- ⑥研修実施報告書の作成
 - ・令和5年度宮崎県新人看護職員研修推進事業実施報告書の作成、配布
作成部数：450部 配付先：宮崎県、講師、会員施設、県医師会・郡市医師会等
- ⑦県内医療機関における新人看護職員の研修等に関する調査
 - ・調査対象：130施設 回収：88施設（回収率67.7%）

1-3) 認定看護管理者教育の推進

- (1) 認定看護管理者教育運営委員会開催（委員8名） 6回（P38～39参照）
- (2) ファーストレベル教育課程
 - ①認定看護管理者教育課程ファーストレベルの実施（P75～76参照）
5月24日～9月8日（105時間） 受講者63名 補講者1名 修了者61名
 - ②ファーストレベル教育課程修了者フォローアップ研修 5月21日 受講者35名
- (3) セカンドレベル教育課程
 - ①認定看護管理者教育課程セカンドレベルの実施（P76～77参照）
10月6日～1月19日（183時間） 受講者32名 補講者1名 修了者32名
 - ②セカンドレベル教育課程修了者フォローアップ研修 6月18日 受講者16名
 - ③看護管理実践報告会 7月28日 受講者7名
 - ④看護管理学会、日本看護学会等への参加
 - ・第27回日本看護管理学会学術集会 8月25日～26日 参加者2名

1-4) 専門・認定看護師活動の支援

- (1) 専門看護師・認定看護師研修会
 - ①専門看護師・認定看護師研修会の開催 1月27日 受講者53名
 - ②専門・認定看護師委員会開催（委員6名） 4回（P43～44参照）
 - ③人的資源活用
- (2) 専門看護師・認定看護師の分野を越えたネットワーク構築
 - ①専門・認定看護師が協働して企画する看護職対象研修の開催 11月24日 受講者54名
 - ②人的資源活用
 - ③県内看護職・県民への情報発信
 - ・会報「なでしこ」への掲載 『もう一度おさえておきた看護のコツ』（Vol.150～153）
 - ・ホームページ「専門・認定看護師からのお知らせ」への掲載（Vol.27～29）

1-5) 看護学会等学術振興の支援

- (1) 宮崎県看護研究学会の開催 3月2日
 - ・発表演題 口演18題 示説16題
 - ・参加人数 会場参加140名 Web参加159名（学生144名含む）
 - ・特別講演 テーマ『「日本のひなた宮崎」を支える看護』
 - ①看護研究学会委員会開催（委員6名） 6回（P39参照）
 - ②看護研究抄録選考委員会開催 11月16日 参加者16名
 - ③日本看護学会、日本看護科学学会等への参加
 - ・第43回日本看護科学学会学術集会 12月9日～10日 参加者1名

1-6) 実習指導者講習会の支援

- (1) 実習指導者講習会（宮崎県委託事業）
 - ①宮崎県保健師助産師看護師実習指導者講習会開催
 - ・病院主体コース 6月14日～8月10日（27日間） 受講者38名 修了者38名

- ・特定分野コース 8月2日～8月25日（8日間） 受講者9名 修了者6名
- ②実習指導者講習会修了者フォローアップ研修開催 2月17日 受講者20名
- ③実習指導者検討委員会開催（委員5名） 6回（P39～40 参照）

2. 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による県民の健康及び福祉の増進に関する事業（公益目的事業）

2-1) 働きやすい職場環境づくりの推進と事業支援

(1) 職場環境づくり推進事業（宮崎県委託事業）

- ①看護職の働き方改革の推進に向け、健康で安心して働くことができる職場づくりの推進
 - ・働き続けられる職場環境づくり推進委員会開催（委員8名） 10回（P34～35 参照）
 - ・看護職の働き方改革推進研修会 9月15日 受講者85名
 - ・看護職員の勤務環境についての調査の実施
 - ・地区施設代表者会議において勤務環境調査結果の報告及び意見交換
調査結果が出ず実施なし
 - ・働き続けられる労働環境づくりを推進する施設の支援
 - ・労働安全衛生ガイドラインの活用
- ②看護職離職防止支援（定着支援）
- ③関係団体との連携
宮崎県医師会、宮崎労働局、宮崎県医療勤務環境改善支援センター、宮崎県働き方改革推進支援センター、宮崎県社会保険労務士会、宮崎県福祉保健部等
- ④働きやすい職場づくりに関する情報発信 4回
- ⑤勤務環境等に関する相談の実施 相談件数67件

(2) 看護人材獲得支援員設置事業（宮崎県委託事業）

- ①看護人材獲得支援事業
 - ・対象機関への相談支援の実施 59施設
- ②令和4年度事業報告（医療政策課開催） 8月10日 参加者45名
- ③看護人材獲得支援事業連絡会議の開催 11回

2-2) 就業支援

(1) ナースバンク事業（宮崎県委託事業）

- ①NCCSを活用した職業紹介の円滑化、正確で就業に効果的な情報の提供
- ②ナースセンター広報活動
 - ・ナースセンターだよりを広報誌「なでしこ」内に掲載（年4回） ※7-1)(1)⑧参照
 - ・SNS（LINE）による情報発信の強化
 - ・ナースセンターPRグッズ作成
 - ・県内看護学校卒業生へのPRグッズの配布
- ③ハローワークにおける就業相談の実施
 - ・就業支援相談員会議（年2回）
6月6日 参加者11名、11月2日 参加者9名
 - ・ハローワーク宮崎、延岡、日向、高鍋、都城、小林、日南での就業相談（P86 参照）
- ④求人施設への労働条件の改善に関する情報提供、助言
 - ・働き方改革関連法案等の情報提供
 - ・多様な就労受入れ体制・支援の強化
 - ・求人施設訪問の強化 12件
- ⑤求職者への労働環境・労働条件の改善に関する情報提供、助言
 - ・多様な就労支援の強化
 - ・施設見学会の開催 2施設で開催 12月1日 参加者6名、12月15日 参加者10名
- ⑥宮崎県ナースセンター事業運営委員会の開催（年1回） 2月8日 出席者11名
- ⑦ハローワーク、福祉人材センターとの連携
- ⑧ナースセンター・ハローワーク連携事業
- ⑨中央ナースセンターとの連携

(2) 看護職の届け出制度の窓口(宮崎県委託事業)

① 看護師等の届出制度のPRと就業支援の充実(P86参照)

- ・ 令和5年度届出者 172名 総届出者 2,055名
- ・ 地区及び看護師養成学校へのPR活動
- ・ 届出登録者への就業に関する調査の実施

(3) 県内外看護師等への県内就業支援

① 看護師養成学校との連携

② 移住相談者への支援

- ・ 移住相談会への参加
大阪府(11月18日):相談者2名、福岡県(1月18日):相談者1名、
東京都(2月3日):相談者5名

③ 県内施設の採用試験情報の提供

(4) 自治体保健師の活動内容や魅力発信のためのイベント(日本看護協会委託事業)

- ・ 12月16日イベント 参加者21名 参加自治体8

2-3) 復職支援

(1) 復職支援事業(宮崎県委託事業)

① 講義・演習コースの開催

- ・ 6月8日～9日 参加者10名
- ・ 9月6日～7日 参加者12名
- ・ 12月7日～8日 参加者3名

② 採血・点滴技術演習の開催 12回 参加者71名

③ 復職支援交流カフェの開催 12回 参加者71名

④ 協力機関での職場体験コースの開催

体験施設 4箇所 体験人数 4名

⑤ セカンドキャリア支援

- ・ 就職相談会 10月27日 参加者 看護職:18名 出展求人:24 事業所 48名 計66名
- ・ ブラチナナースカフェの実施
6月29日 参加者7名、10月5日 参加者5名、2月1日 参加者11名

⑥ 就職準備セミナーの実施

7月13日 参加者6名、令和6年1月11日 参加者3名

⑦ 地区別復職支援研修の開催

- ・ 地区研修の実施(延岡・都城)
延岡(延岡市医師会病院):8月23日～25日 受講者8名
都城(都城市郡医師会病院):10月3日～5日 受講者5名
- ・ 採血技術演習・復職支援研修の実施(ハローワーク)
延岡:2月14日 受講者3名
日向:11月21日 受講者3名
高鍋:10月17日 受講者3名
小林:10月10日 受講者4名
日南:12月20日 受講者3名

⑧ 令和4年度受講生に対する就業状況調査・就業支援(P87参照)

2-4) 「看護の心」普及事業

(1) 看護の心普及事業

① 看護の日のイベントの開催

- ・ 「みやぎきナース Today2023」の開催 5月14日
会場:宮交シティ アポロの泉、TSUTAYA BOOKSTORE 宮交シティ

内容：現役看護職による活動紹介・展示、健康測定、子どもナース服体験、看護関連書籍の紹介、看護進路相談コーナー、AED レクチャー等

②看護進路相談会 2023 の開催 7 月 8 日 参加者 169 名

③看護の出前授業の実施 19 回 参加者 1,732 名 (P88 参照)

④「ふれあい看護体験 2023」の実施 7 月 24 日～8 月 4 日 参加施設 50 施設 参加者 429 名

⑤看護系進学状況調査の実施

⑥中高校生の職業選択に関するイベントへの協力

・令和 5 年度青島青少年自然の家主催事業「ちびっこ大集合」出展 8 月 27 日 ブース訪問者 103 名

3. 看護に関する調査及び研究並びに看護業務及び看護制度等の改善への提言に関する事業（公益目的事業）

3-1) 看護制度に関する事業

(1) 看護制度に関する普及啓発事業

①看護制度委員会（委員 6 名） 3 回（P36 参照）

②特定行為に係る看護師の研修制度に関する情報提供及び啓発

③看護基礎教育制度改革に係る情報発信

④その他看護制度に係る情報発信

(2) 准看護師への進学支援及び学習支援事業

①准看護師研修・交流会 10 月 28 日 受講者 5 名

②看護師養成 2 年課程（通信制）に関する情報提供

③日本看護協会との連携

3-2) 看護業務の改善に関する事項

(1) 保健師職能委員会活動（P26～27 参照）

①保健師職能委員会開催（委員 6 名） 11 回

②3 職能 4 委員会合同研修会 6 月 18 日 ※3-2) (2) ②参照

③保健師職能研修会 10 月 14 日 受講者 29 名

④保健師職能集会（つどい） 12 月 16 日 参加者 15 名

⑤宮崎県保健師現任教育推進会議（県、県立看護大学との協働）

8 月 30 日、3 月 19 日 出席者 1 名

⑥宮崎県段階別保健師研修運営委員会

5 月 18 日、12 月 14 日、3 月 7 日 出席者 1 名

⑦日本公衆衛生看護学会学術集会への参加（福岡県） 1 月 6 日～7 日 参加者 1 名（Web）

⑧保健師職能だよりの発行 3 月発行（第 20 号） 350 部

(2) 助産師職能委員会活動（P27～28 参照）

①助産師職能委員会開催（委員 6 名） 10 回

②3 職能 4 委員会合同研修会 6 月 18 日 受講者 60 名（会場 32 名、ライブ配信 28 名）

③「いいお産の日」イベント 11 月 25 日 参加者 125 名

④助産師職能研修会

・助産師職能研修会 1 月 13 日 受講者 33 名

・アンケートの実施「母子のための地域包括ケア病棟推進についての認識調査」

令和 6 年度実施に向けてアンケート案の作成

⑤研修会及び学会等への参加

・日本助産診断実践学会 9 月 17 日 参加者 1 名

・日本母性衛生学会 10 月 13 日～14 日 参加者 1 名

(3) 看護師職能委員会 I 活動（病院領域）（P28～30 参照）

①看護師職能委員会 I 開催（委員 10 名） 9 回

②3 職能 4 委員会合同研修会 6 月 18 日 ※3-2) (2) ②参照

③研修会

- ・看護師職能Ⅰ・Ⅱ合同研修会 8月19日 受講者83名
- ・准看護師研修・交流会 10月28日 受講者5名
- ・看護補助者活用における現状報告と今後の課題 11月25日 受講者33名

(4) 看護師職能委員会Ⅱ活動（介護・福祉関係施設・在宅等領域）（P30～31 参照）

- ① 看護師職能委員会Ⅱ開催（委員8名） 10回
- ② 3 職能4 委員会合同研修会 6月18日 ※3-2) (2) ②参照
- ③ 研修会
 - ・ 看護師職能Ⅱ研修会 7月29日 受講者39名（会場15名、ライブ配信24名）
 - ・ 看護師職能委員会Ⅰ・Ⅱ合同研修会 8月19日 ※3-2) (3) ③参照

(5) 県や関係団体の各種審議会等での発言・提言

- ① 関係機関・団体等への働きかけ
- ② 審議会等で本会意見の反映（P116～117 参照）

4. 県民に対する疾病の予防及び健康の保持増進に関する事業（公益目的事業）

4-1) 地域包括ケアシステムの推進

- (1) 看護職と他職種との交流会 2回 参加者100名（P45～54 参照）
- (2) 地域医療構想調整会議等への参画（P116～117 参照）

4-2) 救急医療に関わる看護職の質向上の推進

- (1) 救急看護研修 2回 参加者105名
- (2) 小児救急看護研修 実施なし
- (3) 災害救急看護研修 3回 参加者88名
- (4) 精神科救急看護研修 4回 参加者170名

4-3) 県民の健康づくり推進に関する事業

(1) まちの保健室事業の普及啓発

- ① 定期型「まちの保健室」開催（地区開催） 246回 相談件数4,964件（P82 参照）
- ② 地域支援型・イベント型「まちの保健室」 14回 相談件数973件（P82 参照）
- ③ まちの保健室地区代表者委員会開催（委員13名） 5回（P40～42 参照）
- ④ まちの保健室協力員の養成研修と登録の推進（地区開催）
 - ・ 研修会の開催 3回 受講者63名（P40～42 参照）
 - ・ 令和5年度新規登録相談員数 16名
- ⑤ 地区別協力員会議 11回 出席者105名（P41 参照）

(2) 生涯を通じた女性の健康支援

- ① 「いいお産の日」 イベントにおける相談啓発 11月25日 ※3-2) (2) ③参照

(3) がん対策支援

- ① ピンクリボン活動の普及啓発
 - ・ 「みやざきナース Today2023」での展示協力
- ② 関係団体との連携
- ③ 研修会の開催 3研修 受講者125名 ※1-1) (1) ①②の再掲

(4) 生活習慣病並びに疾病予防対策

- ① 世界糖尿病デー、肝疾患・腎疾患・リウマチ等関連会議・イベント等の参加による予防対策の啓発

(5) 自殺対策に係る人材育成研修事業（宮崎県委託事業）

- ① 看護師等専門研修会の開催（自殺対策研修）
 - 7月22日 受講者83名、8月26日 受講者9名（福岡大学主催 宮崎県看護協会共催）
- ② 地区別研修会の開催
 - 西都・児湯地区 9月14日 受講者49名（高鍋保健所との共催） 会場：高鍋保健所
 - 日向・東臼杵地区 12月19日 受講者29名（日向保健所との共催） 会場：日向保健所
- ③ 自殺対策相談・まちの保健室相談員の養成講座の開催

(6) 高齢者対策への取り組み

- ①研修会の開催 3 研修 受講者 236 名 ※1-1) (1)①②の再掲
- ②看護職員認知症対応力向上研修の開催（宮崎県委託事業） 11 月 29 日～12 月 1 日 受講者 30 名

4-4) 子育て支援

(1) 子育て支援事業

- ①小児救急相談マニュアルの活用
- ②児童虐待予防対策への取り組み
 - ・宮崎県社会福祉審議会児童福祉専門分科会への参加
- ③研修会の開催 1 研修 受講者 19 名
- ④宮崎県「未来みやざき子育て県民運動推進事業」への協力

5. 医療安全対策及び災害等危機管理に関する事業（公益目的事業）

5-1) 医療安全推進事業

(1) 研修会及び交流会の開催（P37～38 参照）

- ①医療安全推進委員会開催（委員 10 名） 6 回
- ②医療安全管理者養成研修（e ラーニング 35 時間、集合研修 5 時間 11 月 10 日） 受講者 36 名
- ③医療安全研修会
 - ・第 1 回 9 月 23 日 受講者 81 名
 - ・第 2 回 12 月 6 日 受講者 74 名

(2) 医療安全対策推進

- ①医療安全推進週間の啓発
- ②医療安全情報提供
- ③医療安全推進の研修（地区開催） 6 回 受講者 268 名（P45～54 参照）
- ④医療安全推進会議
- ⑤九州厚生局医療安全ワークショップへの参加 参加なし
- ⑥看護職賠償責任保険制度加入の促進

5-2) 災害看護活動の推進

(1) 災害看護研修の開催

- ①災害支援ナース養成事業
 - ・災害・感染症に係る支援ナース養成研修
「災害支援ナース養成研修 演習」（新型コロナなど新興感染症等に係る看護職員等確保事業）の開催 9 月 9 日～10 日 受講者 115 名 修了者 114 名
「災害支援ナース養成研修企画・指導者研修」（日本看護協会主催）の受講 修了者 3 名
 - ・災害看護支援研修（地区開催） 3 回 受講者 88 名（P45～54 参照）
 - ・災害看護研修（管理者編） 10 月 8 日～9 日（2 日間） 受講者 18 名（会場 12 名、ライブ配信 6 名）
 - ・災害支援ナースフォローアップ研修会 8 月 5 日 受講者 34 名
- ②災害支援ナース登録管理
- ③災害看護地区代表者委員会の開催（委員 7 名） 6 回（P42～43 参照）

(2) 災害発生時に備えての体制・環境整備

- ①日本看護協会と都道府県看護協会との災害支援ナース派遣調整合同訓練への参加を通じた実動訓練中止
- ②日本看護協会との「災害支援ナース派遣に関する協定」に基づく災害支援ナースの派遣
 - ・令和 6 年能登半島地震 日本看護協会の災害支援ナース派遣に関して：本県への派遣要請無し（メールで災害支援ナース所属施設に情報提供、協会ホームページに全国派遣の情報提供）
- ③宮崎県との「災害時における健康相談・健康管理業務に関する協定」に基づく災害支援ナースの調整・派遣 令和 6 年 3 月 31 日終了
- ④宮崎県、市町村の防災会議・防災訓練等への参加を通じた実動訓練
 - ・関係会議への参加 10 回

⑤看護管理者ネットワークの構築 メールアドレス登録数 147 施設

5-3) 感染対策

(1) 感染管理研修会の開催 2 研修 受講者 168 名 ※1-1) (1)①②の再掲

(2) 新型コロナウイルス等を含めた新興感染症対策に向けた体制整備

①訓練への参加 (年 1 回)

②事業継続計画 (BCP) の推進

③宮崎県感染症対策審議会への参画

(3) 新型コロナウイルス感染症軽症者宿泊療養施設での看護師業務に関する事業 (宮崎県委託事業)

・ 2 施設 看護師従事者数 14 名 (5 月 8 日終了)

6. 在宅ケアサービス等の実施及び訪問看護の推進支援に関する事業 (公益目的事業)

6-1) 在宅・福祉関係施設への支援

(1) 訪問看護推進事業 (宮崎県委託事業)

①訪問看護推進協議会運営事業

・ 宮崎県訪問看護推進協議会の開催 (委員 14 名) 1 回

・ 訪問看護推進検討会 (委員 11 名) 3 回

・ 訪問看護実態調査の実施 10 月 16 日～11 月 30 日 回答 107 件 回収率 62.9%

・ 訪問看護啓発活動

・ 関係機関との連携

②訪問看護人材育成事業

・ 訪問看護研修 STEP 1 (講義 3 日間、実習 3 日間) 8 月 17 日～12 月 31 日

e ラーニング : 5 月 17 日～7 月 31 日

受講者 29 名 修了者 25 名 (P92 参照)

・ 訪問看護研修 STEP 2 (講義 5 日間、実習 2 日間) 5 月 18 日～9 月 30 日

受講者 9 名 修了者 9 名 (P92 参照)

・ 訪問看護管理者研修 (ベーシックコース) (講義 5 日間) 9 月 22 日～11 月 18 日

受講者 16 名 修了者 14 名 (P92 参照)

・ 訪問看護管理者研修フォローアップ研修 (1 日) 12 月 16 日 受講者 9 名

・ 訪問看護師養成コアカリキュラム研修 (講義・演習 2 日間・実習 1 日間) 8 月 3 日～8 月 24 日

受講者 22 名 修了者 22 名

・ 新卒訪問看護師育成研修 研修生 1 名

打合せ会・交流会 3 回、臨床研修 2 回

③看護人材連携支援事業

・ 訪問看護ステーションの専門看護師・認定看護師による支援

検討会 : 2 回、研修会・相談会 : 2 回 参加者 13 名、派遣・支援 : 3 施設

・ 医療機関と訪問看護ステーションの看護職の人材交流研修

検討会 : 2 回、研修会 : 3 回 参加者 157 名

・ 訪問看護管理者交流研修 検討会 : 2 回、研修会 : 3 回 参加者 47 名

④訪問看護相談支援事業

・ 訪問看護ステーションへの情報提供及び相談のための窓口の運営 相談件数 136 件

・ 訪問看護ステーション管理者支援研修 1 回 受講者 57 名

・ 県民等への情報提供及び相談のための窓口の運営

県内の訪問看護ステーション一覧 3,500 部

・ 訪問看護ステーションに関する情報発信

(2) 在宅・福祉施設等で働く看護職のための研修 (地区開催) 4 回 受講者 118 名 (P45～54 参照)

6-2) 看護協会訪問看護ステーション事業所の運営事業

(1) 宮崎県看護協会訪問看護ステーションなでしこ 1～3 号館の運営

・ 訪問看護事業 利用人数 2,638 名 訪問延べ回数 15,366 回

- ・居宅介護支援事業 利用人数 1,475 名
- ・看護学生・看護職の実習教育
- ・関連機関との連携・協力

(2)宮崎県看護協会訪問看護ステーション運営協議会の開催（委員 9 名） 4 回（P94 参照）

7. その他本会の目的を達成するために必要な事業

7-1)組織に関する事項

(1)本会組織の充実と強化

①看護政策推進のための組織強化事業

②会員の加入増加拡大

- ・会員目標数 8,801 名（会員目標数 9,000 名、対前年度 134 名減）

③看護学生に向けたキャリア支援

- ・キャリア支援講話の実施 16 校 参加者 693 名

④地区活動の推進（P45～54 参照）

⑤日本看護協会との連携

⑥諸会議の開催

- ・令和 5 年度通常総会 6 月 17 日 出席した会員数 7,001 名（本人出席 96 名、委任状出席 6,905 名）
- ・理事会・常任理事会開催 理事会：8 回 常任理事会：7 回（P13～15 参照）
- ・職能・常任・特別委員会の開催（P26～44 参照）
- ・選挙管理委員会（委員 8 名） 2 回
- ・日本看護協会代議員及び予備代議員研修会 5 月 19 日 出席者 17 名
- ・常任委員会・特別委員会合同委員長会 6 月 24 日 出席者 23 名
- ・施設代表者会議（全体会議 1 回） 10 月 3 日 出席者 88 名
内容：組織力の協会について、講義「ごきげんな働き方とごきげんな組織の作り方」

⑦監査及び審査に関すること

業務監査：5 月 11 日 会計監査：5 月 10 日

⑧広報活動に関する事業

- ・広報誌「なでしこ」の発行（年 4 回）
第 150 号：4 月 30 日発行（11,500 部） 第 151 号：7 月 31 日発行（11,500 部）
第 152 号：10 月 31 日発行（11,000 部） 第 153 号：1 月 31 日発行（11,000 部）
- ・ホームページの管理
- ・マスメディアを活用した広報

⑨会員の福利厚生

- ・各種表彰制度への会員の推薦
令和 5 年度宮崎県看護協会長表彰 10 名
令和 5 年度日本看護協会長表彰 1 名推薦
令和 5 年度「看護の日」記念宮崎県知事表彰 3 名推薦
- ・弔意及び見舞い（火災、風水害等）
弔慰金 5 名、弔電 14 件

7-2)日本看護協会との相互協力

(1)日本看護協会との連携

(2)日本看護協会が開催する会議に関すること

①日本看護協会通常総会及び全国職能別交流集会（千葉県開催）

- ・日本看護協会通常総会 6 月 7 日 出席者 9 名
- ・全国職能別交流集会 出席者 9 名

②理事会 6 回 出席者 1 名（P55～56 参照）

③法人会員会 4 回 出席者 1 名

④全国職能委員長会

- ・第 1 回 7 月 28 日 出席者 4 名

- ・第2回 3月1日 出席者3名
- ⑤地区別法人委員会（沖縄県）10月19日 出席者2名
- ⑥地区別職能委員長会（沖縄県）10月20日 出席者4名
- ⑦日本看護協会が開催する会議等への参加
 - ・都道府県看護協会看護労働担当会議 5月24日 出席者1名
 - ・都道府県ナースセンター担当会議（Web開催） 6月2日 出席者5名
 - ・都道府県看護協会 会員情報管理情報交換会（Web開催） 7月5日 出席者2名
 - ・認定看護管理者教育機関担当会議（Web開催） 8月2日 出席者2名
 - ・都道府県看護協会政策責任者会議 9月21日 出席者2名
 - ・都道府県看護協会広報担当役員会議（Web開催） 11月6日 出席者2名
 - ・都道府県看護協会・都道府県訪問看護連絡協議会合同会議（Web開催） 11月17日 出席者2名
 - ・都道府県看護協会健康危機管理担当会議 12月14日 出席者2名
 - ・全国看護基礎教育担当役員会議 12月20日 出席者1名
 - ・公益法人運営に関する地区別勉強会 1月26日 出席者2名

7-3) 渉外に関する事項

(1) 重点事業等に関する渉外活動

- ①県行政等への要望活動
- ②関係機関等との連携強化
 - ・関係機関への委員の派遣（P116～117 参照）
 - ・他団体主催の学会・イベント等への名義後援 22件（P118 参照）

7-4) 施設管理に関する事項

(1) 宮崎県看護等研修センターの管理

- ①整備資金納入活動と管理
- ②施設・機器の管理
- ③図書室の管理・運営

令和5年度 職能委員会報告

保健師職能委員会

委員長：蛭原夕起子

委員：藤村涼子、岩崎恵子、村岡涼子、柳田佳代、戸敷優子

1. 活動目標

- 1) 保健師活動指針をふまえた全世代型の地域包括ケアを目指した保健活動を推進する。
- 2) 保健師職能集会及び研修会等を通して知識技術のスキルアップを図るとともに保健師同士の交流及び他職種との連携を推進する。
- 3) 県、県立看護大学と3者で実施している保健師現任教育の推進に取り組み、段階に応じた保健師の人材育成を行う。

2. 活動内容

1) 委員会開催状況

(1) 開催回数 11回

(2) 内容

- ・令和5年度委員会活動について
- ・保健師職能研修会および交流会の企画、実施、評価
- ・保健師現任教育推進についての検討
- ・保健師職能だよりの企画、編集、発行
- ・次年度委員会活動計画について
- ・宮崎県看護協会理事会報告
- ・全国保健師職能委員長会等報告
- ・まちの保健室地区代表者委員会報告
- ・会員拡大についての検討
- ・自治体保健師の活動内容や魅力発信のためのイベントについて

2) 研修会の開催

(1) 3職能4委員会合同研修会 ※助産師職能委員会参照

(2) 保健師職能研修会

日時：10月14日（土）13：25～16：00

参加者：29名（非会員4名、運営委員5名）

テーマ：DX社会における健康な地域づくりを担う保健師への期待

①公衆衛生看護の動向と課題

提供者：蛭原夕起子（宮崎県看護協会保健師職能委員長）

②DX社会における健康な地域づくりを担う保健師への期待

講師：村嶋幸代氏（大分県立看護科学大学 理事長・学長）

3) イベント等の開催

(1) 保健師職能交流会

日時：12月16日（土）13：30～16：00 参加者：15名、運営委員6名

4) 会議・学会等への参加

(1) 第1回全国保健師職能委員長会

日時：7月28日（金）13：00～16：00 参加者：1名

会場：ベルサール御成門タワー

(2) 宮崎県保健師現任教育推進会議

日時：8月30日（木）13：30～15：00、3月19日（火）10：00～12：00 参加者：各1名

会場：県庁防災庁舎

(3) 宮崎県段階別保健師研修運営委員会

日時：5月18日（木）14：00～16：30、12月14日（木）14：00～16：30、

3月7日（木）14：00～16：30 参加者：各1名

会場：県立看護大学

(4) 2023 年度地区別保健師職能委員長会

日 時：10 月 20 日（金）10：00～15：00 参加者：1 名

会 場：ホテルコレクティブ

(5) 第 12 回日本公衆衛生看護学会学術集会

日 時：1 月 6 日（土）～7 日（日） 参加者：1 名

会 場：九州国際会議場（WEB 参加）

(6) 宮崎県母子保健運営協議会

日 時：3 月 27 日（水）18：30～20：30 参加者：1 名

会 場：県庁防災庁舎

5) 実態調査・事業報告書等

保健師職能だより「さくら」第 20 号 350 部 3 月発行

6) その他

「自治体保健師の魅力発信のためのイベント」への協力

日 時：12 月 16 日（土）9：30～12：30 参加者：6 名

会 場：宮崎県看護等研修センター

3. まとめ（次年度の課題）

新型コロナウイルス感染症が 5 類に移行された後の保健師職能研修会や交流会であったが、参加者はコロナ禍に比べ増加傾向にあった。次年度での研修会及び交流会は同日に行い、専門職としての質の向上を図るとともに保健師間で情報交換を行い、ともに専門職としての意識向上に努めていきたいと思う。また、会員数が少ないため、今後も引き続き職能団体の意義など普及し、会員数を増やす必要がある。

助産師職能委員会

委員長：田中優子

委 員：兒玉朋希、天川直子、佐伯理花、松本友紀子、長友優佳

1. 活動目標

- 1) 安心・安全な妊娠・出産・育児環境整備に向け、助産師としての助産実践能力の強化支援、モチベーション向上のための研修会の実施
- 2) 宮崎県周産期医療ネットワークを基盤とした、助産ケアに関する情報共有とネットワークづくりの実施
- 3) 助産師の役割・活動の啓蒙ならびに地域への貢献を行う

2. 活動内容

1) 委員会開催状況

(1) 開催回数 10 回

(2) 内容

- ・令和 5 年度助産師職能活動計画検討事業計画説明
- ・役割分担・委員会活動マニュアル説明、委員会活動方針検討
- ・助産師職能研修会企画、準備、評価
- ・「いいお産の日」 in 宮崎の企画、準備、評価
- ・次年度活動計画書作成
- ・各研修会とイベントの詳細決定と地区職能委員会と全国職能委員会の内容伝達
- ・各施設の情報交換

2) 研修会の開催

(1) 3 職能 4 委員会合同研修会

日 時：6 月 18 日（日）9：20～12：00

参加者：55 名：会場 27 名 ライブ配信 28 名（非会員 8 名）運営委員 12 名

テーマ：「知ろう！宮崎県民の健康課題～HPV ワクチンについて～」

講師：蛭原夕起子（宮崎県福祉保健部 健康増進課課長補佐）

川越靖之（宮崎県産婦人科医会会長 宮崎県立看護大学教授）

(2)助産師職能研修会

日 時：1月13日（土）10：00～12：30

参加者：33名（非会員2名） 運営委員6名

テーマ：「助産師外来における妊婦健診から分娩に向けての保健指導」

～助産師外来と院内助産の実際を学ぶ～

講師：松下有希子（さぬき市民病院 副看護部長）

3) イベント等の開催

(1) いいお産の日 in 宮崎

会 場：宮崎県立図書館 2階 研修ホール

参加者：125名、運営委員14名（協力委員8名含む）

4) 会議・学会等への参加

(1) 第1回全国助産師職能委員長会

日 時：7月28日（金）13：00～16：00 参加者：1名

会 場：ベルサール御成門タワー

(2) 第6回日本助産診断実践学会・学術集会

日 時：9月17日（日）9：30～17：00 参加者：1名

会 場：埼玉県川越市 埼玉医科大学かわごえクリニック

(3) 第64回日本母性衛生学会総会・学術集会

日 時：10月13日（金）、14日（土）9：00～17：00 参加者：1名

会 場：大阪国際会議場

(4) 第2回全国助産師職能委員長会

日 時：3月1日（金）10：00～16：00 参加者：1名

会 場：TKP 市ヶ谷カンファレンスセンター

5) 実態調査・事業報告書等

母子のための地域包括ケア病棟の実態調査 アンケート作成

3. まとめ（次年度の課題）

研修会やイベント開催において活動目標は達成できた。

3 職能 4 委員会合同研修会では、宮崎県民の健康課題を知り HPV ワクチンの知識を深めることができた。また、「いいお産の日」を4年ぶりに宮崎市内で開催した。今年は「いいお産ってなに？」～助産師・医師と話してみよう～というテーマのシンポジウムを開催し、医師、助産師、ママ代表をシンポジストに迎え、それぞれの立場からの出産の実体験を踏まえた“いいお産”について話し合った。会場からの質疑もあり有意義な意見交換ができた。妊産婦の参加があり、情報提供もできた。また、助産師同士の交流も図れ、集合イベントの大切さを再確認することができた。

日本看護協会助産師委員会が目標としている「母子のための地域包括ケア病棟」の推進の実態調査はアンケート作成まで行うことができ、次年度に引き継ぐこととした。県内の妊産婦、女性に対する切れ目ない支援ができるように情報提供やシステム作りを考えていきたい。

看護師職能委員会 I

委員長：新名麻理子

委 員：野邨つぐみ、日高栄美、中尾登代子、横井美香、井上めぐみ、上森妃美、餅原悦子、小森みさき、崎村真由美（准看護師理事）

1. 活動目標

- 1) 看護職が専門性を発揮し、やりがいを持ち働き続けられるための看護実践能力向上を支援する
- 2) 多職種と協働し各々が高い専門性を発揮できるように支援する
- 3) 准看護師の進学支援
- 4) 地域包括ケアに関わる看護連携推進の支援

2. 活動内容

1) 委員会開催状況

- (1) 開催回数 9回

(2) 内容

- ・令和5年度事業計画について
- ・3 職能4 委員会合同研修会について
- ・看護師職能Ⅰ・Ⅱ合同研修会について
- ・准看護師研修会・交流会について
- ・看護師職能Ⅰ研修会について
- ・令和6年度事業計画・研修企画書（案）について

2) 研修会の開催

(1) 3 職能4 委員会合同研修会 ※助産師職能委員会参照

(2) 看護師職能Ⅰ・Ⅱ合同研修会

日 時：令和5年8月19日（土）9:30～12:05

参加者：83名（非会員11名）運営委員14名

テーマ：地域包括ケアを支える看護及び介護の現状について

①「入院中の退院支援における現状と課題」

講師：内村佳代氏（池井病院 入退院支援室）

②「訪問看護でどこまでできる？～訪問看護の実際～」

講師：岩村優子氏（訪問看護ステーション湯癒亭 所長・看護管理者）

③「医療と在宅を繋ぐポイント」

講師：田丸義文氏（野尻中央病院 地域医療連携室主任）

(3) 准看護師研修会・交流会

日 時：令和5年10月26日（土）9:20～15:05

参加者：5名（非会員3名）運営委員 6名

テーマ：1. 准看護師から看護師へステップアップ～進学支援と情報提供～

講師：①平原久美氏（宮崎看護専門学校 教務主任）

②鈴木葉子氏（麻生看護大学校 校長代行）

③野間かず子氏（穴吹医療大学校 専任教員）

体験発表

①吉岡史子氏（宮崎看護専門学校 卒業生）

②湯地千明氏（麻生看護大学校 卒業生）

2. 誤嚥を予防する食事介助の基本

講師：河野美由紀氏（県立宮崎病院 摂食・嚥下障害看護認定看護師）

(4) 看護師職能Ⅰ研修

日 時：11月25日（土）9:20～12:00

参加者：33名（非会員3名）運営委員8名

テーマ：看護補助者活用における現状報告と今後の課題

講師：①鞍掛加代子氏（平和台病院）

②亀田真澄美氏（潤和会記念病院）

③川越百合子氏（日南市立中部病院）

3) 会議・学会等への参加

(1) 日本看護協会 通常総会

日 時：6月7日（水）9:30～17:15 参加者：1名

会 場：幕張メッセ 幕張イベントホール

(2) 全国職能別看護師交流集会Ⅰ 病院領域

日 時：6月8日（木）9:00～12:30 参加者：1名

会 場：幕張メッセ 幕張イベントホール

(3) 地区別看護師職能委員長会Ⅰ 病院領域

日 時：10月20日（金）10:00～15:30 参加者：1名

会 場：沖縄県那覇市 ホテルコレクティブ

(4) 第1回全国看護師職能委員長会Ⅰ 病院領域

日 時：7月28日（金）13:00～16:00 参加者：1名

会 場：ベルサール御成門タワー

(5)第2回全国看護師職能委員長会Ⅰ 病院領域

日 時：3月1日（金）10:00～16:00 参加者：1名

会 場：TKP 市ヶ谷カンファレンスセンター

3. まとめ（次年度の課題）

看護師職能Ⅰ・Ⅱ合同研修は、患者さんを病院から地域へ繋ぐ為に看護者及び介護者の連携に焦点をあてた。それぞれの立場からの現状報告を共有することで今まで疑問に思っていたことや、知らなかったことが知識として共通理解できた。また地域ごとに開催すると、より問題解決に繋がるのではないかと意見もあり地域ごとの連携のあり方にも目を向ける必要があると考えさせられた。

進学支援の情報提供においては、研修の平均理解度4.8点、平均目標達成度4.2点と高い評価を得られた。「進学に対しての意欲が高まった」「定時制・通信制についての情報が得られ良かった」との意見も共に60%という結果だった。今年度参加者5名と少ないが進学に向けての悩み解決の場となっており、進学に繋がる研修であるため今後も継続が必要だと考える。

参加者確保については、准看護師が勤務している病院・施設、ナースセンター、看護師職能委員会Ⅱなどに発信していくこととする。午後の研修は、准看護師研修やオンデマンド研修など受講する機会もあるためこの研修から省き、情報提供・交流会の時間を拡大することとし、今後も進学意欲の高まる情報提供、交流会を企画していく。

看護師職能Ⅰの研修においては、どの施設も看護師と看護補助者との業務に対する認識の違いやマニュアルの活用方法、タスク・シフト/シェアが課題となっている。3施設の現状としては、看護師と看護補助者のお互いの動きを把握するためにホワイトボードの活用実施、看護補助者マニュアルについての研修実施、指示を明確にするために看護補助者への直接ケア依頼箋の作成・活用、看護補助者ラダーの導入、看護補助者への目標管理の実施等が報告された。グループワークにおいては、「他施設との情報交換のなかで同じような課題があること、課題解決に向けての情報が得られとても有意義な研修だった」「自施設の課題について考える機会になった、学ぶことが多くあり自部署で活かせることは活用したい」との声が聞かれた。

全ての研修が高い評価を得ているが、研修を企画するにあたり目指すところは看護の質向上である。企画した研修が看護の現場でどう活かされ、どのような行動変容につながるのか研修結果から今後に期待したい。今後は、人材確保が困難な状況のなかで業務をいかに効率よく行うかが課題となっていく。

看護師職能委員会Ⅱ

委員長：黒木正樹

委 員：瀬戸口麻美、佐藤幸代、堀内美智代、乙守敦子、谷口世志美、日野亮司、小菌美咲希

1. 活動目標

- 1) 専門職の知識や技術を学び日常の業務に活かす
- 2) 情報交換を通じて各事業所等の理解を深める
- 3) 医療、介護、福祉施設、在宅領域等多職種とのネットワークの推進を図る

2. 活動内容

1) 委員会開催状況

(1)開催回数 10回

(2)内容

- ・令和5年度委員会活動について
- ・看護師職能委員会Ⅱ研修会の企画・運営・評価
- ・看護師職能委員会Ⅰ・Ⅱ合同研修会の企画・運営・評価
- ・3職能4委員会合同研修会について
- ・日本看護協会会議報告
- ・日本看護協会職能委員長会会議報告
- ・日本看護協会地区別職能委員長会会議報告
- ・宮崎県看護協会理事会等報告

- ・まちの保健室地区代表者委員会報告
- ・職能委員の抱えている問題提起（意見交換）
- ・次年度活動計画について

2) 研修会の開催

(1) 3 職能 4 委員会合同研修会 ※助産師職能委員会参照

(2) 看護師職能委員会Ⅱ研修会（ハイブリッド）

日 時：7 月 29 日（土）14：00～16：00

参加者：39 名（非会員 11 名、運営委員 7 名）

テーマ：業務継続計画（BCP）について

～介護サービス事業所における BCP 策定の必要性・ポイントと取り組み～

①業務継続計画（BCP）について～BCP の必要性及び策定のポイント

講師：鳥越 光 氏（宮崎県福祉保健部長寿介護課 主任主事）

②訪問看護ステーションにおける BCP 策定の取り組み

講師：渡辺有理 氏（訪問看護ステーションなでしこ 3 号館 訪問看護師）

森重理恵 氏（こどもとおとなの訪問看護ろけっと★ステーション）

(3) 看護師職能Ⅰ・Ⅱ合同研修会 ※看護師職能委員会Ⅰ参照

3) 会議・学会等への参加

(1) 2023 年度 第 1 回全国看護師職能委員長会Ⅱ

日 時：令和 5 年 7 月 28 日（金）13：00～16：00 参加者：1 名

会 場：ベルサール御成門タワー

(2) 2023 年度 地区別看護師職能委員長会Ⅱ

日 時：令和 5 年 10 月 20 日（金）10：00～15：30 参加者：1 名

会 場：ホテルコレクティブ（沖縄県）

(3) 2023 年度 第 2 回全国看護師職能委員長会Ⅱ

日 時：令和 6 年 3 月 1 日（金）10：00～16：00 参加者：1 名

会 場：TKP 市ヶ谷カンファレンスセンター

3. まとめ（次年度の課題）

2023 年 5 月 8 日より、新型コロナウイルス感染症における感染症法上の位置づけが「2 類」から「5 類」に引き下げられた。しかし、新型コロナウイルス感染症が終息したわけではなく、現在もクラスターが起こっている高齢者施設等もあるため、引き続き感染防止対策を継続する必要がある。今年度の委員会においては、感染防止対策を行いながら、コロナ禍で縮小していた委員会活動やハイブリッド形式での研修会を行うことができた。

看護師職能委員会Ⅱ研修会では、介護保険制度において 2024 年 4 月から義務化となる業務継続計画（BCP）の理解を深めるための研修を実施した。講演①では、行政の立場から BCP の必要性、策定のポイントを軸にご講演いただき、研修会参加者間で共有することができた。講演②では、2 つの事業所に BCP 策定の取り組みをご講演いただき、策定上のポイント等を参加者間で共有することができた。研修会のアンケート結果では、講演内容の理解度は高く、「どこから取り組めばよいか分からなかったが、大筋が理解できたので貴重な時間だった。」と前向きな感想がある一方、「策定に役立つものはなく残念でした。」との厳しい意見もあり反省点が残った。

委員会においては、意見交換の中で各委員が地域での取り組みや人材確保、医療・看護・介護の連携等の課題を出し合い、解決の糸口を探すなど積極的な話し合いができています。

次年度は、3 職能 4 委員会合同研修会で「虐待」をテーマにした研修会の企画を担当。また看護師職能委員会Ⅱ研修会で「在宅でも医療的ケア」をテーマに、在宅での腹膜透析及び在宅で実施している医療的ケア、在宅医療機器展示の研修を行い、介護・福祉関係施設等・在宅領域での取り組みを知っていただける機会になればと考えています。

令和5年度 常任委員会報告

推薦委員会

委員長：江藤けさよ

委員：中山秋子、山本八千代、田中茂子、高瀬祐枝、高藤ユキ

1. 活動目標

- 1) 専門職としての目的を達成するために、会員の代表として各施設に協力と理解を求め、委員の候補者を公平に推薦する。
- 2) 推薦名簿の作成を円滑に行う。

2. 活動内容

1) 委員会開催状況

(1) 開催回数 3回

(2) 内容

- ・ 推薦委員会の概要
- ・ 令和6年度役員・常任委員の選出について
- ・ 令和7年度日本看護協会代議員及び予備代議員の選出について
- ・ 令和6年度推薦委員会 活動計画・予算請求書（案）作成
- ・ 推薦委員会における課題と解決について検討
- ・ 令和6年度活動報告書作成・提出

3. まとめ（次年度の課題）

- ・ 委員の依頼後、回答までに時間がかかる場合があるため、早めの活動開始が望ましい。
- ・ 看護師職能Ⅰでは、准看護師の選出に苦慮した。准看護師が所属する施設の資料を基に、推薦委員の連携で決定した。准看護師の経験年数等が不明で、適任者が把握できず、断られることが多かった。管理的立場が条件にあると、より推薦が困難である。
- ・ 看護師職能委員会Ⅱの在宅関係の事業所や施設関係の協会入会者が少なく、依頼に苦慮した。
- ・ 推薦委員は1年で全員が交代となるため、次期委員への引継ぎが重要である。
- ・ すぐには返答いただけないので、早めの活動開始が望ましいと思う。
- ・ 協力が得られる施設は少なかった。次年度なら対応可能な施設もあった。
- ・ 教育委員は主任以上となっており、調整に苦慮した。
- ・ 選出条件や活動内容を詳しく伝えられると良かった。
- ・ 推薦委員も各地区、輪番でやってもらいと良いのではないかな。

教育委員会

委員長：久米田律子

委員：田中浩二、千田真実、長曾我部久美、藤浪美穂、有尾貴子、河野里美、山田恵美子、柳原由美子、三好里美、谷口孝英、岩崎智子

1. 活動目標

宮崎県看護協会の教育目標に沿って、社会の多様化するニーズに対応し、研修の企画・運営評価を行うとともに教育委員としての質向上を図る

2. 活動内容

1) 委員会開催状況

(1) 開催回数 定例8回、企画会議3回

(2) 内容

- ① 委員会の役割と内容・教育委員会活動計画について
- ② 委員会開催日程および企画委員選定と企画会議日程について
- ③ 教育委員会会議・研修運営担当の役割・業務について

④教育研修計画について

- ⑤委員学習会：継続教育の基準 Ver. 2 の活用、看護協会委員会開催マニュアル、大研修室 AV システムの取り扱い、Zoom ミーティングについて、学会参加者報告
- ⑥運営担当選定と次期開催研修の打ち合わせ
- ⑦研修実施報告および研修評価
- ⑧次年度委員会活動計画・研修企画の検討
- ⑨当年度研修の運営・総合評価、委員会活動の評価

2) 研修会の開催（P71～74 参照）

- (1) 生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育：19 研修 24 回（28 日間）
/参加者 1,252 名
- (2) ラダーと連動した継続教育：10 研修 14 回（14 日間）/参加者 1,142 名
- (3) 看護管理者が地域包括システムを推進するための力量形成に向けた継続教育：3 研修 5 回（5 日間）
/参加者 207 名
- (4) 専門能力開発を支援する教育体制の充実に yönelik 継続教育：6 研修 7 回（7 日間）/参加者 347 名

3) 会議・学会等への参加

- (1) 第 54 回日本看護学会学術集会（神奈川県）
日 時：11 月 8 日（水）～11 月 9 日（木） 参加者：1 名
- (2) 日本看護サミット 2023（東京都）
日 時：2 月 14 日（水） 参加者：1 名

3. まとめ（次年度の課題）

1) 研修管理システム「マナブル」について

研修管理システム「マナブル」を導入して 3 年目となり、参加者のマナブル登録にて円滑な研修運営に繋がった。研修参加者が研修案内や受講決定後の案内を見ていないという状況があり、参加者のマナブルの活用方法が定着していない状況もある。教育委員がマナブルの操作を参加者に教えられるよう、初回の定例会にて、マナブル操作の一連の流れを確認しておくことも必要ではないかと思う。

2) 研修運営について

令和 5 年度に教育委員会が開催した研修は 38 研修であった。そのうちの 16 研修でライブ配信を活用した。感染対策の観点から定員を減らしたため、参加者数は昨年より減少したが総参加数は 3,012 名であった。

マナブル導入後の受講後アンケートの回収率が低迷していたため、講義終了後に 5 分間の回答時間を設けたことで、回答率上昇をみることができた。しかし、研修によって回答率にばらつきがあり、オリエンテーションの中でアンケートの回答が今後の研修の評価につながる事も含めて、参加者に説明することも必要ではないかと考える。

また、運営委員がファシリテーターを兼ねて、グループワークに参加することもあった。今後も運営委員が演習に参加し、参加者の反応を近くで感じることも研修評価をするうえで必要ではないかと思われる。

3) 研修内容について

本年度は、1 研修が講師都合で中止となったが他の研修はすべて予定通り実施できた。

研修内容に関しては、意思表示をする参加者が少なく、質問がなかなか出ないことが多く見られた。ICT ツールの活用などで、参加者がより意思表示をしやすい方法を検討していく必要がある。講義中、講師の質問に対する意思表示には消極的ではあったが、グループワークでは比較的活発な意見交換ができていた。

今年度は看護のスキルアップのための研修への関心が高かった。今後も社会や組織、参加者のニーズをアセスメントし、スキルアップのための研修や新規研修も継続して企画していく必要がある。また、今後は研修継続・新規研修の検討時に、他県の看護協会の研修なども参考にすると、さらに魅力ある研修が企画できるのではないかとと思われる。

4) 委員の役割・資質向上への取り組みについて

定例会では、研修運営記録やアンケートから評価し、研修の内容や運営で工夫すべき点など、次年度に向けた意見も活発に協議できた。委員のさらなる研修評価能力の向上を図るためには、研修評価から企画の意図・ねらいに合致しているか、視点を持ち検討していくことが必要である。運営記録とアンケートから読み取ることも研修評価には重要であり、今後は委員での検討の評価基準を明確にしていく必要がある。運営記録の書き方や研修評価の基準なども、第 1 回目の定例会で、説明会を行

う時間を設け、口頭ではなくマニュアルに載せて統一した方が良いとの意見がありマニュアルを改訂した。

定例会では次期開催の研修の打ち合わせを行い、企画の意図や参加者の属性、講師との調整内容や開催方法について、共有することで円滑な研修運営につなげることができた。

【次年度の課題】

- ・新規研修企画時に他県の看護協会の研修も参考にし、参加者が増える魅力ある研修を目指す。
- ・委員が共通認識できるよう、記録の方法など教育委員のマニュアルを活用する。
- ・研修評価をアンケートから読み取り、アンケートから何が考えられるか、次年度の研修にどのような工夫や新企画が必要かを検討できる分析力を高める。
- ・スムーズな研修運営のためのファシリテーションスキルを習得する。
- ・『看護のまなびサポートブック』の看護実践能力に基づく学習項目の確認を行い、研修内容を精査する。
- ・生涯学習ガイドラインに基づいた次年度の研修企画立案を行う。

働き続けられる職場環境づくり推進委員会

委員長：小牟田佐知子

委員：東原美由紀、坂元安恵、亀澤秀一、金澤雅子、中迫伸一、藤村涼子、荒川貴代美

1. 活動目標

- 1) 看護職の働き方改革の推進に向け、働く看護職の健康を守り、働き方を支援する。
- 2) 県内看護職の勤務環境について調査し、具体的な対策を検討する。
- 3) 医療勤務環境改善支援センター等との連携を図り、宮崎県内の医療機関・福祉施設等がよりよい職場環境改善に取り組めるよう協力する。

2. 活動内容

1) 委員会開催状況

(1) 開催回数 9回

(2) 内容

- ①年間活動の企画・運営・評価
- ②看護職の働き方改革推進について研修の企画・運営・評価
- ③「労働安全衛生ガイドライン～ヘルシーワークプレイス（健康で安全な職場）を目指して」のガイドラインの活用について
- ④勤務環境調査を実施する。
- ⑤医療勤務環境改善支援センター等の関連機関との連携と協力について
- ⑥令和6年度の活動計画・予算要求
- ⑦令和5年度活動報告

2) 研修会の開催

(1) 看護職の働き方改革推進研修会

日時：9月15日（金）9：50～15：30

参加者：85名（会員83名 非会員2名） 会場：43名 Web：42名 運営委員6名

テーマ：「労務管理・多様な働き方ややりがいを支える看護管理をみんなで考えよう」

①労務管理入門～働きやすい職場環境づくり」の基礎知識

講師：社会保険労務士法人ラポール共同代表 山口ひろみ氏

②看護職の多様な働き方とやりがいを支える評価・処遇

（公益社団法人日本看護協会インターネット配信研修オンデマンド JNA3（143）活用）

3) 関係機関との連携

宮崎県医療勤務環境改善支援センター運営協議会への参加 3月6日 参加者：1名

4) 実態調査・事業報告書等

(1) 令和5年度看護職の勤務環境実態調査

調査対象：宮崎県内の病院（130箇所）の看護代表者

調査方法：Google フォームを用いたインターネット接続による自己記入式 Web アンケート調査

調査期間：令和5年12月25日～令和6年1月25日

調査項目：看護職の採用と退職/プラチナナース/勤務環境/給与

3. まとめ（次年度の課題）

1) まとめ

令和元年に「看護職の職場環境実態調査」を実施した結果、「時間外業務」「有給休暇取得」「人員不足」「処遇改善」といった課題が明らかになった。調査結果を元に、職場環境に関する研修を実施し、課題解決のための取り組みを推進してきた。その後、新型コロナウイルスの感染拡大で、病床の再編や業務量の増大等で看護職を取り巻く環境は大きく変化した。2023 年 3 月の日本看護協会の緊急調査において、看護職の離職率は昨年より増加し、特に新人看護師の離職率は 10%を超えていた。また、社会情勢の変化に伴い、タスク・シフト／シェア、多様な働き方の推進、看護職の処遇改善の動きなど看護をめぐる労働環境も大きく変わってきた。

そこで、今回、宮崎県内の病院看護職の勤務環境について実態を明らかにし、働きやすい職場環境づくりを推進する委員会活動の基礎データとして活用することを目的に本調査を実施した。

また、9 月に開催した研修会では「労務管理・多様な働き方ややりがいを支える看護管理をみんなで考えよう」をテーマに 36 施設から 85 名（会場 43 名、Web42 名）が参加した。ハイブリートの研修としたこともあり、参加者が例年になく多く関心の高さが伺えた。内容的には、労務管理入門編として働きやすい職場づくりの基礎知識を学んだ後に、多様な働き方とやりがいを支える評価、処遇について学び、参加施設から感想交流を行った。参加者からは、あらためて労務管理を学ぶ機会となり、多様な働き方について大変参考になり、是非取り組みたいとの感想が多かった。また、働き方や処遇について、もっとディスカッションできる場が欲しいとの意見も出され次年度の研修に活かしたい。

少子超高齢化社会で生産年齢人口が減少する中、看護職の確保と定着の課題は益々重要となり、働き続けられる職場環境を推進していくことが最重要課題となっている。

今後も日本看護協会の提言や関係機関との連携を図りながら、看護職が健康で働き続けられるための職場環境改善に尽力していきたい。

2) 課題

- ①県内の病院看護職の勤務環境調査の結果を分析し、具体的な改善に取り組む。
- ②多様な働き方等の研修会を開催し、それぞれの施設が職場環境改善に取り組めるよう支援する。

広報出版委員会

委員長：柄本沙紀

委員：山崎朱美、濱口節代、関之尾里美、芝元由紀子、長友寛子、本田里美、坂元由美子、上田麻衣子、米田貴博

1. 活動目標

看護協会の事業について、会報「なでしこ」をとおして会員及び県民へ発信する。

2. 活動内容

1) 委員会開催状況

(1)開催回数 12 回

(2) 内容

1. 会報「なでしこ」の企画構成、編集について（第 146 号～149 号）
2. 編集会議（企画・レイアウト・原稿依頼）
 - ・ 定期内容と編集内容の検討
 - ・ 取材内容・取材先等の検討
3. 広報出版取材希望調査（各委員会、地区理事へ）

3. まとめ（次年度の課題）

- 1) 取材は、感染対策を行いながら、参加可能な委員で取材を行い写真などの掲載を充実させることができた。
- 2) 協会員が参加できるページを入れ込むことで、広報誌への反応を耳にすることがあり、関心を持ってもらえていることが分かった。次年度も協会員が、参加できる内容を組み込んでいく。
- 3) 次年度の開催計画を検討し、可能な限り委員が参加できるよう、委員会開催曜日を変更した。
- 4) 自由参加型の取材で写真撮影の許可・掲載についての説明と同意に時間を要するため、今後はパンフレットなどに写真撮影に対しての説明文の掲載を依頼する。

令和 5 年度 特別委員会報告

看護制度委員会

委員長：門田広美

委員：濱寄真由美、永野秀子、日高明美、藤村涼子、中武郁子

1. 活動目標

看護制度及び関連諸事項について継続的に検討を重ね、看護の質向上のための具体的方向性を示す。

2. 活動内容

1) 委員会開催状況

(1) 開催回数 3 回

(2) 内容

- ・ 特定行為研修について
- ・ 日本版ナースプラクティショナー（仮称）制度について
- ・ 看護基礎教育制度の変化について
- ・ 訪問看護ステーションの現状について
- ・ 看護師・助産師の離職予防について
- ・ 県立宮崎病院産科外来と病棟の一元化について
- ・ 医療看護の質評価について
- ・ 助産師活用推進事業等について
- ・ 災害支援ナース制度の変更について

3. まとめ（次年度の課題）

少子高齢化が加速する社会において、地域医療構想及び地域包括ケアシステムの推進が必要である。医療・介護分野においては AI（Artificial Intelligence）や IoT（Internet of Things）等の情報通信技術（ICT）の導入が加速している。

これらの変化に合わせて、あらゆる健康レベルにある対象へのケアを中心的に担う看護師の活躍の場は医療機関から地域・在宅へと広がり、多職種と連携しながら専門職としての判断を行い、多様な場面で看護を展開する能力が求められている。また、「医師の働き方改革に関する検討会報告書」（平成 31 年 3 月厚生労働省）では医療分野におけるタスク・シフト（シェア）が推奨され、看護分野では、助産師外来・院内助産、看護師による特定行為の推進等が必要とされている。令和 6 年能登半島地震においては発災直後に石川県看護協会から日本看護協会へ派遣要請があり、5 日目に災害支援ナース派遣が開始され、急性期・亜急性期以降も災害サイクルのあらゆるレベルにおいて看護職による専門的な支援が被災地域の人々の生命と暮らしを支え続けている。

看護を取り巻く状況が変化していく中で、宮崎県内の看護基礎教育の在り方が大きく変わろうとしている。准看護師養成所が 1 校閉校となり、全日制 3 年課程開設へ向けて動き始めた。この流れは今後も続いていく見通しであり、基礎教育の変化が看護の質を向上させ、地域医療の質を高めていくものと思われる。

本委員会の検討課程で、以下の課題が示された。

1. 周産期における助産師の役割拡大
2. 看護学生の実習受け入れ促進
3. 看護管理者の質向上による看護全体のレベルアップ

以上をふまえ、看護の質向上のために看護制度の関連事項について継続的な検討を重ねたい。

医療安全推進委員会

委員長：外山祥子

委員：神田久美子、山本直美、黒木美紀、永友聖敏、高佐栄子、船ヶ山真由美、
梅木千恵、鴨田充世、阿部裕子

1. 活動目標

- 1) 看護職及び医療職の医療安全の専門的知識・技術向上の推進を図る
- 2) 医療安全管理者養成研修の支援を行う
- 3) 医療安全に関わる担当者のネットワーク作りと相互支援を行う
- 4) 7 地区における医療安全推進活動の支援を行う

2. 活動内容

1) 委員会開催状況

(1) 開催回数 6 回

(2) 内容

- ・委員会活動目標、計画の確認と審議
- ・医療安全研修会の検討、運営
- ・看護協会主催の医療安全研修支援
- ・地区活動報告
- ・委員会活動実績まとめと次年度活動計画案の作成
- ・情報交換

2) 研修会の開催

(1) 医療安全研修会①

日 時：9 月 23 日（土）9：30～15：30

参加者：81 名（非会員 11 名） 運営委員 10 名

テーマ：「転倒転落のリスクアセスメントと対策」

講師：杉山良子先生 転倒転落研究会 RoomT 2 代表 パラマントベッド（株）顧問

(2) 医療安全研修会②

日 時：12 月 6 日（水）9：30～15：30

参加者：74 名（非会員 9 名） 運営委員 10 名

テーマ：「医療に活かすコミュニケーション技術」

講師：大島武先生 東京工芸大学芸術学部教授

(3) 医療安全管理者養成研修 支援

日 時：11 月 10 日（金）9：30～15：30

参加者：36 名（非会員 1 名） 運営委員 8 名

テーマ：第 6 章「安全文化の醸成」

講師：甲斐由紀子先生 宮崎大学医学部附属病院参与 医療安全管理部

3) 会議・学会等への参加

(1) 第 21 回日本臨床医学リスクマネジメント学会・学術集会

日 時：9 月 8 日（金）10：00～17：30 参加者：1 名

会 場：当日ライブ配信・後日オンデマンド配信

3. まとめ（次年度の課題）

- ・当委員会が計画した研修は、募集定員を大きく上回る希望が有り、医療現場が抱えている問題や困難感にあった研修内容だったと評価する。また、研修運営については、講師との事前の打ち合わせにより、研修の内容やグループワークのイメージを事前に共有できたことが良かった。また、委員会メンバーの役割分担を行い、事前に説明したことで、役割を具体的に把握できたことは、スムーズな研修運営に役立った。
- ・新型コロナウイルス（COVID-19）が 5 月に 5 類に移行し、研修や委員会出席への影響が無くなった。今年度は推進委員 10 名中 4 名の交代があったが委員の協力と、看護協会の方々の支援で、スムーズに委員会活動が行えた。委員会では毎回、活発な意見交換が行われ、他院が行っている対策等の情報共有の場として機能している。

- ・ 7 地区の地区ごとに行われている医療安全推進活動の医療安全研修会は、前年度は 2 地区のみの開催だったが今年度は 6 地区で開催された。各地区主催の研修会は、医療安全だけに関わらず、地域を支える重要な学習や情報交換の場となっている。継続したネットワークづくり、そして支援が重要である。
- ・ 来年度より、宮崎県看護協会の支援を得て参加する学会を変更した。これにより、より医療安全管理者の職務にあった内容の学会に参加できるようになった。

【課題】

- ・ 医療安全を推進する医療従事者の育成及び、医療安全を他職種と共に学べる環境づくりが不十分
- ・ 地域連携・医療連携をふまえ、施設・職種を超えた安全な医療提供のための相互支援、ネットワーク整備のための連携不足
- ・ 研修内容によっては、受講対象者が明確となるようなアナウンスが必要。運営においては、ファシリテーターとして研修目標を達成するための関わりができるよう、準備、運営を行う
- ・ 県内の医療安全を担っている担当者との活発な相互支援、情報共有の場が少ない

認定看護管理者教育運営委員会

委員長：比恵島知子

委員：松田聖美、東 美代子、井上光子、井上由紀子、久保田智美、中島由紀子、向井ふさ子

1. 活動目標

認定看護管理者教育の理念・目的が達成されるためにファーストレベル及びセカンドレベル教育課程に関する審議を行い、効果的な運営を行う。

2. 活動内容

1) 委員会開催状況

(1) 開催回数 6 回

(2) 内容

- ①教育課程年間計画について
- ②運営委員会年間計画・演習支援について
- ③ファーストレベル研修について
- ④セカンドレベル研修について
- ⑤ファーストレベル・セカンドレベルフォローアップ研修について
- ⑥看護管理実践報告について

2) 研修会の開催

- (1) 令和 5 年度認定看護管理者教育課程ファーストレベルフォローアップ研修
日 時：5 月 21 日（日）
参加者：35 名（非会員 0 名）運営委員 7 名
- (2) 令和 5 年度認定看護管理者教育課程ファーストレベル研修
日 時：5 月 24 日（水）～9 月 8 日（金）
参加者：63 名（非会員 0 名）
- (3) 令和 5 年度認定看護管理者教育課程セカンドレベルフォローアップ研修
日 時：6 月 18 日（日）
参加者：16 名（非会員 0 名）運営委員 7 名
- (4) 令和 5 年度認定看護管理者教育課程セカンドレベル看護管理実践報告会
日 時：7 月 28 日（金）
参加者：7 名（非会員 0 名）運営委員 6 名
- (5) 令和 5 年度認定看護管理者教育課程セカンドレベル研修
日 時：10 月 6 日（金）～1 月 19 日（金）
参加者：32 名（非会員 0 名）

3. まとめ（次年度の課題）

研修は企画通りに進めることができた。ファーストレベルの統合演習では委員以外の支援者の協力を

得て十分な支援が行える様にした。次年度も受講者に十分な支援がいきわたるように委員以外の協力を得て行う。

学会委員会

委員長：松本憲子

委 員：宇和田由美子、木添茂子、鬼束ひとみ、瀧砂 馨、橋満升子

1. 活動目標

- 1) 宮崎県看護研究学会の抄録応募施設数の増加を目指す
- 2) 宮崎県看護研究学会の活発な意見交換により看護の質の向上を目指す
- 3) 魅力ある特別講演を企画・実施する

2. 活動内容

1) 委員会開催状況

(1) 開催回数 6 回

(2) 内容

- ・前年度委員会活動報告
- ・令和 5 年度活動計画について
- ・学会開催内容と構成
- ・特別講演のテーマと講師選定
- ・抄録選考と座長選出
- ・次年度活動計画書作成

2) 宮崎県看護研究学会の開催

日 時：3 月 2 日（土）9：00 ～ 13：00

参加者：299 名 会場：140 名（非会員 2 名）web：159 名（学生 144 名含）運営員 38 名

学会テーマ：あなたの強みを活かし、いきいきと働くために

発表演題 口演：18 題、示説：16 題

講演テーマ：あなたの強みを活かし、未来へつなぐ看護

講師：手島 恵氏（国際看護師協会 ICN 理事、千葉大学大学院教授）

3) 会議・学会等への参加

(1) 第 43 回日本看護科学学会学術集会

日 時：12 月 9 日（土）～10 日（日） 参加者：1 名

会 場：海峡メッセ下関、下関市生涯学習プラザ、下関市民会館

3. まとめ（次年度の課題）

今年度は会場参加人数の上限を増やし、昨年度に引き続き Web 配信を併用したハイブリッド方式で看護研究学会を開催した。なお、4 年ぶりに示説発表を開催し、会場では感染対策を徹底し 2 会場による 18 題の口演発表、16 題の示説発表を行った。参加者数は 299 名であり、活発な質疑応答があった。また、今年度は初めて発表者へのアンケートを行った。発表者は、勤務施設からの十分な支援を受け、回答者の 91%が発表をいい経験だったと捉えており、機会があればまた研究に取り組みたいかの質問について、取り組みたくないと回答した発表者はいなかった。

今年度の演題応募は 9 施設 54 題であった。ここ数年、同じ施設からの応募が多い状況は変わらず、応募施設数及び発表演題を増やすことが課題である。次年度は、研究相談を受け付けていることを広く周知するとともに、看護協会で行う研究に関する研修に参加した施設や参加者に、演題応募について勧める等、演題募集を周知する機会を増やす。

実習指導者講習会検討委員会

委員長：小川淳子

委 員：児島ゆかり、壹岐さより、門田広美、橋満升子

1. 活動目標

- ① 実習指導者講習会の目的に照らし合わせ、実施に伴う企画・運営・評価を適切に行う。

- ②講習会受講後のフォローアップ研修を企画・運営し、受講生が実習指導の課題や指導体制のよりよい方向性を見いだす機会とする。

2. 活動内容

1) 委員会開催状況

(1) 開催回数 6回

(2) 内容

- ①令和5年度病院主体コース・特定分野コース運営
- ②令和5年度病院主体コース・特定分野コース開講式・発表会・閉講式出席
- ③令和5年度病院主体コース・特定分野コース運営評価
- ④令和5年度フォローアップ研修運営評価
- ⑤令和6年度病院主体コース・特定分野コース計画

2) 研修会の開催

(1) 宮崎県保健師助産師看護師実習指導者講習会（病院主体）

日 程：6月14日（水）～8月10日（木） eラーニング 30時間 集合研修 27日間

参加者：38名（非会員4名） 運営委員5名

(2) 宮崎県保健師助産師看護師実習指導者講習会（特定分野）

日 程：8月2日（水）～8月25日（金） 集合研修 8日間

参加者：9名（非会員3名） 運営委員5名

(3) 実習指導者講習会フォローアップ研修

日 程：2月17日（土）

参加者：20名（非会員2名） 運営委員4名

3. まとめ（次年度の課題）

- ・講習会運営について、講習会の目的に照らし合わせ企画・運営できた。
- ・病院主体コースのeラーニングの講義内容が難しいため、次年度は「教育原理」のみeラーニングとする。
- ・指導案作成の演習担当教員の共通理解を図るために、質問などに対応できる時間を設けた。
- ・指導案作成の演習担当教員の確保が難しい。
- ・受講生アンケートの回収率が低いため、時間設定をするなど回収率を上げる工夫が必要。

まちの保健室地区代表者委員会

委員長：古市ミドリ

委 員：蛭原夕起子、田中優子、新名麻理子、黒木正樹、加藤千鶴、杉山賞子、丸岡智子、
小牟田佐知子、今村三千代、四元瑞恵、田中澄子、又木真由美

1. 活動目標

- ①県民を対象に、こころや身体について、いつでも、どこでも、だれもが身近なところで気軽に相談できる場所として「まちの保健室」を県内全域で開設し、地域における多職種との連携を図ることに努めながら、県民の健康保持・増進を支援する。
- ②「まちの保健室」の活動が、県民の生活に寄り添った「健康」と「安心」を支える地域づくり活動となることを目指し、積極的な啓発に努める。
- ③研修会を適時開催し、相談に携わる相談員の確保・育成と相談員としての質の向上を図る。

2. 活動内容

1) 委員会開催状況

(1) 開催回数 5回

(2) 内容

- ・令和5年度委員会活動計画について
- ・まちの保健室設置、運営について
- ・相談対応マニュアル、感染対策マニュアルの評価、修正
- ・研修会企画・立案・実施・評価

- ・令和5年度活動の振り返りと実績のまとめ
- ・次年度の活動計画の検討

2) 研修会の開催

(1) まちの保健室協力員育成研修会（共通）

日 時：5月20日（土）13：30～16：40

参加者：43名（非会員1名、運営委員7名）

テーマ：①本県における健康課題と対策について

講師：蛭原夕起子氏（宮崎県健康増進課課長補佐）

②新型コロナウイルス感染症の今後

講師：佐藤圭創氏（延岡市医師会病院医師）

(2) まちの保健室協力員育成研修会（日南・串間地区）

日 時：7月1日（土）13：30～16：00

参加者：15名（非会員2名、運営委員6名）

テーマ：健康と食事～生活習慣病予防と改善に効果的な食事について～

講師：柳衛真由美氏（教諭・管理栄養士）

(3) まちの保健室協力員等4地区合同研修会（西都・児湯、宮崎・東諸県、都城・北諸県、小林・えびの・西諸県地区）

日 時：9月2日（土）13：20～16：00

参加者：24名（非会員2名、運営委員5名）

テーマ：ひきこもりの基本的理解と支援について

講師：吉瀬奈緒美氏（宮崎県精神保健福祉センター 公認心理師・臨床心理士）

片平久美氏、上原留香氏（宮崎県精神保健福祉センター職員）

(4) まちの保健室協力員育成研修会（延岡・西臼杵、日向・東臼杵地区）

日 時：9月9日（土）9：50～12：00

参加者：24名（非会員6名、運営委員6名）

テーマ：自殺予防対策 心に寄り添う聞き方～自分自身もリフレッシュ～

講師：柳田美智子氏（保健師）

3) 地区活動

(1) 地区協力員会議開催状況

①延岡・西臼杵地区 2回

②日向・東臼杵地区 1回

③西都・児湯地区 1回

④宮崎・東諸県地区 2回

⑤都城・北諸県地区 1回

⑥小林・えびの・西諸県地区 2回

⑦日南・串間地区 2回

(2) 内容

- ・代表者委員会の報告
- ・地区研修、全体研修の案内、研修振り返り
- ・まちの保健室の現状、課題等の確認
- ・次年度活動の協議等

3. まとめ（次年度の課題）

まちの保健室事業は、県内7地区で定期型・イベント型を開設しており、現在116名の協力員が活動している。

定期型は、15か所で、年間2275名（延べ相談件数4964件）で246回開設、相談員は延べ414名が従事した。またイベント型は、年間417名（延べ相談件数973件）で14回開設、相談員は延べ38名が従事した（地区別の実績はP82参照）。今年度は全ての定期相談場所において、開催することができ、イベントへの参加も徐々に増えているが、来所者数はコロナ禍前までには回復していない状況である。

研修会は、各地区協力員がテーマや内容等、工夫を凝らしながら全地区で開催することが出来た。また、研修会時等に協力員としての参加啓発等を行うことで、今年度は16名の新規協力員の登録に繋げることが出来た。

今後、新規協力員の育成を丁寧に行い、意欲的に継続して活動できるようにしていきたい。

ここ3～4年、新型コロナウイルス感染症に翻弄され、まだまだ影響を受けている状況ではあるが、地域で住民に寄り添う活動の意義を色々な場面で感じることもできた。

地域との連携において、行政や関係機関との協議等も少しずつ増えてきている状況も見られる。

「まちの保健室」の存在意義を常に考えながら、住民にあてにされる活動を目指したいと考える。今後も「まちの保健室」活動をあらゆる機会に積極的に啓発し、魅力ある活動に繋げていきたい。

災害看護地区代表者委員会

委員長：壹岐由加利

委 員：富山健司、橋田志帆、成合貴代、平松真由美、橋爪由美、松田菜緒子

1. 活動目標

- 1) 災害に対応できる看護職を育成する
- 2) 災害支援ナースを育成し、登録者の質の向上を図る
- 3) 災害支援ナース登録者の管理体制を充実する

2. 活動内容

1) 委員会開催状況

(1) 開催回数 6 回

(2) 内容

- ① 令和 5 年度の委員会活動計画について
- ② 災害支援ナース養成研修・登録の仕組み変更について
- ③ 災害支援ナースフォローアップ研修、看護管理者研修、災害支援ナース養成研修の運営・評価
- ④ 令和 6 年度委員会活動計画の検討

2) 研修会の開催

(1) 災害支援ナースフォローアップ研修

日 時：8 月 5 日（土）9：20～15：30

参加者：34 名（非会員 0 名）、運営委員 7 名

講 師：門田広美氏（延岡看護専門学校 副校長）

(2) 災害支援ナース養成研修（演習） ※日本看護協会委託事業

日 時：9 月 9 日（土）9：20～16：10

9 月 10 日（日）9：20～15：15

参加者：115 名（非会員 0 名）※修了者 114 名

講 師：藤村涼子 氏・日高真紀 氏（宮崎県福祉保健部）、又木真由美（宮崎県看護協会常務理事）

演習講師：鵜野和代 氏（宮崎市郡医師会病院 救急看護認定看護師）

中山雄貴 氏（宮崎大学医学部附属病院 感染管理認定看護師）

ファシリテーター：災害看護地区代表者委員

(3) 災害看護研修（看護管理者編）

日 時：10 月 8 日（日）9：20～15：40、10 月 9 日（月）9：20～15：40

参加者：18 名（非会員 1 名）、運営委員 7 名

講 師：石井美恵子 氏（国際医療福祉大学大学院 災害医療分野教授）

鵜野和代氏（宮崎市郡医師会病院 救急看護認定看護師）

黒木正樹氏（介護老人保健施設螢邑苑 施設長）

森久保 裕氏（宮崎県立延岡病院 救急看護認定看護師）

3) 防災訓練への参加

(1) 都城市総合防災訓練

日 時：11 月 20 日（日）8：30～12：00

参加者：3 名

4) 災害支援ナース養成研修企画・指導者研修の受講

方 法：オンデマンド研修【共通編】3 時間

オンライン研修【演習災害編】3.5 時間、【演習感染症編】3.5 時間

日 時：【共通編】1 月 10 日～2 月 22 日

【演習災害編】2 月 28 日（水）13：00～16：30

【演習感染症編】3 月 1 日（金）13：00～16：30

受講者：3 名（うち委員 1 名）

3. まとめ（次年度の課題）

令和5年度は3研修を計画していたが、令和6年度から災害支援ナースの役割と派遣体制が大きく変わるため一部研修内容を変更して開催した。

8月には現行の災害支援ナース登録者を対象にフォローアップ研修を開催した。災害時の避難所での看護活動をテーマとしたので、次年度の災害編での研修にも活用できる内容であった。次年度は、災害支援ナース登録者の質の維持・向上を図るために、災害看護支援活動と新興感染症看護についての研修を企画している。

日本看護協会から委託を受け、9月には災害と感染症についての一体的なプログラムの災害支援ナース養成研修オンデマンド講義の受講完了者を対象に、演習（集合研修）を開催した。114名が修了し、修了者は令和6年度の法改正に適応した災害支援ナースとして登録された。3年かけて250名の災害支援ナースを養成していく計画であり、次年度もその目標に沿って養成研修を開催していく。

10月に石井美恵子講師による看護管理者対象の研修を行った。次年度から災害支援ナースの派遣の仕組みが変わるため、今年度養成研修を受け登録した支援ナースが在籍する医療機関の管理者に参加してもらうよう呼びかけた。参加者の満足度は高かったが、本研修の参加者は年々減少して今回は18名だった。災害時における看護管理者の危機管理認識の向上は今後ますます重要になると考え、これまでの学習内容を改編することにした。次年度は、自施設の災害・新興感染症発生時に看護管理者としてどうマネジメントしていくかを学び、また災害が発生した際に地域の医療提供を維持するために近隣施設とのネットワークづくりができるような研修を企画する。

令和6年能登半島地震が発生し、本州を中心とした都府県看護協会から被災地に災害支援ナースが派遣された。本県からの派遣は無かったが、今後いつ起こるかもしれない災害に対応できるよう、国や県行政の動向に応じた災害支援活動のための体制整備を図っていきたい。

専門・認定看護師委員会

委員長：三輪真砂子

委員：鵜野和代、楠原裕美子、高須順子、田原真美代、中内健太

1. 活動目標

- 1) 専門・認定看護師が宮崎県の看護の質向上に寄与できるよう、研修会を企画・運営・評価する
- 2) 専門・認定看護師が互いのネットワークづくりを推進できるよう取り組む

2. 活動内容

1) 委員会開催状況

(1) 開催回数 4回

(2) 内容

- ・令和5年度の計画に沿って研修会の運営・評価
- ・専門・認定看護師間ネットワークづくり等の方策の進捗について
- ・専門・認定看護師支援のための相談事業について
- ・令和6年度の活動計画の検討、作成

2) 研修会の開催

(1) 看護職対象研修会

日時：11月24日（土）9：30～15：30

参加者：54名（非会員1名）、運営委員6名

テーマ：「スペシャリストから学ぶ生活を支える看護～食と排泄を支える～」

講師：河野美由紀氏 摂食・嚥下障害看護認定看護師（宮崎県立宮崎病院）

田原真美代氏 摂食・嚥下障害看護認定看護師（小林市立病院）

佐伯亜里沙氏 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師（潤和会記念病院）

中村久美氏 がん看護専門看護師（宮崎県看護協会訪問看護ステーションなでしこ3号館）

(2) 専門看護師・認定看護師研修

日時：1月27日（土）9：00～16：30

参加者：53名（非会員0名）、運営委員6名

テーマ：「2035年に向けた地域包括ケアの課題と挑戦～2025年問題に直面した私たちができること～」

講師：木澤晃代氏	公益社団法人 日本看護協会常任理事
福田安津子氏	クリティカルケア認定看護師 特定行為研修修了（ソフィアメディ株式会社 ソフィアメディ訪問看護ステーション東が丘）
布施慶太郎氏	宮崎県福祉保健部長寿介護医療・介護連携推進室 主幹
上野大助氏	慢性心不全看護認定看護師（宮崎県立宮崎病院）
興梠裕樹氏	感染管理認定看護師 特定行為修了（高千穂町国民健康保険病院）
長友真弓氏	皮膚・排泄ケア認定看護師 特定行為修了（JCHO 宮崎江南病院）

3) 情報発信

- ・「会報なでしこ」に『もう一度押さえておきたい看護のコツ～専門看護師・認定看護師から皆様へ』を4回掲載
- ・宮崎県看護協会ホームページ「県民の皆さまへ」に『専門・認定看護師から』を4回掲載

4) 相談事業

相談事業については、「会報なでしこ」や研修を機会に広報したが、相談はなかった。

3. まとめ（次年度の課題）

今年度は、COVID-19の5類感染症移行に伴い、昨年度と比較し参加者数が、看護職対象研修は1.4倍、専門・認定看護師対象研修は1.7倍に増えた。加えて、看護師対象研修では実演を行うことができ、より実践に沿った研修内容となった。来年度も専門看護師、認定看護師が看護実践能力向上に寄与できるよう、研修会を企画・運営する。

専門・認定看護師のネットワーク作りは、同じ施設内や同分野での交流に留まらず、地域における分野を超えた連携へと発展できるように、メーリングリスト等の検討を行い、ネットワークが広がるように取り組む。また、専門看護師、認定看護師が互いに顔が見える関係性を築けるような支援に向け取り組む。

令和5年度 地区活動報告

延岡・西臼杵地区

地区理事 細元みどり（延岡共立病院）

委員：矢野裕子（個人会員）、加藤千鶴（延岡リハビリテーション病院）、鴨田充世（延岡市医師会病院）、高橋秀臣（介護老人保健施設エクセルライフ）、黒木健次（訪問看護事業所あたと）、黒木正樹（介護老人保健施設蛸呂苑）、甲斐絹代・富山健司（延岡看護専門学校）、松尾祐子（延岡保健所）、見附香世（延岡市役所）、松田美香（県立延岡病院）、松田智子（平田東九州病院）

1. 活動目標

- 1) 保健・医療・介護福祉サービスに従事する看護職と多職種の連携・協働を推進し、相互理解と親睦を図る
- 2) 少子超高齢化社会に対応するために、在宅支援を推進し地域住民の健康増進と福祉活動の向上に努める
- 3) 研修企画・運営を実施し、看護職の質向上に努めるとともに、看護協会の増加を目指す

2. 活動内容

- 1) 各種研修会（医療安全推進・在宅福祉施設で働く看護職のための研修・まちの保健室協力員育成・看護の質向上・災害看護支援・看護職と他職種との交流会）の企画と実施
- 2) 地区施設代表者会議の開催
- 3) 運営委員会の開催（年4回）
- 4) 看護の日のイベント
- 5) 行政等の要請に応じて会議に参加

3. 活動実績

1) 委員会活動

	委員会・会議名	開催日	参加数	会場
1	第1回地区運営委員会	6月22日	9名	延岡共立病院
2	第1回医療安全推進委員会	8月29日	7名	延岡看護専門学校
3	第1回在宅・福祉施設で働く看護職のための委員会・地域要請委員会合同	9月6日	10名	介護老人保健施設エクセルライフ
4	第1回まちの保健室企画運営委員会	9月29日	9名	ヘルストピア延岡
5	第2回在宅・福祉施設で働く看護職のための委員会・地域要請委員会合同	10月5日	8名	介護老人保健施設エクセルライフ
6	第2回医療安全推進委員会	10月10日	5名	延岡看護専門学校
7	第2回地区運営委員会	10月19日	9名	延岡共立病院
8	R5年度地区施設代表者会議	12月21日	31名	延岡共立病院
9	第3回地区運営委員会	12月21日	8名	延岡共立病院
10	第3回医療安全推進委員会	1月9日	7名	延岡看護専門学校
11	第1回災害看護支援委員会	1月15日	5名	延岡看護専門学校
12	第2回まちの保健室企画運営委員会	3月7日	9名	ヘルストピア延岡
13	第4回地区運営委員会	3月19日	10名	延岡看護専門学校

2) 研修会活動

※参加者数（うち非会員数）

研修名	内容	開催日・時間	参加数※	会場
看護の質向上のための研修	救急看護「何か変だな？から始める救急対応」 講師：森久保裕氏（宮崎県立延岡病院）	7月22日（土） 13：30～16：30	83名 （52名）	宮崎県立延岡病院
まちの保健室協力員等育成研修会（日向・東臼杵地区との合同開催）	「自殺予防対策 心に寄り添う聞き方～自分自身もリフレッシュ～」 講師：柳田美智子氏（シンプルライフげんき）	9月9日（土） 9：50～12：00	24名 （6名）	延岡共立病院
在宅・福祉施設で働く看護職のための研修（行政・他団体等との連携委員会合同開催）	「病院・自宅・施設の特徴を理解する～きづく力とつなぐ力～」 講師：日野亮司氏（訪問看護ステーション陽のひかり）	12月2日（土） 14：00～16：30	36名 （12名）	宮崎県立延岡病院
医療安全推進研修	「ヒューマンエラーの見方・考え方～なぜ間違える、どう防ぐ～」 講師：河野龍太郎氏（安全推進研究所）	1月20日（土） 13：15～16：30	70名 （10名）	宮崎県立延岡病院

3) 行政等会議の参加

会議名・内容	開催日	会場
延岡西臼杵地域医療構想調整会議	7月21日	(書面開催)
延岡保健所運営協議会	10月16日	(書面開催)
延岡在宅医療・介護連携推進協議会	11月16日	延岡市役所本庁舎
延岡西臼杵地域医療構想調整会議	12月11日	延岡保健所
延岡西臼杵地域医療構想調整会議	3月6日	(書面開催)

4) イベント活動

イベント名	開催日	参加数	会場
看護の日のイベント	5月27日	協力員2名	イオン延岡店

4. 実施評価と課題

今年度は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に変更された状況での、変化に対応しながら活動しなければならない年であったと考える。そのような中、委員の協力により「看護の質向上のための研修委員会」「まちの保健室企画運営委員会」「医療安全推進委員会」「在宅・福祉施設で働く看護師のための委員会と行政・他団体との連携委員会合同」が企画した4回の研修会を開催し、会員の方々ははじめ各施設からの参加者から高い評価を得た。今後の研修開催を「楽しみにしている」との声もあった。延岡・西臼杵地区は、看護協会からの距離的問題点が再再話題に上がる。そのような環境の中、地区による研修開催は価値あるものと実感している。特に、今年度は「在宅・福祉施設で働く看護師のための委員会」と「行政・多団体との連携委員会」が合同で研修を開催したことで、本地区の超高齢者問題等を看護職だけで考えるのではなく、行政との協力による体制づくりの必要性を再認識できたと考える。

運営委員会も4回開催した。施設代表者会議の開催も「顔の見える関係作り」に大変好評だった。会議で「延岡・西臼杵医療圏における災害発生時の課題」の話題を提供したことは、施設でできる災害支援について「明日からでも直ぐ出来る事」を考えるととても良い機会となった。今回、施設代表者会議を12月21日に行い、災害に対する意識を高めていた矢先のR6年1月1日能登半島地震のニュースに、驚きと共に大きな恐怖を感じた。早速次年度には、災害看護支援委員会が「災害看護シンポジウム in 延岡」を開催するよう企画している。今後も地域に密着した活動が活発になるよう、会員へ向けて協力要請等を地区活動委員の役割としていきたいと考える。

日々どこにいても、自然災害・未知の感染症など何が起こるかわからないこの時代である。私達医療者が、どのような対応をとるべきなのか、そのような状況の中でも自施設の医療を維持しながら地域医療への貢献ができるよう、会員の方々と運営委員の協力を得ながら取り組んでいきたいと考える。そのためにも、看護協会員の増員をめざして、会議や研修を通しての呼びかけは必須と考え、開催時での入会活動を目指していきたい。

日向・東臼杵地区

地区理事 富山由美（和田病院）

委員：高藤ユキ（日向保健所）、成合貴代（済生会日向病院）、三浦久美子（和田病院）、佐藤幸代（訪問看護ステーションなでしこ日向）、阿部裕子・杉山賞子（千代田病院）

1. 活動目標

- 1) 地区活動が地区運営委員会を主として組織的に活動できる
- 2) 研修会の企画・運営を通し看護の質向上及び看護職の交流を図り、会員拡大に努める
- 3) まちの保健室活動を計画的に実施し、地域住民の健康管理に努める
- 4) 多職種と連携を図り、地域包括ケアシステム構築に積極的にかかわる
- 5) 地域の看護職のスキルアップに貢献する

2. 活動内容

- 1) 地区運営委員会（4回）を開催
- 2) 地区研修会（看護の質向上のための研修、災害看護支援研修、在宅・福祉施設等で働く看護職のための研修、自殺対策）の企画・運営・評価
- 3) まちの保健室協力員会議の開催とイベント参加
- 4) 行政等の要請に応じた会議への参加
- 5) 日向市・東臼杵郡看護管理部会と連携（情報共有、活動調整）

3. 活動実績

1) 委員会活動

	委員会・会議名	内容・議題	開催日	参加数	会場
1	第1回地区運営委員会	令和5年度地区活動計画について	6月30日	7名	和田病院
2	第2地区運営委員会	令和5年度上半期研修評価 令和6年度活動計画 次年度委員の選出	10月12日	6名	和田病院
3	まちの保健室協力員会議	令和5年度実績報告 令和6年度活動計画	10月20日	15名	千代田病院
4	第3回地区運営委員会	令和5年度下半期研修評価 令和6年度活動計画	2月8日	7名	和田病院
5	第4回地区運営委員会	令和6年度の活動計画	3月14日	8名	和田病院

2) 研修会活動

※参加者数（うち非会員数）

研修名	内容	開催日・時間	参加数※	会場
災害看護支援研修	地区で起こる災害や避難所の把握と支援活動の体制づくり	8月25日 18:55～20:15	16名 (1名)	大王谷コミュニティセンター
まちの保健室協力員等育成研修(延岡・西臼杵地区合同開催)	自殺予防対策 心に寄り添う聞き方～自分自身もリフレッシュ～	9月9日 9:50～12:00	24名 (6名)	延岡共立病院
看護の質向上のための研修	特定行為研修制度について学ぼう	10月18日 13:30～15:45	13名 (0名)	メディケア盛年館
在宅・福祉施設で働く看護職のための研修	看護職と多職種との交流会	11月12日 9:30～12:00	56名 (28名)	大王谷コミュニティセンター
自殺対策研修	自殺未遂者支援における医療従事者等の役割	12月19日 18:30～20:30	29名 (14名)	日向保健所

3) 行政等会議の参加

会議名・内容	開催日	会場
日向市保健所運営会議	7月25日	日向保健所. 多目的ホール
第2回日向入郷医療圏地域医療構想調整会議	7月26日	日向保健所. 多目的ホール
第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会 日向市準備委員会 設立総会・第1回総会	11月14日	日向市中央公民館. 大ホール
令和5年度第4回日向入郷医療圏地域医療構想調整会議	3月6日	日向保健所. 多目的ホール
第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会 日向市準備委員会設立総会・第1回専門委員会	3月12日	日向市役所. 4階 委員会室

4) イベント活動

イベント名	開催日	参加数	会場
日向市ふれあいフェスタ	11月5日	協力員3名	日向市文化交流センター

4. 実施評価と課題

今年度は5回の研修会を開催することができた。感染症対策を行いながら、顔の見える環境ができたことは、ますます重要となる地域連携の一助になったと考える。また、まちの保健室協力員は5名の新メンバーを迎えることができ、次年度は活動拡大の予定である。

地区の施設代表者会がコロナ感染拡大の影響で中止になったことから、活動計画の周知が十分ではなかった。次年度は行政等の会議内容も含め情報共有の場をもち、地域のネットワークが強化できる環境をつくってきたい。

西都・児湯地区

地区理事 関原昭吾（鶴田病院）

委員：戸高由佳里（高鍋保健所）、岩村優子（訪問看護ステーション湯癒亭）、坂元安恵（国立病院機構宮崎病院）、清水恵子・野邨つぐみ・木村博人（西都児湯医療センター）、海野澄子・丸岡智子（都農町国民健康保険病院）、釘崎信（西都病院）、河野ひろみ・脇本静（海老原総合病院）、関谷明美・土持瞳（三財病院）、小森順子・堀内美智代（並木の里）、梶原さき子（内田医院）、財満ひろみ（訪問看護ステーション花はたる）、中尾真季（大塚病院）、黒木富美（訪問看護ステーションLife）、猪俣政徳（訪問看護ステーションひなた）、藤澤豊子（宮崎医療福祉専門学校）、鍋倉扶美（児湯准看護学校）、安藤優子（都農町健康管理センター）、永友聖敏（鶴田病院）

1. 活動目標

- 1) 地区活動を通して看護職のネットワークを強化する
- 2) 研修会の企画・運営を実施し、看護職の質向上を図るとともに会員拡大に努める
- 3) まちの保健室活動を通して、地域住民の健康保持・増進を支援する

2. 活動内容

- 1) 地区施設代表者会議の開催
- 2) 地区研修会の企画・実施
- 3) まちの保健室協力員会議の開催・まちの保健室活動・イベント実施)
- 4) 行政等の会議への参加

3. 活動実績

1) 委員会活動

	委員会・会議名	内容・議題	開催日	参加数	会場
1	第1回西都児湯地区施設代表者会議	・理事会報告 ・令和5年度組織体制について ・令和5年度地区活動（研修会）について ・意見交換会など	7月7日	20名	鶴田病院
2	第2回西都児湯地区施設代表者会議	・理事会報告 ・委員会より報告 ・令和5年度研修会実施報告、評価 ・令和6年度活動計画、予算について ・意見交換会など	10月27日	20名	鶴田病院
3	まちの保健室協力員会議	・令和5年度定例委員会報告並びに実施状況報告 ・令和6年度まちの保健室事業計画について ・意見交換、検討	3月7日	12名	鶴田病院

2) 研修会活動

※参加者数（うち非会員数）

研修名	内容	開催日・時間	参加数※	会場
医療安全推進研修	『医療版失敗学』～インシデント報告書を宝の山に～ 講師：三好彰範氏（一般社団法人さとやま遊人舎）	8月26日 13：20～16：30	57名 (15名)	宮崎県立産業技術専門校
自殺対策研修 （高鍋保健所との共催研修会）	① 報告「西都・児湯地区の自殺の現状について」 報告者：清弥佳氏（高鍋保健所健康づくり課） ② 講演「自殺予防のための気づきとアプローチ～もし『死にたい』と言われたら～」 講師：船橋英樹氏（宮崎大学医学部臨床神経科学講座）	9月14日 19：00～20：30	49名	高鍋保健所
看護の質向上のための研修	「新型コロナウイルス感染症について」 講師：隅田恵子氏（国立病院機構宮崎病院）	10月20日 18：50～20：40	85名 (19名)	高鍋美術館
在宅・福祉施設等で働く看護職のための研修	「ヤングケアラーのために私達ができること」 講師：島田理沙氏（宮崎県子ども・若者総合相談センター）	11月24日 18：50～20：15	38名 (8名)	児湯准看護学校

3) 行政等会議の参加

会議名	開催日	会場
令和5年度第1回西都児湯二次医療圏地域医療構想調整会議	7月18日	高鍋保健所
令和5年度高鍋保健所運営協議会	8月28日	高鍋保健所
令和5年度西都児湯地域・職域連携推進協議会	11月6日	高鍋保健所
令和5年度第2回西都児湯二次医療圏地域医療構想調整会議	11月27日	高鍋保健所
令和5年度厚生労働省委託事業「地域・職域連携の推進および青壮年期におけるヘルスリテラシー向上のためのプラットフォーム開発調査等事業」地域・職域連携に関するイベント	2月20日	オンライン
令和5年度西都児湯地域・職域連携推進協議部会	2月28日	高鍋保健所

4) イベント活動

イベント名	開催日	参加数	会場
看護の日のイベント	5月14日	協力員2名	西都ショッピングセンター パオ
イベント型「まちの保健室」	3月2日	協力員4名	JA西都いっちょが広場前駐車場

4. 実施評価と課題

当初の計画では5研修の予定であったが、災害看護研修会を除く4研修のみとなった。感染症状況をみながらの開催となったが、どの研修会も予定参加者数を上回る申し込みがあり、地区での研修会開催の意味が示された。受講前の期待と受講後の理解・満足度に大きく乖離はなかったが、中には、期待どおりではなかったという意見も聞かれた。研修受講後のアンケートから、地区で行ってほしい研修会の希望も聞けたので、次年度の企画に活かしていきたい。また受講施設に偏りがあるため、1施設でも多くの施設から研修参加を促し、会員拡大につなげていきたい。

委員会活動が会議のみとなっているが、地区の代表者、委員との顔の見える関係作りができ、普段困っていることなどの意見交換等ができる場がもて大変好評であった。各委員会も必要に応じて無理なく行い、より充実した内容の地区活動が行えるようにしていきたい。

行政会議の情報の共有がなかなかできていないので、地区会議等で報告し、地域職域連携の強化に努めていきたい。

宮崎・東諸県地区

地区理事 山下千夏（南部病院）

委員：日高明美（宮崎県立宮崎病院）、福満美和（宮崎大学医学部附属病院）、和泉貴子（古賀総合病院）、新名麻理子（宮崎市郡医師会病院）、西橋富美江（潤和会記念病院）、小村哲郎（宮崎若久病院）、岩部 仁（宮崎善仁会病院）、後藤美紀（けいめい記念病院）、小牟田佐知子（宮崎生協病院）、日高友子（宮崎市保健所）、中山秀昭（宮崎医療センター病院）、竹本美希（訪問看護ステーションなんぶ）

- 1. 活動目標
 - 1) 地区活動を推進し、研修会の企画・運営を通し、地域の看護職の質向上を目指す
 - 2) 地域包括ケアシステムの推進のために看護職同士や他職種との交流を深め連携を図る
 - 3) 地域住民の健康と福祉の向上に寄与する
- 2. 活動内容
 - 1) 地区施設代表者会議（年2回）・地区運営委員会（年6回）の開催
 - 2) 地区研修の企画・運営（看護の質向上のための研修、医療安全推進研修、災害看護支援研修、在宅・福祉施設等で働く看護職のための研修）
 - 3) まちの保健室協力員会議（年2回）研修（年1回）
 - 4) 看護の日のイベントの支援・協力
 - 5) 行政等の要請に応じた会議への参加
- 3. 活動実績

1) 委員会活動				
	委員会・会議名	開催日	参加数	会場
1	第1回地区施設代表者会議	4月21日	26名	宮崎県看護協会
2	第1回地区運営委員会	4月21日	8名	宮崎県看護協会
3	第2回地区運営委員会	6月23日	9名	宮崎医療センター病院
4	第3回地区運営委員会	8月18日	8名	宮崎医療センター病院
5	第1回まちの保健室協力員会議	9月30日	7名	県立図書館
6	第4回地区運営委員会	10月31日	9名	宮崎医療センター病院
7	第2回地区施設代表者会議	11月16日	24名	宮崎県看護協会
8	第5回地区運営委員会	12月1日	11名	宮崎医療センター病院
9	第6回地区運営委員会	2月28日	9名	宮崎医療センター病院
10	第2回まちの保健室協力員会議	3月9日	9名	県立図書館

2) 研修会活動				
※参加者数（うち非会員数）				
研修名	内容	開催日	参加数※	会場
看護の質向上のための研修	「みんなで考えよう救急看護」 講師：岩崎利恵 氏（宮崎県立日南病院 救急看護認定看護師）	8月6日	22名 （4名）	宮崎県看護等研修センター
医療安全推進研修	「安全力の推進～医療安全文化醸成への挑戦～」 講師：富山由美 氏（医療法人誠和会和田病院 看護部長）	10月29日	22名 （3名）	宮崎県看護等研修センター
看護師と他職種との交流会	「ごちゃまぜで学ぶ病棟在宅医療連携」 講師：吉村学 氏（宮崎大学医学部地域医療・総合診療医学講座 教授）	10月13日	44名 （27名）	宮崎市保健所
在宅・福祉施設等で働く看護職のための研修会	「在宅での脆弱な高齢者の皮膚のケアについて」 講師：酒井美香 氏（宮崎市郡医師会病院 皮膚・排泄ケア認定看護師）	11月10日	24名 （9名）	宮崎市郡医師会館

3) 行政会議の参加		
会議名・内容	開催日	会場
令和5年度宮崎県中央保健所運営協議会	6月21日	宮崎県総合保健センター
第1回宮崎東諸県地域医療構想調整会議	7月5日	（書面会議）

第1回宮崎市感染症予防計画策定協議会	7月27日	宮崎市保健所
第2回宮崎東諸県地域医療構想会議	10月11日	宮崎県総合保健センター
第2回宮崎市感染症予防計画策定協議会	11月3日	(書面会議)
第3回宮崎東諸県地区地域医療構想調整会議	2月7日	宮崎県総合保健センター
第3回宮崎市感染症予防計画策定協議会	2月8日	宮崎市保健所
第4回宮崎東諸県地区地域医療構想調整会議	3月12日	(書面会議)

4) イベント活動

イベント名	開催日	参加数	会場
看護の日のイベント	5月14日	協力員2名	宮交シティ
こころの日	7月1日	協力員2名	宮交シティ
ワンストップ相談	9月10日	協力員2名	イオンモール宮崎
ワンストップ相談	1月27日	協力員2名	(オンライン)
ワンストップ相談	3月17日	協力員2名	県立図書館
いいお産の日	11月25日	協力員2名	県立図書館

4. 実施評価と課題

新型コロナウイルス感染症も5類となり、感染対策に十分注意しながら、予定していた会議・研修を全て実施することができた。

地区の施設代表者会議では、各施設の看護管理者向けの研修となっており、社会の情勢を考慮したテーマで企画した。2回の会議の中で「感染症対応」「新人看護職の離職」「性の多様性」についてグループワークを通し、情報共有や交換を行う事ができ交流が図れたのではないかと思います。参加人数は、コロナ前と比較し若干減少傾向となっており、今後も施設の代表者が参加したくなるような企画・運営を行っていききたい。

研修会活動では、いずれも参加者の満足度の高い研修となった。多職種対象の研修では、各職種の協会へ案内を行っていただくことで、参加者が増加した。しかし、研修全体では募集と比べ研修参加者が少ないので、メーリングリストの活用など、様々な方法で働きかけていきたい。

都城・北諸県地区

地区理事 井上光子（国立病院機構都城医療センター）

委員：上森妃美（都城市郡医師会病院）、中堂蘭明人（宮永病院）、中山秋子（藤元病院）、上田淳子（藤元上町病院）、谷口光恵（大悟病院）、安楽 泉（訪問看護ステーション優癒）、荒武昌代（藤元総合病院）、益留真由美（都城保健所）、今村三千代（個人会員）

1. 活動目標

- 1) 地区研修会を企画・運営し、地域の看護の質向上を図る
- 2) 地域包括ケアシステムの構築のために看護職と他職種との連携を図る
- 3) まちの保健室活動を通して、地域住民の健康保持・増進に寄与する
- 4) 地区活動を推進し、看護管理者、看護職の交流を深める

2. 活動内容

- 1) 地区運営委員会・各委員会合同会議開催
- 2) 地区研修会の企画と実施
- 3) まちの保健室活動
- 4) 行政等の会議への参加地区研修会の企画・実施

3. 活動実績

1) 委員会活動

	委員会・会議名	内容・議題	開催日	参加数	会場
1	第1回地区運営委員会・各委員会合同会議	理事会報告、今年度の地区活動計画	5月24日	22名	都城医療センター
2	医療安全推進委員会	地区研修会の企画検討	7月5日	5名	都城医療センター
3	第1回 施設代表者会議	今年度の地区活動、COVID-19、看護協会入会について意見交換	7月26日	11名	都城医療センター
4	看護の質向上のための研修委員会	地区研修会の最終確認	8月23日	5名	都城医療センター
5	在宅・福祉施設等で働く看護職のための委員会	地区研修会の企画検討	8月29日	6名	藤元総合病院

6	災害看護支援委員会	地区研修会の企画検討、都城総合防災訓練(11/19)について	10月5日	5名	藤元総合病院
7	第2回地区運営委員会・各委員会合同会議	運営委員会、合同会議(理事会報告、地区研修報告、次年度活動計画の検討)	10月31日	19名	都城医療センター
8	まちの保健室協力員委員会	代表者委員会活動報告、地区の事業報告、次年度の活動	12月6日	10名	都城医療センター
9	第2回施設代表者会議	理事会報告、地区活動報告、次年度の地区活動、次年度以降の地区理事	3月4日	11名	都城医療センター
10	第3回地区運営委員会・各委員会合同会議	地区研修報告、次年度の地区運営委員、委員、次年度の研修企画	3月4日	17名	都城医療センター

2) 研修会活動

※参加者数(うち非会員数)

研修名	内容	開催日・時間	参加数※	会場
看護の質向上のための研修会	認知症高齢者の認知機能低下の予防と対策 講師：田代 学(潤和会記念病院)	8月31日 18:30～20:30	45名 (11名)	都城医療センター
医療安全推進研修	失敗学から学ぶ医療安全 講師：三好彰範(一般社団法人さとやま遊人舎)	10月28日 13:00～15:30	48名 (7名)	都城市郡医師会病院
在宅・福祉施設等で働く看護職のための研修	コロナ禍を振り返り、今後の地域連携に活かす ～事例を通して、それぞれの課題を検討する～ 講師：岩切優典(藤元総合病院) 川野さやか(リハケアステーション都城) 安楽泉(訪問看護ステーション優癒)	11月18日 13:00～15:00	20名 (2名)	都城医療センター
災害看護支援研修	・近年の災害と今後の課題 講師：園田徳二(都城市役所) ・台風14号を経験して～災害支援ナースの立場から～ 講師：森下優子(藤元総合病院) ・災害時の感染予防対策 講師：岩切優典(藤元総合病院)	12月9日 13:30～16:30	49名 (5名)	藤元総合病院

3) 行政等会議の参加

会議名	開催日	会場
都城市三股町在宅医療介護連携推進協議会	5月26日、3月15日	都城市北諸県郡医師会館
都城市三股町医療介護連携推進協議会 在宅医療・介護部会Bチーム	5月30日、6月27日、8月1日、9月5日、9月29日、1月16日	在宅医療・介護連携相談支援センター、中山荘
都城市三股町医療介護連携推進協議会 市民研修啓発部会	6月6日、9月29日	都城市北諸県郡医師会館、中山荘
第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会 都城市準備委員会 第2回総会	6月2日	中山荘
第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会 都城市準備委員会 第1回宿泊・衛生専門委員会	11月9日	都城市役所
都城北諸県地域・職域連携推進協議会	8月22日	都城保健所
都城北諸県地域・職域連携推進協議会 作業部会	6月23日	都城保健所
都城北諸県地域医療構想調整会議	7月13日、11月28日(書面会議)、2月27日	都城保健所
都城保健所運営協議会	7月26日	都城保健所
都城北諸県地域自殺予防対策協議会	12月21日	都城保健所
第4回都城市介護保険運営協議会	2月19日	中央公民館

4) イベント活動

イベント名	開催日	参加数	会場
三股町ボランティアまつり	10月21日	協力員2名	三股町総合福祉センター
薬剤師会くすりと健康展	10月29日	協力員2名	都城市コミュニティセンター
三股町パノラママラソン	1月28日	協力員2名	三股町立文化会館

4. 実施評価と課題

地区運営委員会、各委員会合同会議は研修の企画運営に関する内容を主に開催した。施設代表者会議を2回開催し、新たな顔の見える関係構築へと繋がった。

地区研修会は各委員の主体的な活動により計画通り4回開催することができ、参加人数のバラつきはあるものの、地域のニーズに合ったものと評価する。

まちの保健室は、協力委員の協力のもと定期開催、イベントへの参加等活動することができた。

行政等の会議へは新型コロナウイルス感染症が5類となり会議回数の増加、対面での会議に移行したが出来る範囲で出席した。次年度も地域、施設間との連携を密に地域の看護の質向上に向け、取り組んでいきたい。

小林・えびの・西諸県地区

地区理事 弓削尚美（野尻中央病院）

委員：梅木千恵・古川裕恵（高原病院）、武田 愛・四元瑞恵・橋爪由美（小林市立病院）、林 一美・野辺卓真（園田病院）、井上由紀子・浦崎栄子（野尻中央病院）、北原優子（訪問看護ステーションケアふる）

- 1. 活動目標
 - 1) 地区活動を推進し、研修の企画・運営を通し地域の看護の質向上を目指す。
 - 2) 地区活動を通し、保険・医療・福祉サービスの看護職との連携を図る。
 - 3) まちの保健室活動を実施し、地域住民の健康管理に貢献する。

- 2. 活動内容
 - 1) 地区施設代表者会議・運営委員合同会議（3 回開催）
 - 2) 看護の質の向上のためにも研修、医療安全研修の開催
 - 3) まちの保健室人員確保や活動について
 - 4) 行政主催の会議の参加

- 3. 活動実績
 - 1) 委員会活動

	委員会・会議名	内容・議題	開催日	参加数	会場
1	第 1 回地区施設代表者・運営委員合同会議	理事会報告、新たな仕組みによる災害支援ナースの派遣について、令和 5 年度地区活動について	5 月 26 日	13 名	小林市立病院
2	第 1 回まちの保健室企画運営委員会	まちの保健室相談者の状況、開催場所について	7 月 27 日	5 名	TENAMUビル
3	第 2 回地区施設代表者・運営委員合同会議	理事会報告、地区活動について	8 月 29 日	16 名	小林市立病院
4	看護の質向上のための委員会	研修開催について	9 月 21 日	5 名	小林市立病院
5	医療安全推進委員会	研修開催について	9 月 21 日	11 名	国保高原病院
6	第 2 回まちの保健室企画運営委員会	地区代表者委員会の報告、まちの保健室活動状況及び今後の活動について	12 月 14 日	6 名	TENAMUビル
7	第 3 回地区施設代表者・運営委員合同会議	理事会報告、地区活動について	3 月 12 日	19 名	小林市立病院

- 2) 研修会活動 ※参加者数（うち非会員数）

研修名	内容	開催日・時間	参加数※	会場
看護の質向上のための研修会	口腔ケアについて 講師：田原真美代 氏（小林市立病院 摂食・嚥下障害看護認定看護師）	11 月 25 日 14：00～16：00	20 名 （2 名）	小林市立病院
医療安全推進研修	医療従事者の安全を確保するために～医療現場での暴力対策～ 講師：小林警察署生活安全課 課員	12 月 9 日 14：00～16：00	29 名 （8 名）	小林中央公民館

- 3) 行政等会議の参加

会議名	開催日	会場
西諸地域・職域連携推進協議会作業部会	5 月 10 日	小林保健所
第 1 回西諸地域医療構想調整会議	7 月 6 日	小林保健所
令和 5 年度小林保健所運営会議	7 月 18 日	小林保健所
令和 5 年度西諸地域自殺対策協議会	8 月 17 日	小林市中央公民館
第 81 回国民スポーツ大会えびの市準備委員会 設立総会・第 1 回総会	8 月 18 日	えびの市文化センター
第 2 回西諸地域医療構想調整会議	11 月 30 日	小林保健所
令和 5 年度西諸地域・職域連携推進協議会	2 月 1 日	小林保健所
第 3 回西諸地域医療構想調整会議	2 月 20 日	小林保健所

- 4) イベント活動

イベント名	開催日	参加数	会場
看護の日イベント（まちの保健室）	5 月 11 日	協力員 2 名	まちなか松栄

- 4. 実施評価と課題

地区理事を引き継ぎ、前任者からのアドバイス等いただきながら活動できた。各施設の代表者や運営委員の協力もあり、研修等も開催できた。地区施設代表者会議・運営委員合同会議は、3 回開催することができ、各施設との情報共有や意見交換等行えた。インフルエンザとコロナの感染もまだ続いており各施設との情報共有は必要である。今後、2027 年開催予定の国スポへの協力体制も必要になると考えられる。

日南・串間地区

地区理事 山中ゆかり（愛泉会日南病院）

委員：井上洋子（県立日南病院）、清水小百合（串間市民病院）、鈴木松江（おび中央病院）、大塚民子（県南病院）、小川淳子（日南看護専門学校）、富松咲枝（谷口病院）、倉元幸恵（日南市立中部病院）、井上香代子（日南学園高等学校看護専攻科）、田中澄子（個人会員）、瀬戸口麻美（訪問看護ステーション凜）、後藤由佳（日南保健所）、田中茂子（春光会記念病院）、野口初代（はまぼう訪問看護ステーション）

1. 活動目標

- 1) 地区活動を推進し、県南地域の看護の質向上を目指す
- 2) 地区内の看護職の交流を図り、県南地域の医療・看護の発展に貢献する
- 3) まちの保健室活動を通して、地域住民の健康保持・増進に寄与する
- 4) 地区活動を推進し、看護管理者、看護職の交流を深める

2. 活動内容

- 1) 地区運営会議の開催
- 2) 医療安全推進委員会
- 3) 災害看護支援委員会
- 4) まちの保健室協力委員会
- 5) その他の行政に関すること

3. 活動実績

1) 委員会活動

	委員会・会議名	内容・議題	開催日	参加数	会場
1	第1回日南・串間地区運営会議	令和5年度の活動・研修計画 令和5年度運営会議について	5月18日	14名	まなびピア
2	第1回まちの保健室協力委員会	地区代表者委員会議報告 研修報告 相談日程表作成	6月7日	13名	まなびピア
3	医療安全推進委員会	令和5年度研修企画案の確認	6月29日	9名	まなびピア
4	災害看護支援委員会	地区代表委員会報告 令和5年度研修会について	10月3日	5名	まなびピア
5	第2回日南・串間地区運営会議	理事会報告 地区活動報告	10月19日	11名	まなびピア
6	第2回まちの保健室協力委員会	代表者委員会議報告 まちの保健室開設状況、活動について 令和6年度研修計画について	12月6日	12名	まなびピア
7	第3回日南・串間地区運営会議	理事会報告 地区活動報告	2月15日	9名	まなびピア

2) 研修会活動

※参加者数（うち非会員数）

研修名	内容	開催日・時間	参加数※	会場
まちの保健室 協力委員会研修	「健康と食事」～生活習慣予防と改善に効果的な食事について～ 講師：柳衛真由美氏（宮崎県栄養士会・管理栄養士）	7月1日 13：30～16：00	15名 (2名)	まなびピア
医療安全推進 委員会研修	アクシデント・インシデントの新たな秘策を見つけ出そう(グループワーク)	9月29日 18：00～19：30	42名 (17名)	まなびピア
災害看護支援 委員会	医療人として災害に備えよう「災害時医療対応の原則とトリアージの方法を学ぶ」 講師：岩崎利恵氏（宮崎県日南病院 救急看護認定看護師）	12月16日 9：30～12：30	23名 (2名)	まなびピア

3) 行政等会議の参加

会議名	開催日	会場
第1回日南串間市地域医療構想調整会議	6月	(書面会議)
日南串間地域・職域連携推進協議会	7月26日	南郷ハートフルセンター大研修室
第1回健康にちなん21推進会議	7月28日	日南市役所新庁舎2階会議室
第1回日南市地域包括支援センター運営協議会	8月2日	日南市役所 付属棟
日南市地域ケア推進会議	8月2日	日南市役所 付属棟
第2回日南市地域密着型サービス運営委員会	8月2日	日南市役所 付属棟
日南保健所運営協議会	8月30日	日南保健所 多目的室
第1回日南市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画委員会	8月31日	日南市役所 本庁2階
第3回日南市地域密着型サービス運営委員会	9月27日	日南市役所 付属棟
第2回日南市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画委員会	10月27日	日南市役所 本庁2階
第2回日南串間市地域医療構想調整会議	11月28日	日南保健所 多目的室

第3回日南串間市地域医療構想調整会議	12月	(書面会議)
第3回日南市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画委員会	12月22日	日南市役所 付属棟
第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会日南市準備委員会	1月25日	まなびピア第4会議室
第2回健康にちなん21推進会議	2月9日	日南市役所 本庁2階
第10回串間市在宅医療介護連携推進協議会	2月	(書面会議)
第4回日南市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画委員会	2月16日	日南市役所 付属棟
日南市在宅医療・介護連携推進協議会	2月19日	日南市役所 付属棟
第2回日南市地域包括支援センター運営協議会	2月27日	日南市役所 付属棟
第4回日南市地域密着型サービス運営委員会	2月27日	日南市役所 付属棟
第4回日南串間市地域医療構想調整会議	2月28日	日南保健所 多目的室

4) イベント活動

イベント名	開催日	参加数	会場
南郷ハートフルまつり	10月29日	24名	南郷ハートフル
北郷産業まつり	11月25日	101名	北郷大藤河川敷

4. 実施評価と課題

各研修では感染対策を取りながら大変だったが、次年度は参加人数が増えるよう興味のある研修内容にしたいと考える。委員会の会議もできるようになり、日南・串間の医療機関等での交流ができ、意見交換が出来たことは良かったと思う。ただし、公務外での会議となるため施設の負担はあるのが課題である。

地区委員会は年3回の実施にしているが大きな問題はなく、必要時に委員あてに連絡またはグループラインで意見調整を行っている。会議の参加が減少しているので、早めの呼びかけを行い参加を促していきたい。

行政等会議はコロナ禍で書面会議が多かった昨年度に比べ、徐々に対面での会議が行われるようになった。顔が見えることで交流がしやすくなったと思う。

次年度も地区運営委員をはじめ他の医療機関と連携を図り、意見交換が活発にできるよう活動を行っていきたい。

令和5年度 日本看護協会理事会及び地区別法人会員会報告

日本看護協会理事会

1. 理事会開催状況

回	日時・会場・出席者等	主な協議事項等
1	開催日時 ・令和5年5月17日（水） ・10:00～16:00 会場 ・JNA ホール 出席役員 ・理事 58名 ・監事 4名	I 事業推進に関する事項 1) 日本看護協会図書館の利用者サービス（案）について協議、承認。 2) 日本看護協会における博物館基本構想案（案）について協議、承認。 3) 2023年度職能委員会委員の選任（案）について協議、承認。 4) 2023年度第1回全国職能委員長会開催（案）について協議、承認。 5) 2023年度論文審査・編集委員会委員（案）について協議、承認。 6) ナース・プラクティショナー（仮称）制度案の見直し（案）について協議、承認。 II 管理的事項 1) 令和4年度決算報告書（案）及び監査報告書について協議、承認。 2) 令和4年度資金調達及び設備投資の実績を記載した書類（案）について協議、承認。 3) 令和4年度公益認定財務三基準の計算書及び公益目的取得財産残額（案）について協議、承認。 4) 令和5年度資金収支予算書及び収支予算書の第1次補正（案）について協議、承認。 5) 2022年度新型コロナウイルス感染症に係る寄附活用状況及び超過見込額の自己資産充当（案）について協議、承認。 6) 会員拡大に向けての改善（案）について協議、承認。 III 人事関係 1) 人事案件（3件協議、承認）
2	開催日時 ・令和5年6月7日（水） ・17:45～18:15 会場 ・ホテルニューオータニ幕張（千葉県） 出席役員 ・理事 59名 ・監事 4名	選挙後の新役員による理事会開催のため、まずは理事会招集の同意について確認し、全員の同意が得られたので、以下の4件について協議、すべて承認。 1) 役員の選定（案）について協議、承認。 2) 会長及び副会長の常勤又は非常勤（案）について協議、承認。 3) 会長代行及び専務理事代行の優先順位（案）について協議、承認。 4) 業務執行理事の業務分担（案）について協議、承認。
3	開催日時 ①令和5年7月20日（木） 13:00～16:30 ②令和5年7月21日（金） 9:00～10:15 会場 ・東京プリンスホテル 出席役員 ・理事 57名 ・監事 4名	I 事業推進に関する事項 1) 看護政策推進のためのエビデンス創出体制の構築に係る方針（案）について協議、承認。 2) 2023年度地区別職能委員長会開催（案）について協議、承認。 3) 認定看護管理者制度改正の骨子（案）について協議、承認。 II 管理的事項 1) 委員会事務支援システム及び支払業務支援システムの入替（案）について協議、承認。 2) 令和5年度資金運用方針（案）について協議、承認。 3) 令和4年度定期提出書類「別表H(1)当該事業年度末日における公益目的取得財産残額」の訂正（案）について協議、承認。
4	開催日時 ・令和5年9月22日（金） ・9:30～14:50 会場 ・JNA ホール 出席役員 ・理事 58名 ・監事 4名	I 基本方針・政策 1) 令和6年度重点政策（案）について協議、承認。 II 事業推進に関する事項 1) 2024年度「看護の日・看護週間」事業（案）について協議、承認。 III 管理的事項 1) ハラスメント防止・解決に関する体制の再構築及びハラスメント防止等規制の廃止・制定（案）について協議、承認。

5	開催日時 ①令和5年11月21日(火) 13:30～17:15 ②令和5年11月22日(水) 9:30～11:40 会場 ・JNA ホール 出席役員 ・理事 58名 ・監事 4名	I 基本方針・政策 1)令和6年度の重点政策・重点事業(案)について協議、承認。 II 事業推進に関する事項 1)2023年度第2回全国職能委員長会の開催(案)について協議、承認。 III 管理的事項 1)2024年度の見込み会員数(案)について協議、承認。 2)会計処理規則の改正(案)について協議、承認。 3)通常総会の開催概要、開催地等(令和6～9年度)(案)について協議、承認。 IV 人事関係 1)人事案件(1件協議、承認)
6	開催日時 ①令和6年2月21日(水) 13:30～18:00 ②令和6年2月22日(木) 9:30～12:20 会場 ・JNA ホール 出席役員 ①理事 57名 監事 4名 ②理事 56名 監事 4名	I 基本方針・政策 1)令和6年度重点政策・重点事業(案)について協議、承認。 2)令和6年度通常総会報告事項(案)の以下4件について協議、すべて承認。 ①令和5年度重点政策・重点事業報告(案) ②令和5年度事業報告(案) ③令和6年度重点政策・重点事業計画(案) ④令和6年度事業計画(案) 3)令和6年度資金収支予算書(案)及び収支予算書(案)について協議、承認。 4)令和6年度資金調達及び設備投資の見込み(案)について協議、承認。 II 事業推進に関する事項 1)東京大学大学院における社会連携講座(外部資産講座)の設置(案)について協議、承認。 2)2024年度全国職能別交流集会開催要項(案)について協議、承認。 3)2024年度認定看護師教育機関審査会・認定看護師審査会の構成員(案)について協議、承認。 4)認定看護管理者制度の新たな見直し範囲と方向性及びスケジュールの変更(案)について協議、承認。 5)資格認定3制度のあり方に関する検討の進捗報告および認定看護師・専門看護師のあり方・方針(案)について協議、承認。 6)日本看護協会図書館の登録料及び利用料の設定(案)について協議、承認。 III 管理的事項 1)2024年度名誉会員候補者(案)について協議、承認。 2)2024年度日本看護協会長表彰候補者(案)について協議、承認。 3)2024年度委員会の設置(案)について協議、承認。 4)貸与型奨学金規程4種の改正(案)について協議、承認。 IV 人事関係 1)人事案件(2件協議、承認)

地区別法人会員会並びに法人会員連絡会（九州地区）

日 時 令和5年10月19日（月）9：30～18：00、20日（火）9：00～12：30

場 所 出島メッセ長崎

参加者 中武郁子（会長）、又木真由美（常務理事）

主な協議内容等

【地区別法人会員会】

1. 日本版ナース・プラクティショナー（仮称）制度（案）について
2. 次期ビジョンの策定に向けた意見交換
3. 会員確保について

【法人会員連絡会】

《意見交換事項》

1. 教育研修について
 - 1) 教育研修費（受講料）について
 - 2) オンラインでの研修の受講料について
2. 看護教員について
 - 1) 専任教員養成講習会の実施状況について
 - 2) 看護教員確保について
3. 認定看護管理者教育課程サードレベル・セカンドレベル研修の講師選定について
4. 災害支援ナース養成研修について
5. 会員確保について
 - 1) 入会促進活動について
 - 2) 協会の会員確保について
 - 3) 保健師・助産師・看護師Ⅱの会員確保について
 - 4) 入会促進活動における会員の確保について
6. ナースセンターの運営について
7. 高校生の看護体験及び看護学生体験の実施方法及び謝金について
8. 看護の心普及啓発等に活用する「看護の日」グッズ購入費用、かんばんちゃんを活用したグッズ制作について
9. 2024年度看護の日記念ラッピングバス運行に関するイベントについて
10. 在宅支援事業部等について
 - 1) 在宅支援事業部の運営について
 - 2) 看護小規模多機能型居宅介護支援事業について
11. 看護協会職員研修受講者等及び職員等のハラスメント対応について
12. 常任委員会及び特別委員会の設置状況と委員の選定について
13. 県看護協会内の医療事故調査支援委員会の設置について

(報告事項 3) 令和 6 年度重点事業並びに事業計画

少子超高齢化や疾病構造を見据えた社会保障制度改革では、2025 年を目途に地域包括ケアシステムの構築や医師の働き方改革などが進められてきました。

そして、さらにその先の 2040 年を展望した社会保障・働き方改革の検討が進められています。大規模災害や感染症蔓延時における健康危機管理への対応などを含め、人々が地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう看護は役割を発揮していかななくてはなりません。

令和 6 年度の重点事業は、昨年度の事業を踏襲し、継続的に進めていくとともに人々の健康と暮らしを守り支えるという看護の本質を見失うことなく事業を進めてまいります。

重点事業

1. 地域包括ケアを支える看護提供体制の強化
2. 看護職の働き方改革の推進
3. 看護職の役割拡大の推進と人材育成
4. 地域における健康危機管理体制の整備
5. 組織力の強化

策定意図

1. 地域包括ケアを支える看護提供体制の強化

地域で暮らす全ての人々の健康や療養生活を支え、一人ひとりの尊厳の保持と自立した生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制（地域包括ケアシステム）の更なる推進に取り組みます。

また、看護の現場における課題を踏まえながら、看護を必要とする人が、いつでもどこでも看護が受けられる体制作りのため情報収集や関連機関との調整に引き続き取り組みます。

実施内容

- 1) 多職種との連携推進
- 2) 地域における健康支援
- 3) 在宅療養を担う看護職の支援
- 4) 訪問看護支援センター設置に向けた活動

2. 看護職の働き方改革の推進

2023 年 10 月に「看護師等の確保を促進するための措置に関する基本的な指針」が 30 年ぶりに改定されました。基本指針には、看護職が生涯を通じ、専門職として働き続けるために重要な事項が示されています。「看護師等の就業の促進に関する事項」では、現役世代（担い手）が急減する中で、増大する看護ニーズに対応していくためには看護職の確保に向けた「新規養成・復職支援・定着促進」を 3 本柱にした取組の推進が重要です。さらに、看護職の働き方の既成概念にとらわれることのない持続可能な働き方に向けた勤務環境改善や、看護職一人ひとりが健康で安全に自分らしく働きながら自己実現していくことが求められています。

そこで、働く領域・場所を含め、ライフステージに応じた多様な働き方が可能となる体制作りを提案し、関係機関と連携を図り看護職の人材確保・定着・復職支援を推進します。また、2024 年度はデジタル改革関連法を踏まえた看護職の人材活用システムが開始されることから、システムの周知に努めます。

実施内容

- 1) 看護職の働き方改革（多様な働き方、処遇改善の推進）
- 2) 看護職が健康で安全に働ける職場環境（ヘルシーワークプレイス）の実現に向けた取り組み
- 3) ナースセンターの利用促進（人材確保・定着・復職支援）
- 4) 看護職の人材活用システムの周知
- 5) 未来の看護の担い手の育成、看護学生への県内就業促進の取組み

3. 看護職の役割拡大の推進と人材育成

看護職を取り巻く医療環境や社会情勢はこれまで以上の勢いで変化しています。

看護職の活躍する領域や場の多様化が進み、看護職の役割発揮に対する社会からの期待も高まっています。そのため、看護職が変化する時代に求められる様々なニーズに対応できるように専門職としてキャリアアップできる研修を企画し、知識・技術・意識の向上を引き続き図ります。また、役割裁量の拡大が人々を安全に安心して療養できることに繋げられるように情報の発信を継続していきます。

実施内容

- 1) 看護職に求められる看護実践能力とキャリアに応じた研修
- 2) 特定行為研修、日本版ナース・プラクティショナー（仮称）制度、看護職の生涯学習ガイドライン、看護師基礎教育に関する情報発信

4. 地域における健康危機管理体制の整備

近年、自然災害による甚大な被害が全国各地で確認され、本県においても南海トラフ巨大地震への対策が急務とされています。また、新型コロナウイルス感染症のパンデミックを経験した今、感染管理及び災害看護の質の確保や、あらゆる新興感染症等への体制の整備を速やかにかつ確実に行う必要があります。

国は、自然災害、感染症支援において新たな仕組みによる災害支援ナースの応援派遣体制を構築し、2024年度より都道府県知事の求めに応じ派遣される災害支援ナースの仕組みが法定化されました。本協会も日本看護協会や県と連携を図りながら看護管理者ネットワークの推進・健康危機管理体制の構築に引き続き取り組みます。

実施内容

- 1) 不測の事態発生に備えた機能維持のための支援体制づくりの推進
- 2) 災害看護支援体制の整備
- 3) 災害支援ナースの育成
- 4) 感染管理認定看護師の養成奨励

5. 組織力の強化

大きく変化する社会情勢の中で、看護職が安心して活躍するためには、看護職の職能団体である看護協会の存在が重要であり、協会活動の基盤となる組織力の強化は、最優先課題です。そのため、看護職が専門職としての自覚を持ち、看護協会の担う役割や設立の意義、取り組みを認識して入会する体制づくりを図るため、施設代表表者や地区ごとの意見を聴きながら会員の確保や定着に向けて、引き続き入会促進活動に取り組みます。

実施内容

- 1) 看護学生に向けたキャリア支援の充実
- 2) 未加入施設・未加入者に向けた入会促進
- 3) 入会の特典 PR

事業計画

本会は、看護に関する専門教育と研鑽による看護の質の向上を図るとともに、医療の担い手である看護職が安心して働き続けられる環境づくりを推進する。あわせて地域のニーズに応える看護職による訪問看護等の地域医療の充実を図るとともに、疾病予防及び健康増進に関する事業等を通して宮崎県民の健康な生活の実現に寄与することを目的とした公益目的事業を、公益社団法人日本看護協会（以下「日本看護協会」という）と連携し、以下のとおり行う。

●事業計画は、定款第4条の7個の事業に沿って掲載

1. 看護教育及び学会等学術振興に関する看護の質向上に関する事業
2. 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による県民の健康及び福祉の増進に関する事業
3. 看護に関する調査及び研究並びに看護業務及び看護制度等の改善への提言に関する事業
4. 県民に対する疾病の予防及び健康の保持増進に関する事業
5. 医療安全対策及び災害等危機管理に関する事業
6. 在宅ケアサービス等の実施及び訪問看護の推進支援に関する事業
7. その他本会の目的を達成するために必要な事業

・事業内容の太字ゴシックは新規計画

1. 看護教育及び学会等学術振興に関する看護の質向上に関する事業（公益目的事業）

事業項目	事業内容
1-1) 継続教育の推進	(1) 教育の企画・実施 ①「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育 ②ラダーと連動した継続教育 ③看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成に向けた継続教育 ④専門能力開発を支援する教育体制の充実に向けた継続教育 ⑤資格認定教育 ⑥看護の質向上のための研修 (2) 教育研修計画の広報 (3) 会員専用ページ「キャリアナース」への研修受講履歴の提供によるキャリア構築の支援 (4) 教育委員会の開催（委員12名 年9回） (5) 日本看護学会教育関連の学会、研修会等への参加 (6) 研修実施報告書の作成 (7) 研修環境の整備・管理 ①購入雑誌・図書の検討及び見直し ②教材機器の整備・管理 ③研修管理システム「マナブル」の運営
1-2) 新人看護職員育成の推進	(1) 新人看護職員研修推進事業（宮崎県委託事業） ①新人看護職員研修の計画・実施 ・新人看護職員合同研修 ・新人看護職員研修責任者研修 ・新人看護職員教育担当者研修 ・新人看護職員実地指導者研修 ・令和7年度新人看護職員の理解に向けて～看護基礎教育の現場と看護現場の連携～ ②研修計画・実施について広報 ③新人看護職員教育体制づくり支援（アドバイザー派遣）事業 ④新人看護職員研修推進協議会の開催 ⑤新人看護職員研修に関連する学会、研修会への参加 ⑥研修実施報告書の作成
1-3) 認定看護管理者教育の推進	(1) 認定看護管理者教育運営委員会開催（委員8名 年6回） (2) ファーストレベル教育課程 ①認定看護管理者教育課程ファーストレベル 5月16日～9月13日（105時間）

事業項目	事業内容
	②ファーストレベル教育課程修了者フォローアップ研修 5月26日 (3)セカンドレベル教育課程 ①認定看護管理者教育課程セカンドレベル 10月4日～1月24日(183時間) ②セカンドレベル教育課程修了者フォローアップ研修 6月1日 ③看護管理実践報告会 7月28日 ④看護管理学会、日本看護学会等への参加
1-4) 専門・認定看護師活動の支援	(1) 専門看護師・認定看護師研修会 ①専門看護師・認定看護師研修会の開催 令和7年1月25日 ②専門・認定看護師委員会開催(委員6名 年4回) ③人的資源活用 (2) 専門看護師・認定看護師の分野を越えたネットワーク構築 ①専門・認定看護師が協働して企画する看護職対象研修の開催 11月23日 ②人的資源活用 ③県内看護職・県民への情報発信
1-5) 看護学会等学術振興の支援	(1) 宮崎県看護研究学会の開催 令和7年3月8日 ①看護研究学会委員会開催(委員6名 年6回) ②看護研究抄録選考委員会開催 ③日本看護学会、日本看護科学学会等への参加
1-6) 実習指導者講習会の支援	(1) 実習指導者講習会(宮崎県委託事業) ①宮崎県保健師助産師看護師実習指導者講習会開催 ・病院主体コース 6月12日～8月9日(30日間) ・特定分野コース 7月30日～8月22日(8日間) ②実習指導者講習会修了者フォローアップ研修開催 令和7年2月1日 ③実習指導者検討委員会開催(委員5名 年8回)

2. 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による県民の健康及び福祉の増進に関する事業 (公益目的事業)

事業項目	事業内容
2-1) 働きやすい職場環境づくりの推進と事業支援	(1) 職場環境づくり推進事業(宮崎県委託事業) ①看護職の働き方改革の推進に向け、健康で安心して働くことができる職場づくりの推進 ・働き続けられる職場環境づくり推進委員会開催(委員8名 年9回) ・看護職の働き方改革推進研修会 9月10日 ・看護職員の勤務環境についての調査の報告 ・地区施設代表者会議において勤務環境調査結果の報告及び意見交換 ・働き続けられる労働環境づくりを推進する施設の支援 ・労働安全衛生ガイドラインの活用 ②看護職離職防止支援(定着支援) ③関係団体との連携 宮崎県医師会、宮崎労働局、宮崎県医療勤務環境改善支援センター、宮崎県働き方改革推進支援センター、宮崎県社会保険労務士会、宮崎県福祉保健部等 ④働きやすい職場づくりに関する情報発信(地区開催) ⑤勤務環境等に関する相談の実施 (2) 看護管理者等支援事業(宮崎県委託事業) ①看護管理者等支援事業 ・対象機関への相談支援の実施 ・対象機関:医療機関 ②事業報告会の開催(2地区) ③看護人材獲得支援事業連絡会議の開催(毎月1回)

事業項目	事業内容
2-2) 就業支援	(1) ナースバンク事業（宮崎県委託事業） ①NCCS を活用した職業紹介の円滑化、就業に効果的な情報の提供 ②ナースセンター広報活動 ・ナースセンターだよりを広報誌「なでしこ」内に掲載（年4回） ・SNS（LINE）による情報発信の強化 ・ナースセンターPRグッズ作成 ・県内看護学校卒業生へのPRグッズの配布 ③ハローワークにおける就業相談の実施 ・就業支援相談員会議（年2回） ・ハローワーク宮崎、延岡、日向、高鍋、都城、小林、日南での就業相談 ④求人施設への労働条件の改善に関する情報提供、助言 ・多様な就労受入れ体制・支援の強化 ・求人施設訪問の強化 ⑤求職者への労働環境・労働条件の改善に関する情報提供、助言 ・多様な就労支援の強化 ・施設見学の促進 ⑥宮崎県ナースセンター事業運営委員会の開催（年1回） ⑦ハローワーク、福祉人材センターとの連携 ⑧ナースセンター・ハローワーク連携事業 ⑨中央ナースセンターとの連携 (2) 看護職の届け出制度の窓口（宮崎県委託事業） ①看護師等の届出制度のPRと就業支援の充実 ・看護職へのPR活動 ・届出登録者への就業に関する意向の確認と就業支援 (3) 県内外看護師等への県内就業支援 ①看護師養成学校との連携 ②移住相談者への支援 ③県内施設の採用試験情報の提供 (4) 看護職員需要調査の実施 (5) 看護職の人材活用システムの周知
2-3) 復職支援	(1) 復職支援事業（宮崎県委託事業） ①講義・演習コースの開催 6月（2日間）・9月（2日間） ②看護の分野別理解コース（認知症・訪問看護） ③採血・点滴技術演習の開催（毎月1回） ④復職支援交流カフェの開催（毎月1回） ⑤協力機関での職場体験コースの開催 ⑥セカンドキャリア支援 ・プラチナナースカフェの実施（6月、2月） ⑦就職準備セミナーの実施 7月、1月 ⑧地区別復職支援研修の開催 ・地区研修の実施（延岡） ・採血技術演習・復職支援研修の実施（ハローワーク） ⑨令和6年度受講生に対する就業状況調査・就業支援
2-4) 「看護の心」普及事業	(1) 看護の心普及事業 ①看護の日のイベントの開催 ・「みやぎきナース Today2024」の開催 5月17日 (2) 看護の魅力発信事業（宮崎県委託事業） ①看護進路相談会 2024 の開催 7月6日 ②看護の出前授業の実施 ③「ふれあい看護体験 2024」の実施 ④看護系進学状況調査の実施 ⑤職業選択に関するイベントへの協力 ⑥進路指導担当教諭への情報提供

3. 看護に関する調査及び研究並びに看護業務及び看護制度等の改善への提言に関する事業 (公益目的事業)

事業項目	事業内容
3-1) 看護制度に関する事業	(1) 看護制度に関する普及啓発事業 ① 看護制度委員会（委員 6 名 年 3 回開催） ② 特定行為に係る看護師の研修制度に関する情報提供及び啓発 ③ 看護基礎教育制度改革に係る情報発信 ④ その他看護制度に係る情報発信 (2) 准看護師への進学支援及び学習支援事業 ① 准看護師研修・交流会 ② 看護師養成 2 年課程（通信制）に関する情報提供 ③ 日本看護協会との連携
3-2) 看護業務の改善に関する事項	(1) 保健師職能委員会活動 ① 保健師職能委員会開催（委員 6 名 12 回開催） ② 3 職能 4 委員会合同研修会 11 月 9 日 ③ 保健師職能研修会 12 月 14 日 ④ 保健師職能集会（つどい） ⑤ 宮崎県保健師現任教育推進会議（2 回）（県、県立看護大学との協働） ⑥ 日本公衆衛生看護学会学術集会への参加（愛知県） ⑦ 保健師職能だよりの発行 (2) 助産師職能委員会活動 ① 助産師職能委員会開催（委員 6 名 11 回開催） ② 3 職能 4 委員会合同研修会 11 月 9 日 ③ 「いいお産の日」イベント 11 月 ④ 助産師職能研修会 ・助産師職能研修会 令和 7 年 1 月 18 日 ⑤ 研修会及び学会等への参加 (3) 看護師職能委員会Ⅰ活動（病院領域） ① 看護師職能委員会Ⅰ開催（委員 10 名 11 回開催） ② 3 職能 4 委員会合同研修会 11 月 9 日 ③ 研修会 ・看護師職能Ⅰ研修会 9 月 28 日 ・准看護師研修・交流会 10 月 26 日 (4) 看護師職能委員会Ⅱ活動（介護・福祉関係施設・在宅等領域） ① 看護師職能委員会Ⅱ開催（委員 8 名 12 回開催） ② 3 職能 4 委員会合同研修会 11 月 9 日 ③ 研修会 ・看護師職能Ⅱ研修会 8 月 24 日 (5) 県や関係団体の各種審議会等での発言・提言 ① 関係機関・団体等への働きかけ ② 審議会等で本会意見の反映

4. 県民に対する疾病の予防及び健康の保持増進に関する事業（公益目的事業）

事業項目	事業内容
4-1) 地域包括ケアシステムの推進	(1) 看護職と他職種との交流会 (2) 地域医療構想調整会議等への参画
4-2) 救急医療に関わる看護職の質向上の推進	(1) 救急看護研修 (2) 災害救急看護研修 (3) 精神科救急看護研修
4-3) 県民の健康づくり推進に関する事業	(1) まちの保健室事業の普及啓発 ① 定期型「まちの保健室」開催（地区開催） ② 地域支援型・イベント型「まちの保健室」 市町村まつり・イベント等地域活動支援等 ③ まちの保健室地区代表者委員会開催（委員 13 名 年 5 回） ④ まちの保健室協力員の養成研修と登録の推進 ⑤ 地区別協力員会議 (2) 生涯を通じた女性の健康支援

事業項目	事業内容
	①「いいお産の日」イベントにおける相談啓発 (3)がん対策支援 ①ピンクリボン活動の普及啓発 ②関係団体との連携 ③研修会の開催 (4)生活習慣病並びに疾病予防対策 ①世界糖尿病デー、肝疾患・腎疾患・リウマチ等関連会議・イベント等の参加による予防対策の啓発 (5)自殺対策に係る人材育成研修事業（宮崎県委託事業） ①看護師等専門研修会の開催（自殺対策研修）8月10日 ②地区別研修会の開催 ③自殺対策相談・まちの保健室相談員の養成講座の開催 (6)高齢者対策への取り組み ①研修会の開催 ②看護職員認知症対応力向上研修の開催（宮崎県委託事業）
4-4)子育て支援	(1)子育て支援事業 ①児童虐待予防対策への取り組み ・宮崎県社会福祉審議会児童福祉専門分科会への参加 ②宮崎県「未来みやざき子育て県民運動推進事業」への協力

5. 医療安全対策及び災害等危機管理に関する事業（公益目的事業）

事業項目	事業内容
5-1)医療安全推進事業	(1)研修会及び交流会の開催 ①医療安全推進委員会開催（委員10名 年6回） ②医療安全管理者養成研修（eラーニング35時間、集合研修5時間 10月17日） ③医療安全研修会 ・第1回 8月23日 ・第2回 12月7日 (2)医療安全対策推進 ①医療安全推進週間の啓発 ②医療安全情報提供 ③医療安全推進の研修（地区開催） ④医療安全推進会議（年1回） ⑤医療の質安全学会への参加 ⑥看護職賠償責任保険制度加入の促進
5-2)災害看護活動の推進	(1)災害看護研修の開催 ①災害支援ナース養成事業 ・災害支援ナース養成研修（災害・感染症対応）：オンデマンド20時間、演習10時間（11月29日、30日） ・ 災害支援ナース登録者対象研修（災害編）10月4日、（感染症編）10月11日 ・災害看護支援研修（地区開催） ・災害看護研修（看護管理者編） 8月3日 ②災害支援ナース登録管理 ③災害看護委員会の開催（委員8名 年6回） (2)災害発生時に備えての体制・環境整備 ①日本看護協会と都道府県看護協会との災害支援ナース派遣調整合同訓練への参加を通じた実動訓練 ②日本看護協会との「災害支援ナース派遣に関する協定」に基づく災害支援ナースの派遣調整 ③宮崎県保健医療福祉調整本部設置の際の支援団体リエゾン派遣、災害支援ナース派遣調整協力 ④宮崎県、市町村の防災会議・防災訓練等への参加を通じた実動訓練 ⑤看護管理者ネットワークの構築

事業項目	事業内容
5-3) 感染対策	(1) 感染管理研修会の開催 (2) 新興感染症対策に向けた体制整備 ① 事業継続計画（BCP）の推進 ② 宮崎県感染症対策審議会への参画

6. 在宅ケアサービス等の実施及び訪問看護の推進支援に関する事業（公益目的事業）

事業項目	事業内容
6-1) 在宅・福祉関係施設への支援	(1) 訪問看護推進事業（宮崎県委託事業） ① 訪問看護推進協議会運営事業 ・ 宮崎県訪問看護推進協議会の開催（委員 14 名 年 1 回） ・ 訪問看護推進検討会（年 3 回開催） ・ 訪問看護実態調査の実施 ・ 訪問看護啓発活動 ・ 関係機関との連携 ② 訪問看護人材育成事業 ・ 訪問看護研修 STEP 1 7 月～11 月（講義 3 日間、実習 3 日間） ・ 訪問看護研修 STEP2 5 月～8 月（講義 5 日間、実習 2 日間） ・ 訪問看護管理者研修（ベーシックコース） 9 月～10 月（講義 5 日間） ・ 訪問看護管理者研修受講者フォローアップ研修 ・ 訪問看護師養成コアカリキュラム研修 8 月（講義・演習 2 日間・実習 1 日間） ・ 在宅ケアに関心のある看護職のための公開講座 6 回 ・ 新卒訪問看護師育成研修 ③ 看護人材連携支援事業 ・ 訪問看護ステーションの専門看護師・認定看護師による 研修会・相談会 ・ 医療機関と訪問看護ステーションの看護職の人材交流 研修 ・ 訪問看護管理者交流研修 ④ 訪問看護相談支援事業 ・ 訪問看護ステーションへの情報提供及び相談のための 窓口の運営 ・ 訪問看護ステーション運営支援研修 ・ 県民等への情報提供及び相談のための窓口の運営 ・ 訪問看護パンフレット作成 ・ 訪問看護ステーションに関する情報発信 (2) 在宅・福祉施設等で働く看護職のための研修（地区開催）
6-2) 看護協会訪問看護ステーション事業所の運営事業	(1) 宮崎県看護協会訪問看護ステーションなでしこ 1～3 号館の 運営 ・ 訪問看護事業 ・ 居宅介護支援事業 ・ 看護学生・看護職の実習教育 ・ 関連機関との連携・協力 (2) 看護協会訪問看護ステーション運営協議会の開催 （委員 9 名 年 4 回）

7. その他本会の目的を達成するために必要な事業

事業項目	事業内容
7-1) 組織に関する事項	(1) 本会組織の充実と強化 ① 看護政策推進のための組織強化事業 ② 会員の加入増加拡大 ・ 会員目標数 9,000 名 ③ 看護学生に向けたキャリア支援 ④ 地区活動の推進 ⑤ 日本看護協会との連携

事業項目	事業内容
	⑥諸会議の開催 ・令和6年度通常総会 6月15日 ・理事会・常任理事会開催 年6回以上 ・職能・常任・特別委員会の開催 ・選挙管理委員会 ・日本看護協会代議員及び予備代議員研修会 5月23日 ・常任委員会・特別委員会合同委員長会 6月22日 ・施設代表者会議（全体会議1回） 10月1日 ⑦監査及び審査に関すること ⑧広報活動に関する事業 ・広報誌「なでしこ」の発行（年4回） ・ホームページの管理 ・マスメディアを活用した広報 ⑨会員の福利厚生 ・各種表彰制度への会員の推薦 ・弔意及び見舞い（火災、風水害等）
7-2) 日本看護協会との相互協力	(1) 日本看護協会との連携 (2) 日本看護協会が開催する会議に関すること ①日本看護協会通常総会及び全国職能別交流集会（東京都開催）6月6日～7日 ②理事会 年6回程度 ③法人会員会 年6回程度 ④全国職能委員長会 ⑤地区別法人会員会（熊本県開催）10月31日 ⑥地区別職能委員長会（熊本県開催）11月1日 ⑦日本看護協会が開催する会議等への参加
7-3) 渉外に関する事項	(1) 重点事業等に関する渉外活動 ①県行政等への要望活動 ②関係機関等との連携強化
7-4) 施設管理に関する事項	(1) 宮崎県看護等研修センターの管理 ①整備資金納入活動と管理 ②施設・機器の管理 ③図書室の管理・運営

(報告事項 4) 令和 6 年度収支予算

(別冊)

活動報告資料

教育部

令和5年度研修分類別研修実績	71
令和5年度認定看護管理者教育教育課程ファーストレベル	75
令和5年度認定看護管理者教育教育課程セカンドレベル	76
令和5年度宮崎県保健師助産師看護師実習指導者講習会	78
令和5年度看護職員認知症対応力向上研修	80

事業部

「まちの保健室」事業	82
令和5年度自殺対策に係る人材育成研修事業実績	84
令和5年度キャリア支援講話実績報告	85

ナースセンター

看護職員無料職業紹介事業報告	86
令和5年度復職支援研修受講者就業状況調査報告	87
令和5年度看護系進学状況調査結果	88
令和5年度看護の出前授業実施報告	88
令和5年度看護人材獲得支援員設置事業報告	90

在宅支援室

令和5年度訪問看護推進事業報告	92
令和5年度宮崎県看護協会訪問看護ステーションなでしこ3館運営協議会報告	94
令和5年度宮崎県看護協会訪問看護ステーションなでしこ3館報告	95

令和5年度 研修分類別研修実績

研修分類1 「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育

研修数：20

1) 新たな社会ニーズに対応する能力支援のための研修

研修名 研修時間	開催日	開催方法	目的・目標・ねらい	定員	応募数	受講 決定数	参加数
新人の応援～看護職のスタートライン～ 3時間×2回	5/23 ・ 6/1	会場 配信	看護協会事業や役割について理解し、看護専門職としての自覚を深めるとともに、精神面のリフレッシュを図り、新人看護職員として個々が抱える問題解決の糸口を見出す	300	275	275	273
学ぼう！スキン-テア（皮膚裂傷）予防 2.5時間×2回	6/2	会場	スキンテアに関する正しい知識と予防ケアを習得し、発生予防や再発予防を図る	200	179	177	170
会議に活かすファシリテーション～ファシリテーションスキルを学ぼう～ 6時間	12/13	会場	チームリーダーや主任レベルの看護職がファシリテーターの役割・機能およびスキルを学び、組織における知識創造活動の支援ができる人材を育成する	50	39	39	32
いまさら聞けない、ポジショニング・トランスファーの基本 5時間	10/13	会場	ポジショニングやトランスファーの基本を習得し、ケアの受け手の障害や生活環境に合わせた生活援助技術力を高める	50	74	74	67
学んで実践!!健康運動～メタボリックシンドロームを予防しよう～ 5.5時間	8/26	会場	健康づくりに必要な運動について理解を深め、生活習慣病の予防や改善につながる運動指導ができる能力を育成する	50	34	34	27
集まれ！ママパパナース！豊かな親子関係を築くために 5時間	11/2	会場	子育て中の看護職が、豊かな親子関係を築く方法を学び、子育てと仕事の両立を図ることを目指す	60	21	21	19
明日から取り組むフレイル対策～運動と栄養面から～ 5時間	5/27	会場	フレイル、サルコペニアの定義・予防対策の重要性を理解し、運動面・栄養面からのアプローチを学び看護実践に活かす	50	24	24	20
在宅・高齢者ケア施設における看取りの看護 3時間	9/13	会場 配信	看取りのプロセスにおいて、具体的な支援方法を学び、看取りの看護が展開できる能力を養う	60	72	72	70
フレッシュリーダー研修～明日から実践したいリーダーシップ～ 5時間×2回	9/21 ・ 9/22	会場	リーダーを担う看護職がリーダーの役割を理解し、看護におけるリーダーシップが発揮できる能力を育成する	100	69	69	65
精神疾患の看護学的な捉え方～精神疾患患者を理解するために～ 3時間	11/22	会場	精神疾患の成り立ちや精神症状を学び、精神疾患を持つ方への理解につなげる	70	57	57	53
ストレスフルな看護職へ～自分への思いやりを持つ～ 5時間	12/2	会場	看護職のメンタルヘルスの不調について学び、自分自身を守るためのセルフケアに取り組む	70	64	64	53
看護職と法律～ハラスメントへの対策／個人情報の適切な取り扱い～ 5時間	10/28	会場 配信	法的観点から、医療・介護現場のハラスメントへの対策や個人情報の取り扱いについて学び、実践の場で活用する	140	70	70	64
緩和ケア（ELNEC-J）研修 17.5時間	11/17 ～ 11/19	会場	エンド・オブ・ライフ・ケアについて理解し、質の高い緩和ケアが実践できる人材を育成する	32	25	25	25
せん妄の基礎知識 2.5時間	7/8	会場 配信	せん妄の基礎知識を学び、ケアの受け手のせん妄の発症リスクアセスメントの実践から適切なケアの提供を図る	80	78	75	72
せん妄の発症予防と早期改善へのケア 2.5時間	7/8	会場	事例検討を通して、せん妄の予防・早期発見・対応を学び、適切な看護ケアの提供を図る	40	50	47	46
入退院支援看護師養成研修 24.5時間	8/27 ～ 2/6	会場	入退院支援における看護師の役割と支援のあり方を理解し、退院調整能力を養う	30	29	28	25

2) 診療報酬に関連した研修

研修名 研修時間	開催日	開催方法	目的・目標・ねらい	定員	応募数	受講 決定数	参加数
認知症高齢者の看護実践に必要な知識（JNA 収録 DVD 研修） 12 時間×2 回 ※認知症ケア加算に対応	9/5 ～9/6 ・ 10/17 ～10/18	会場 配信	国の施策や医療の現状を理解するとともに、入院中の認知症高齢者を適切にケアするための基本的な知識を学ぶ	200	159	159	146

3) 研究に取り組む能力を支援する研修

研修名 研修時間	開催日	開催方法	目的・目標・ねらい	定員	応募数	受講 決定数	参加数
看護研究研修～はじめての看護研究～ 10 時間	5/13 ～ 5/14	会場	研究者は看護研究の基礎知識を学び、研究への意欲を高め、研究支援者は支援のポイントを抑え研究者のサポートにつなげる	140	83	83	80
看護研究研修（研修サポーター編）～研究サポーターの役割を発揮するために～ 5 時間	7/1	会場	研究プロセスにおける支援のポイントを学び、研究者の相談役としての役割発揮につなげる	30	26	26	21
看護研究 コンサルテーション 3 時間×2 回	5/20 ・ 9/2	会場	研究の個別指導を受けることで、研究を進めるにあたり生じた課題を解決することができる	54	17	17	13

研修分類 2 ラダーと連動した継続教育：「看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）」（JNA ラダー） 研修数：10

研修名 研修時間	開催日	開催方法	目的・目標・ねらい	定員	応募数	受講 決定数	参加数
〔JNA ラダーレベルⅠ到達のための研修〕新人のための看護倫理～倫理的ジレンマを「個人の悩み」にしないために～ 5 時間×2 回	9/1 ・ 9/12	会場 配信	倫理に関する基本概念を理解し、看護専門職として倫理的な問題を認識できる	300	222	222	218
〔JNA ラダーレベルⅠ到達のための研修〕新人のためのフィジカルアセスメント 3 時間×3 回	10/4 ・ 10/11	会場	患者の身体的情報を得るための観察方法とアセスメントの視点を学び、異常の早期発見につなげる	200	161	161	159
〔JNA ラダーレベルⅠ到達のための研修〕新人のための認知症看護の基礎知識 3 時間×2 回	10/31 ・ 11/7	会場 配信	認知症患者の状態に応じた観察やアセスメントの視点を学び、ケアの受け手の病態について理解を深める	300	191	191	187
〔JNA ラダーレベルⅠ到達のための研修〕リスク感性を高めよう！医療安全の基礎 5 時間	6/28	会場	安全な看護を実践するために、危険予知トレーニング・事象事例を通してリスク感性を高める	140	136	136	132
〔JNA ラダーレベルⅠ到達のための研修〕感染管理Ⅰ 知りたい!!感染対策に必要な基礎知識 3 時間×2 回	7/19	会場 配信	医療関連感染とその予防策を学ぶことにより、組織的・個人的な感染防止への意識を向上させる	200	127	127	115
〔JNA ラダーレベルⅡ到達のための研修〕感染管理Ⅱ ～感染リスクをアセスメントしよう～ 5 時間	8/30	会場	感染アセスメント能力の向上を図り、医療・介護現場で脅威となる感染症への対策の実践力を高める	40	66	55	53
〔JNA ラダーレベルⅡ到達のための研修〕怖さを克服！不整脈の理解～見逃してはいけない危険な不整脈～ 3 時間×2 回	5/18	会場	危険とされる不整脈を、速く正確に判断するための知識を学び、現場の看護実践に活用する	100	98	98	94
〔JNA ラダーレベルⅢ到達のための研修〕リーダナースが学ぶ急変時対応 5 時間×2 回	5/30 ・ 7/27	会場 配信	急変時の心構えや救急事態への対処方法を学び、リーダナースとしての看護実践能力を高める	100	86	86	84
〔JNA ラダーレベルⅢ到達のための研修〕がん看護Ⅰ がん性疼痛ケア～こころとからだの理解者となるために～5 時間	6/9	会場	がん患者が抱える全人的苦痛の理解と痛みの評価・ケアについて学び、看護実践に活かすことができる	60	51	51	49

〔JNA ラダーレベルⅢ到達のための研修〕がん看護Ⅱがん患者におけるアドバンス・ケア・プランニング（ACP）を考える 5 時間	9/30	会場	がん患者・家族への支援のあり方について ACP を通して学びを深め、看護実践力の向上を図る	60	64	64	51
--	------	----	---	----	----	----	----

研修分類 3 看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成に向けた継続教育 研修数：3

研修名 研修時間	開催日	開催方法	目的・目標・ねらい	定員	応募数	受講 決定数	参加数
外来看護管理～新しい外来を創造する～ 5 時間	10/7	会場	外来管理に求められるマネジメント力の向上を図り、創造的に改革する能力を養う	40	37	37	35
看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 改訂版 2022（JNA 作成コンテンツ活用） 5.5 時間×3 回	6/22 ・ 9/28 ・ 12/8	会場 配信	看護管理者が看護補助者の活用推進のために必要な知識や考え方を理解し、安全で効率的な業務実施体制整備に活用することができる	120	125	125	122
主任・副師長が学ぶキャリアデザイン～自己のキャリアデザイン形成が人材育成につながる～ 5 時間	10/20	会場	自己のキャリアデザインを明確にし、人材育成の考え方やスタッフを支援するための能力向上を図る	40	55	52	50

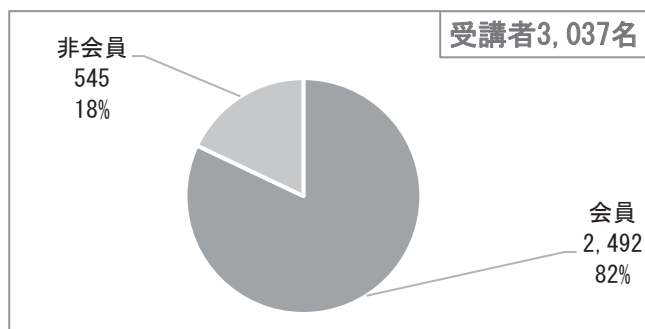
研修分類 4 専門能力開発を支援する教育体制の充実にに向けた継続教育 研修数：6

研修名 研修時間	開催日	開催方法	目的・目標・ねらい	定員	応募数	受講 決定数	参加数
新人看護職員「研修責任者」「教育担当者」「実地指導者」研修（1 日目） 5 時間	4/29	会場 配信	新人看護職員「研修責任者」「教育担当者」「実地指導者」が各々の役割を遂行するために必要な知識・能力を習得する	170	136	136	134
新人看護職員「研修責任者」研修（2 日目） 5 時間	6/10	会場	リアリティショックを乗り越えるために、社会人基礎力を意識的に育成していくコツを学び、現場教育につなげる	30	23	23	22
新人看護職員「教育担当者」研修（2 日目） 5 時間	9/16	配信	OJT と Off-JT の教育を連動させるために、自施設の学習機会をどのように整備できるか明確にすることができる	40	36	36	36
新人看護職員「実地指導者」研修～集まれ！悩めるプリセプター～（2 日目） 5 時間×2 回	6/23 ・ 7/7	会場	新人への指導場面の関わりの価値や意味を見出し、指導方法や教育的な関わり方について学ぶ	100	74	74	72
令和 6 年度新人看護職員の理解に向けて～看護基礎教育の現場と看護現場の連携～ 3 時間	2/23	会場	看護基礎教育の現場と看護現場が連携し、令和 6 年度入職の新人看護職員を理解し支援できることで、職場適応の促進を図る	70	69	69	59
シミュレーション教育の基礎～シナリオを作成してみよう～ 5 時間	7/13	会場	施設内教育に携わる看護職が、体系化されたシナリオの作成方法を学び、シミュレーション教育の充実を図る	40	26	26	24

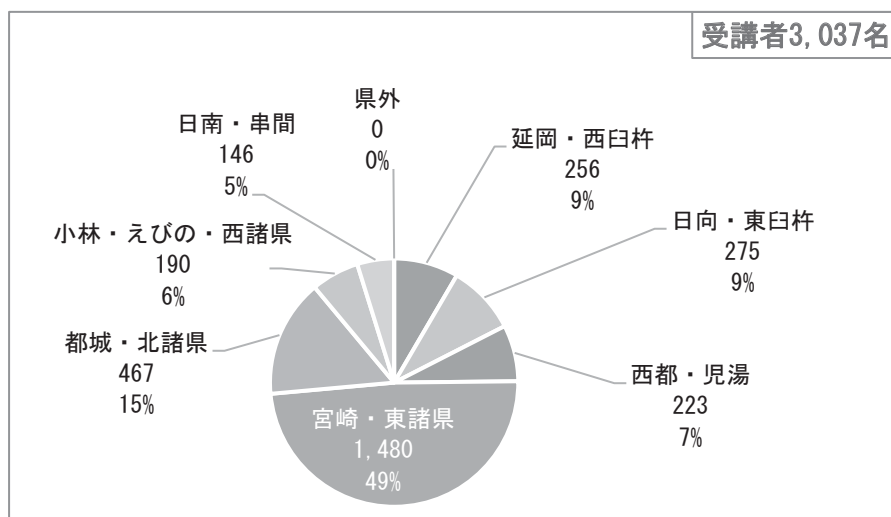
◆ 定員・応募総数・受講決定数・受講者数について（39 研修の総数）

定員総数 (a)	応募総数 (b) ($\% = b/a \times 100$)	受講決定数 (c) ($\% = c/b \times 100$)	受講者数 (d) ($\% = d/c \times 100$)
3,886	3,227 (83%)	3,205 (99%)	3,037 (95%)

◆ 受講者の看護協会員の割合



◆ 地区別参加状況



令和5年度認定看護管理者教育課程ファーストレベル 受講者：63名、補講者1名 修了者：61名

教育目的：看護専門職として必要な管理に関する基本的知識・技術・態度を習得する。

到達目標：1) ヘルスケアシステムの構造と現状を理解できる。

2) 組織的看護サービス提供上の諸問題を客観的に分析できる。

3) 看護管理者の役割と活動を理解し、これからの看護管理者のあり方を考察できる。

教科目	単 元	教育内容	講師・開催日
ヘルスケアシステム論Ⅰ	社会保障制度概論 (6時間)	・社会保障制度の体系 ・社会保障の関連法規	山下 剛 令 5.6.3
	保健医療福祉サービスの提供 体制 (3時間)	・保健医療福祉制度の体系 地域包括ケアシステム 地域共生社会	山下 剛 令 5.6.4
	ヘルスケアサービスにおける 看護の役割 (6時間)	・看看連携 ・地域連携における看護職の役割 ・保健医療福祉関連職種の理解 ・看護の社会的責務と業務基準 看護関連法規 倫理綱領 看護業務基準	久保敦子 令 5.6.12
組織管理論Ⅰ	組織マネジメント概論 (9時間)	・組織マネジメントに関する基礎知識	松田聖美 令 5.6.13
		・看護管理の基礎知識	中武郁子 令 5.5.25
	看護実践における倫理 (6時間)	・看護実践における倫理的課題 ・倫理的意思決定への支援	中島由紀子 令 5.6.26
人材管理Ⅰ	労務管理の基礎知識 (6時間)	・労働法規 ・就業規則 ・健康管理 (メンタルヘルスを含む) ・雇用形態 ・勤務体制 ・ワークライフバランス ・ハラスメント防止	中村康文 令 5.9.7
	看護チームのマネジメント (12時間)	・チームマネジメント ・リーダーシップとメンバーシップ ・コミュニケーション ・ファシリテーション	山口裕幸 令 5.7.16
		・看護ケア提供方式 ・准看護師への指示と業務 ・看護補助者の活用	向井ふさ子 令 5.7.25
	人材育成の基礎知識 (12時間)	・役割理論 ・動機づけ理論	山口裕幸 令 5.7.17
		・成人学習の原理 ・人材育成の方法	井上由紀子 令 5.7.24
資源管理Ⅰ	経営資源と管理の基礎知識 (9時間)	・診療・介護報酬制度の理解 ・経営指標の理解	比恵島知子 令 5.7.9
		・看護活動の経済的効果	新原幸子 令 5.8.12
	看護実践における情報管理 (6時間)	・医療・看護情報の種類と特徴 ・情報管理における倫理的課題 (情報リテラシー)	宇都由美子 令 5.6.25
質管理Ⅰ	看護サービスの質管理 (15時間)	・サービスの基本概念 ・看護サービスの質評価と改善	水永豊子 令 5.8.11
		・看護サービスの安全管理	久保田智美 令 5.8.12
		・看護サービスと記録	東美代子 令 5.8.21

統合演習Ⅰ	演習（15 時間）	・学習内容を踏まえ、受講生が取り組む課題を明確にし、対応策を立案する	教育運営委員 8 名 と以下の 6 名 荒木友子 岩部 仁 武田 愛 富山由美 中川美紀 山下千夏 令 5. 8. 20 令 5. 9. 3 令 5. 9. 8
講義 特別	文章表現	・レポートの書き方	大館真晴 令 5. 5. 26

令和 5 年度認定看護管理者教育課程セカンドレベル 受講者：32 名、補講者：1 名 修了者：32 名

教育目的：看護管理者として基本的責務を遂行するために必要な知識・技術・態度を習得する。

到達目標：1）組織の理念と看護部門の理念の整合性を図りながら担当部署の目標を設定し、達成に向けた看護管理過程を展開できる。

2）保健・医療・福祉サービスを提供するための質管理ができる。

教科目	単 元	教育内容	講師・開催日
ヘルスケアシステム論Ⅱ	社会保障制度の現状と課題（6 時間）	・日本における社会保障 人口構造、疾病構造の変化 社会保障費の（財源）構造と推移	尾形裕也 令 5. 10. 14
	保健医療福祉サービスの現状と課題（6 時間）	・保健医療福祉サービスの提供内容の実際 病院、看護小規模多機能型居宅介護、訪問看護ステーション等	田中美幸 令 5. 10. 8 堤 育子 令 5. 10. 13
	ヘルスケアサービスにおける多職種連携（3 時間）	・多職種によるチームケア提供の実際と課題	久保敦子 令 5. 10. 13
組織管理論Ⅱ	組織マネジメントの実際（18 時間）	・組織の変革 ・組織の意思決定	倉岡有美子 令 5. 10. 15
		・組織分析	日高真美子 令 5. 10. 22 令 5. 10. 29
	看護管理における倫理（12 時間）	・看護管理における倫理的課題 ・看護管理における倫理的意思決定	北浦暁子 令 5. 11. 11 令 5. 11. 12
人材管理Ⅱ	人事・労務管理（27 時間）	・人員配置 ・勤務計画	比恵島知子 令 5. 12. 22 令 5. 12. 23
		・ワークライフバランスの推進	小牟田佐知子 令 5. 12. 1
		・ストレスマネジメント ・タイムマネジメント	土屋八千代 令 5. 10. 27
		・労働災害とその対策 ・労務管理に関する今日的課題 ・ハラスメント予防策と対応	中村康文 令 5. 11. 4 令 5. 11. 5
	多職種チームのマネジメント（12 時間）	・リーダーシップの実際 ・コンフリクトマネジメント	山口裕幸 令 5. 12. 10
		・人的資源の活用 ・看護補助者の育成	西橋富美江 令 5. 12. 2
	人材を育てるマネジメント（6 時間）	・キャリア開発支援 ・人材育成計画	岩部 仁 令 5. 12. 17

資源管理Ⅱ	経営資源と管理の実際 (12 時間)	・ 医業収支 ・ 経営指標の活用 ・ 費用対効果	大島敏子 令 5. 11. 3
		・ 適切な療養環境の整備	寛 淳夫 令 5. 11. 26
	看護管理における情報管理 (6 時間)	・ 看護の評価・改善のための情報活用	宇都由美子 令 5. 10. 28
質管理Ⅱ	看護サービスの質保証 (12 時間)	・ クオリティマネジメント 医療・看護におけるクオリティマネジメント	宮本千津子 令 6. 1. 6 令 6. 1. 7
	安全管理 (18 時間)	・ 安全管理の実際 ・ 安全管理教育 ・ 法令遵守	鮎澤純子 令 5. 12. 18 令 5. 12. 19
		・ 災害対策	佐藤厚子 令 6. 1. 12
統合演習Ⅱ	演習 (18 時間)	・ 自部署の組織分析に基づいた実践可能な改善計画を立案する	教育運営委員 令 5. 12. 24 令 6. 1. 13 令 6. 1. 19
	実習 (27 時間)	・ 地域連携を理解するための他施設実習を行う (実習施設は、受講者自身の所属種別以外の施設とする)	中島由紀子 令 5. 10. 8 令 5. 11. 20 令 5. 11. 21 令 5. 11. 25 令 5. 12. 3
講義 特別	文章表現	・ 文章表現とレポート作成	大館真晴 令 5. 10. 7

令和5年度宮崎県保健師助産師看護師実習指導者講習会（宮崎県委託事業）

1. 病院主体コース

目的：看護教育における実習の意義ならびに実習指導者としての役割を理解し、効果的な実習指導を行うために必要な知識、技術を習得させ、看護教育の内容の充実向上を図ることを目的とする。

時間数：eラーニング30時間、集合研修27日間となった。

受講者38名 修了者38名（令和5年度受講生37名、令和4年度受講生1名）

区分	内容	科目	目標・内容	単位数	時間数
基礎分野	教育の基盤	教育原理 ＜eラーニング＞	教育の本質の基本知識、概念及び必要な理論を学ぶ。 ・教育の本質、目的 ・教育活動の特性	1	15
		教育方法	教育方法の基本知識及び必要な理論を学ぶ。 ・授業の形態、教育方法及び教材の活用 ・教授－学習過程の理解 等	1	15
		教育心理	人間の発達と学習過程における心理的な特徴についての 基本知識及び必要な理論を学ぶ。 ・成長発達に伴う学習者心理の理解 ・学習過程における心理 等	1	15
		教育評価 ＜eラーニング＞	教育評価の基本知識及び必要な理論を学ぶ。 ・教育評価の目的と方法 ・講義・演習・実習評価の方法 等	1	15
専門分野	看護論	看護論	人間の健康、看護の考え方を多角的に学び、看護について の視野を広げ、自己の看護観を明確にする。 ・看護の機能と役割 ・看護場面と看護観の再構成 ・健康の概念と健康支援 ・倫理的課題とその対応方法 等	1	15
	看護教育課程	看護教育課程論	看護師等養成所の各教育課程の概要を学び実習指導に つなげる。 ・教育課程の基礎知識 等	1	16.5
	実習指導の 基盤	実習指導方法論 (評価も含む)	実習指導案について理解し、教授方法を学ぶ。 ・実習指導の方法 ・実習評価の意義と方法 等	2	30
		実習指導方法 演習	実習指導の展開の実際を学ぶ ・実習指導案の作成及び評価（課程別、学年別、専門領 域別 等） ・実習の評価	2	60
	特別講義		看護の動向／実習指導者への期待		1
	その他		開講式・閉講式・オリエンテーション・交流会等		2

2. 特定分野コース

目的：看護教育における実習の意義ならびに実習指導者としての役割を理解し、特定分野の実習における効果的な実習指導を行うために必要な知識、技術を修得し、看護教育の内容の充実向上を図ることを目的とする。

時間数：48 時間

受講者 9 名 修了者 6 名

教育内容	科 目	目 標 及 び 内 容	時間数
教育の基盤	教 育 原 理	教育の意義や基礎的な概念について学ぶ ○教育の意義、目的	1
	教 育 心 理	人間の発達と学習過程における青年時の心理的な特徴について人間の成長・発達段階に合わせて理解する ○青年心理 現代の青年の特徴 ○学習過程における心理 現代の青年の学習過程における心理、諸問題	3
	教育方法	教育の基本的な方法や技術、評価方法について理解する ○教育方法、評価の目的、評価方法等	3
実習指導の基盤	実習指導の実際Ⅰ (講義)	看護基礎教育の概要と実習に求められる課題を理解する ○看護教育課程、教育計画、実習指導計画等	6
		実習指導の基礎と実習指導者のあり方を理解する ○実習の意義、目的 ○実習指導者の役割 ○指導計画の立案と指導方法	9
	実習指導の実際Ⅱ (演習)	実習指導の展開について理解を深め、かつ、臨地実習の中で体験する指導場面別の役割や方法について演習を通して学ぶ ○実習指導案の作成 ○実習指導計画の展開と評価	24
そ の 他		開講式・閉講式・オリエンテーション等	2

令和5年度看護職員認知症対応力向上研修（宮崎県委託事業）

1) 目的

認知症の人と接する機会が多い看護職員に対し、入院から退院までのプロセスに沿った必要な基本知識や、個々の認知症の特徴等に対する実践的な対応力を習得し、同じ医療機関等の看護職員に伝達することで医療機関等における認知症ケアの適切な実施とマネジメント体制の構築を図る。

2) 実施概要

- (1) 開催日時： 1日目 令和5年11月29日（水）13：00～16：30
2日目 令和5年11月30日（木） 8：50～17：30
3日目 令和5年12月1日（金） 8：50～16：30
- (2) 受講対象： 所属長の推薦があり、全日程の研修を受講可能な者で下記の①～④を全て満たしている者
- ① 県内の病院に勤務する看護職員で、現在管理的役割の者、または2年以内に管理的役割になる予定の者
 - ② 過去に基礎的な認知症看護の研修（認知症ケア加算に対応した研修）を受講した者
 - ③ 研修受講後、令和5年度内に伝達研修を実施し実施報告書を提出することができる者
 - ④ 修了証書交付後、関係機関へ情報を共有することを了承し、地域医療へ還元ができる者
- (3) 受講者数： 30名（修了者30名）

(4) 内容

①1日目：認知症に関する知識（講義）

【ねらい】認知症の人の入院から退院までのプロセスに沿って、認知症の原因疾患の病態・特徴等の基本知識を習得する

【到達目標】① 病院における認知症の人の現状や課題を理解し、修了後の役割を理解する

② 実践対応力の前提となる認知症の原因疾患の主な症状や特徴を理解する

③ 認知症の人を支える施策・制度及び社会資源等を理解する

内容	講師（敬称略）
① 意義と役割	*DVD 講義 福井 涼子(宮崎県福祉保健部 長寿介護課 医療・介護連携推進室 主任主事) 林 要人(藤元メディカルシステム大悟病院 院長)
② 施策・社会資源等	
③ 認知症の病態論	
④ 認知症の原因疾患の特徴・病態	
⑤ 認知機能障害とBPSD	
⑥ 認知症と鑑別すべき他の疾患	
⑦ せん妄の特徴や症状	
⑧ 認知症の薬物療法と非薬物的対応	
⑨ 若年性認知症の特徴	
⑩ 認知症の重度化予防	

②2日目：認知症看護の実践対応力（講義・演習）

【ねらい】認知症の人を理解し、より実践的な対応力（アセスメント、看護技術、チーム対応、院内外の連携等）を習得する

【到達目標】① 認知症及び認知症の人とその対応の原則について理解する

② 認知症の症状・特徴を踏まえた基本的な対応（アセスメント、看護技術、環境調整等）を行うことができる

③ 病棟等における実践的な対応（チーム対応、院内外の連携、介護者支援等）を行うことができる

内容	講師（敬称略）
2-1 認知症の人の理解 ①認知症の人の行動等の理解 ②認知症の人に対する看護の基礎原則 （パーソン・センタード・ケア） ③認知症の人とのコミュニケーションの基本 2-2 実践対応力Ⅰ ①アセスメントのポイント ②認知機能障害への対応 ③BPSD の要因・症状と対応 ④身体管理・症状経過を踏まえた対応 ⑤せん妄への対応 ⑥退院支援 【演習】 BPSD・せん妄への対応の事例検討 （要因の検討とケアについて） 2-3 実践対応力Ⅱ ①病棟等におけるチームケアの意義 ②多職種連携 ③倫理的課題と意思決定支援・権利擁護 ④身体拘束の原則等 ⑤家族（介護者）の支援 ⑥社会資源と地域連携 【演習】 身体拘束への対応の事例検討 （チーム・連携による対応）	【講師】 木原 梓（国立病院機構宮崎病院 認知症看護認定看護師） 【ファシリテーター】 新原 幸子（野崎東病院 看護部長 認定看護管理者） 西橋 富美江（潤和会記念病院 看護部長 認定看護管理者） 稲葉 紗代子（高千穂町国民健康保険病院 認知症看護認定看護師） 上山 寛満（宮崎大学医学部附属病院 認知症看護認定看護師） 中村 猛（県立宮崎病院 認知症看護認定看護師） 梶原 奈緒子（県立延岡病院 認知症看護認定看護師） 野崎 当（古賀総合病院 認知症看護認定看護師） 橋口 英治（訪問看護ステーションつむぎ 認知症看護認定看護師）

③3 日目：体制構築・人材育成（講義・演習）

【ねらい】病棟等における認知症ケア体制（院内・地域）の構築及びスタッフ育成・教育等の知識と技法を習得する

【到達目標】① 病院・病棟の課題を把握し、体制等の実情に応じて、病院・病棟や地域単位で認知症ケアに取り組む体制の構築を考えることができる

② 自施設において看護職員向けの研修を企画・実施し、継続学習を含むスタッフ育成計画を立てることができる

内容	講師（敬称略）
3-1 認知症ケア体制構築 ①病院・病棟全体で取り組む重要性 ②体制構築に向けた取り組み 【演習】 認知症ケアの体制整備 3-2 スタッフ育成・教育 ①スタッフ育成の目標設定 ②研修の企画立案・研修実施のポイント ③研修の効果測定と受講後のフォローアップ 【演習】 ①研修の企画立案 ②研修受講後のフォローアップ	【講師】 新原 幸子（前掲） 【ファシリテーター】 西橋 富美江（前掲） 木原 梓（前掲） 稲葉 紗代子（前掲） 上山 寛満（前掲） 中村 猛（前掲） 梶原 奈緒子（前掲） 野崎 当（前掲） 橋口 英治（前掲）

令和5年度「まちの保健室」地区別相談件数実績

<健康相談実績>

総計地区	延岡・西臼杵	日向・東臼杵	西都・児湯	宮崎・東諸県	都城・北諸県
男	159	38	75	432	27
女	250	94	149	277	87
総計	409	132	224	709	114
血圧測定	379	126	213	698	107
体重・体脂肪測定	3	115	0	9	0
生活習慣病	84	36	63	527	77
健康相談	152	85	65	428	34
心の相談	7	12	3	73	2
育児相談	3	1	0	0	0
女性特有	1	1	1	21	1
対人関係	2	2	3	10	0
介護相談	4	2	3	24	1
その他	7	7	4	20	8
合計	642	387	355	1810	230
回数	56	12	35	57	22
相談員	112	25	44	61	44

総計地区	小林・えびの・西諸県	日南・串間	定期型小計	イベント型小計	総合計
男	28	166	925	132	1057
女	78	415	1350	285	1635
総計	106	581	2275	417	2692
血圧測定	99	573	2195	365	2560
体重・体脂肪測定	47	544	718	150	868
生活習慣病	37	47	871	167	1038
健康相談	42	74	880	174	1054
心の相談	11	3	111	13	124
育児相談	1	1	6	2	8
女性特有	3	1	29	14	43
対人関係	2	0	19	2	21
介護相談	5	5	44	2	46
その他	2	43	91	84	175
合計	249	1291	4964	973	5937
回数	22	42	246	14	260
相談員	44	84	414	38	452

※1 イベント型について

日向市ふれあいフェスタ、いっちゃんがマルシェ、ワンストップ相談会、みやざきナースToday2023、こころの日、いいお産の日、みまたん霧島パノラママラソン、みまたボランティアまつり、くすりと健康展、北郷産業まつり、なんごうハートフルまつりにて活動した。



まちの保健室 2023 年度(令和 5 年度)

からだところの健康相談

相談は無料
です！！

宮崎県看護協会では県内 7 地区で地域の人々を対象に「まちの保健室」を実施しています
生活習慣病や出産・育児、家族の介護など様々な健康上の問題・こころの
不調（ストレス・うつなど）について、お気軽にご相談ください。

- ・今日の血圧はどうかしら？
- ・最近、体調が気になる・・・
- ・家族の介護どうすればいいんだろうか？
- ・うちの子、おむつがはずれないけど大丈夫？

地区	場 所	日 時	対応者 (相談員)
延岡・西臼杵	ヘルストピア延岡	第 1・2・3 土曜日、第 4 水曜日 (10 時～15 時)	保健師又は 看護師 2 名
	イオン延岡ショッピングセンター	第 4 土曜日 (10 時～15 時)	
日向・東臼杵	イオン日向店	奇数月の第 3 日曜日 (10 時～13 時)	保健師又は 看護師 2 名
	マルイチ財光寺店	偶数月の第 3 日曜日 (10 時～13 時)	
西都・児湯	西都ショッピングセンターパオ	第 2 日曜日 (10 時～13 時)	保健師又は 看護師 1～2 名
	高鍋温泉 めいりんの湯	第 2 火曜日 (12 時～14 時 30 分)	
	木城温泉館 湯らら	第 4 木曜日 (12 時 30 分～15 時)	
宮崎・東諸県	宮崎県立図書館	毎週土曜日 (12 時～16 時) ※第 5 土曜日を除く	保健師又は 看護師 1 名
	道の駅佐土原いろは館	第 1 土曜日 (12 時 30 分～15 時 30 分)	
都城・北諸県	三股町立文化会館	第 4 日曜日 (9 時 30 分～12 時 30 分) ※5 月を除く	保健師・助産 師・看護師いず れか 2 名
	イオン都城ショッピングセンター (早鈴町)	第 2 日曜日 (12 時～15 時)	
小林・えびの ・西諸県	まちなか松栄 (TENAMU ビル 1 階)	第 2 木曜日 (13 時 30 分～15 時 30 分)	看護師 2 名
	TENAMU 交流スペース ※R5.8 月まで	第 4 木曜日 (13 時 30 分～15 時 30 分)	
日南・串間	南郷ハートフルセンター生涯学習館	第 1・3 水曜日 (10 時～15 時)	保健師・助産 師・看護師いず れか 2 名
	日南市生涯学習センター (まなびピア)	第 2・4 土曜日 (10 時～15 時)	

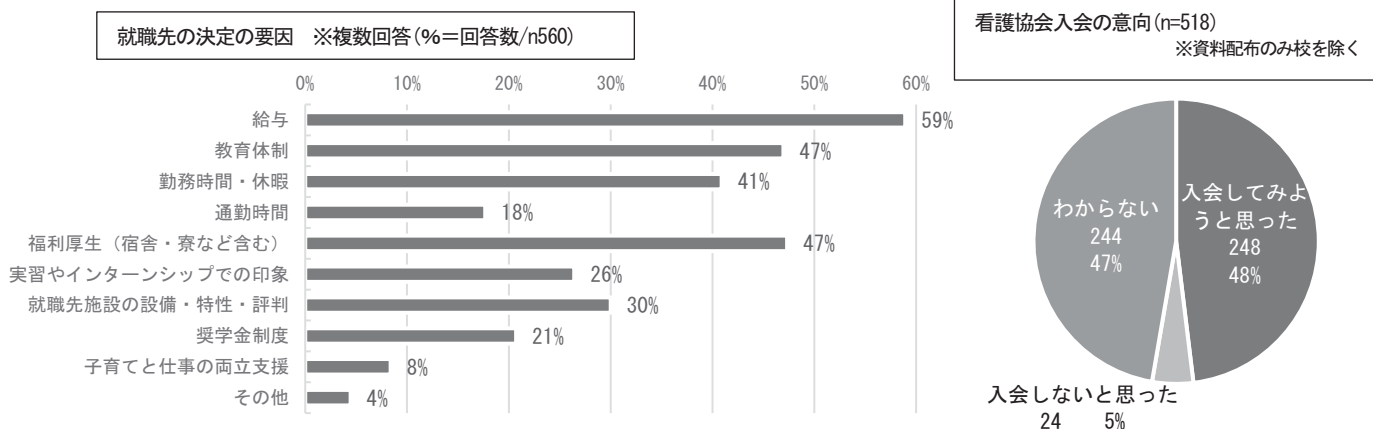
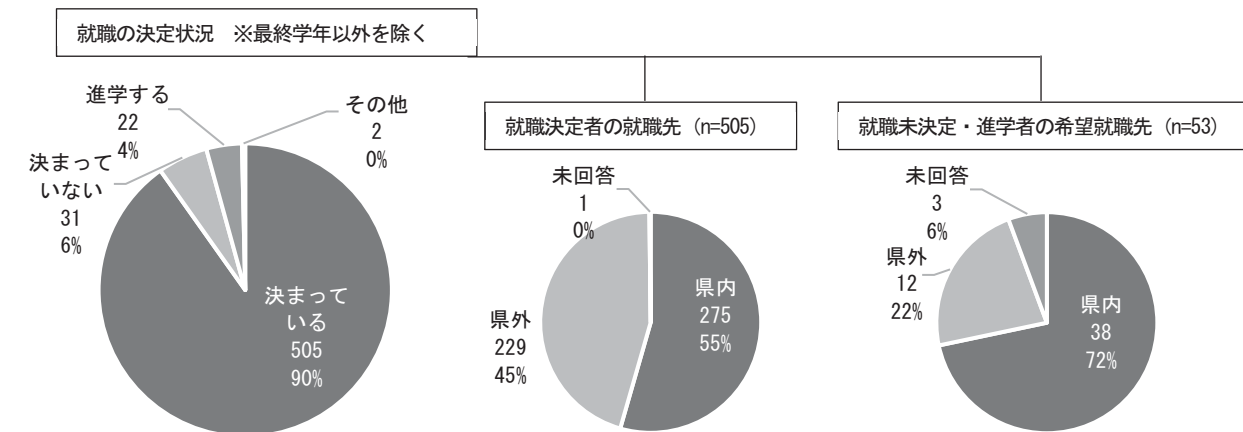
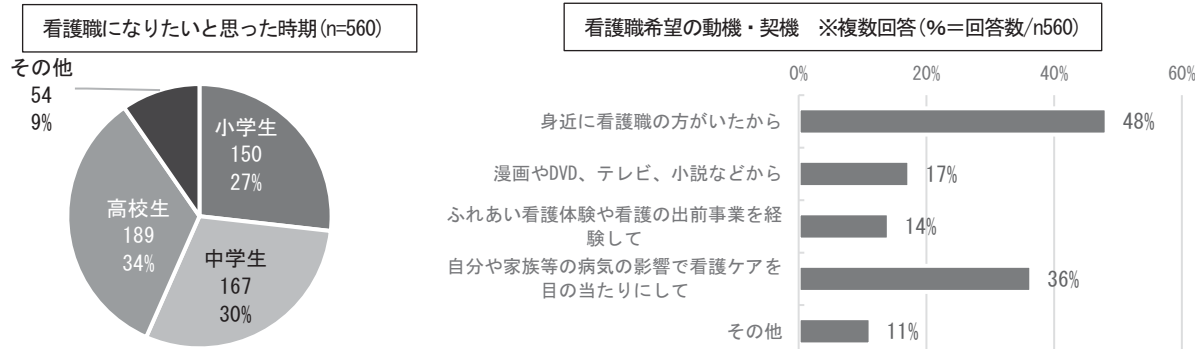
令和5年度 自殺対策に係る人材育成研修事業 実績

日時・場所	内 容	職種・人数等
1) 看護師等専門研修会		
7月22日(土) 9:25～12:00 宮崎県看護等研修センター	令和5年度自殺対策に係る看護師等専門研修会 ① 話題提供：宮崎県における自殺対策の現状と取り組み 公益社団宮崎県看護協会 常務理事 又木真由美 ② 講演：自殺予防のための気づきとアセスメント 自殺予防の基礎と対応『症例編』 講師：福岡大学医学部精神医学教室 医師 衛藤 暢明 氏	看護職 77名 精神保健福祉士3名 養護教諭 1名 公認心理士 1名 心理カウンセラー1名 <u>合計83名</u>
8月26日(土) 13:30～16:00 宮崎県看護等研修センター	【主催】福岡大学 【共催】宮崎県看護協会 講演・演習：医療機関における自殺のリスクの高い患者さんへの対応 講師：福岡大学医学部精神医学教室 医師 衛藤 暢明 氏 福岡大学病院 精神科認定看護師 河野 さつき 氏	看護職 8名 電話相談員 1名 <u>合計9名</u>
9月9日(土) 10:00～11:30 医療法人伸和会 延岡共立病院	令和5年度まちの保健室協力員育成研修会 講演：自殺予防対策 心に寄り添う聞き方 ～自分自身もリフレッシュ～ 講師：シンプルライフげんき 保健師・公認心理士・産業カウンセラー 柳田 美智子 氏	看護職 24名
9月14日(水) 19:00～20:30 宮崎県高鍋保健所	【共催】高鍋保健所・宮崎県看護協会 ① 報告：西都・児湯地区の自殺の現状について 報告者：高鍋保健所 清 弥生 氏 ② 講演：自殺予防のための気づきとアプローチ ～もし『死にたい』と言われたら～ 講師：宮崎大学医学部臨床神経科学講座精神医療分野 船橋 英樹 氏	看護職 49名
12月19日(火) 18:30～20:30 宮崎県日向保健所	【共催】日向保健所・宮崎県看護協会 ① 報告：日向保健所管内における自殺の現状と取り組み 報告者：日向保健所 土谷 桃子 氏 ② 講演：自殺未遂者支援における医療従事者等の役割 講師：宮崎大学医学部臨床神経科学講座精神医療分野 古郷 央一郎 氏	看護職24名 医師1名、薬剤師1名 精神保健福祉士1名 警察官1名、消防官1名 <u>合計29名</u>
2) 自殺予防対策のための普及啓発活動		
まちの保健室 ・定期型 (15か所) ・イベント型 (13か所)	① 冊子やグッズ等での常時啓発（看護協会内に啓発コーナーに、パンフレットや冊子を設置） ② 自殺対策研修や「まちの保健室」健康相談、看護学生対象キャリア支援講話時の啓発（小冊子・パンフレット・啓発グッズの配布） ③ ブルージャンパー・ワッペンを活用（自殺予防週間・月間にまちの保健室相談員が着用してPR）	・定期型及びイベント型まちの保健室への相談者 ・県看護協会来所者 ・宮崎県内の看護職 ・看護学生

令和5年度 キャリア支援講話 報告 実施16校(17回)、参加者693名(資料配布のみ校は除く)

回	実施日	学校名	参加者数(学年)
1	7月10日	宮崎大学医学部看護学科	60名(1年生)
2	11月1日	宮崎大学医学部看護学科	51名(4年生)
3	11月7日	宮崎県立看護大学	98名(4年生)
4	12月4日	日南看護専門学校	28名(3年生)
5	12月15日	都城看護専門学校医療専門課程	15名(3年生)
6	12月22日	聖心ウルスラ学園高等学校看護科	28名(5年生)
7	1月12日	九州保健福祉大学医療専門学校看護学科	51名(3年生)
8	2月9日	延岡看護専門学校医療専門課程	39名(2年生)
9	2月16日	日南学園高等学校宮崎県学館田野看護専攻科	34名(5年生)
10	2月19日	都城東高等学校看護専攻科	11名(5年生)
11	2月21日	鵬翔高等学校看護科・看護専攻科	62名(5年生)
12	2月26日	国立病院機構都城医療センター附属看護学校	36名(3年生)
13	2月27日	宮崎看護専門学校医療専門課程	45名(3年生)
14	2月28日	日南学園高等学校日南看護専攻科	20名(5年生)
15	2月29日	小林看護医療専門学校	39名(3年生)
16	2月29日	藤元メディカルシステム付属医療専門学校	38名(3年生)
17	3月1日	フィオーレKOGA看護専門学校	38名(3年生)
—	資料送付のみ	宮崎医療福祉専門学校	42名(3年生)

- アンケート結果 対象675名(1回目を除き、資料配布のみ校を含む) 回収数560(回収率83%)



看護職員無料職業紹介事業報告

1. ナースバンク事業

1) 求人実績

資格別	保健師	助産師	看護師	准看護師	合計
求人数	38	21	1,861	176	2,096

2) 求職実績

資格別	保健師	助産師	看護師	准看護師	合計
求職数	39	13	787	114	953

3) 就職実績（ナースセンター就職とハローワーク就職、自己就職も含む）

資格別	保健師	助産師	看護師	准看護師	合計
就職数	11	5	296	29	341

4) 看護職の届出状況

届出数（年度数／平成 27 年 10 月からの延べ数）

	R5 年度
届出数/届出総数	172/2,055

届出者の e ナースセンター登録・応募・就職状況（年度数／平成 27 年 10 月からの延べ数）

	R5 年度
e ナースセンター登録希望者	122/1,615
内、求人施設への応募者	39/534
内、就職者数	36/449

5) 就業相談件数

相談者区分		求職相談	求人相談	その他	進路相談(再掲)	合 計
総数（件）		2,661	1,492	156	8	4,309
相談時間（分） （＊平均分/件）		26,665 (10 分)	13,370 (9 分)	1,785 (11 分)	110 (14 分)	41,820 (10 分)
件数内訳	来 所	93	24	11	0	128
	電 話	1,930	1,343	128	8	3,401
	メール	637	119	16	0	772
	郵送・FAX	1	6	1	0	8

＊小数点以下四捨五入

2. 看護のシゴト出前就業相談事業

1) 実施場所・実施日と地区別相談件数

		ハローワーク 宮崎	ハローワーク 延岡	ハローワーク 日向	ハローワーク 高鍋	ハローワーク 都城	ハローワーク 小林	ハローワーク 日南	計
相談		2 回/月	2 回/月	1 回/月	1 回/月	1 回/月	1 回/月	1 回/月	
相談件数		64	28	10	19	27	14	7	169
対象別	求職	60	28	9	18	26	14	7	162
	求人	1	0	1	0	1	0	0	3
	その他	3	0	0	1	0	0	0	4

令和５年度 復職支援研修受講者就業状況調査報告

１．調査概要：講義演習、実習、地区別復職支援研修、採血・点滴演習等の受講者 81 名（令和４年 77 名）のうち未就業・転職希望であった受講者 76 名（令和４年 67 名）に対し、メール、電話インタビューを実施した。

２．調査対象者の背景

１）年齢分布 表 1

【平均年齢 45.4 歳】（n = 76）

年代別	人数（割合）
20 歳代	7（9%）
30 歳代	16（21%）
40 歳代	23（30%）
50 歳代	24（32%）
60 歳代	6（8%）

２）未就業者（72 人）のみブランク期間 表 2

【平均ブランク期間 6.0 年】（n = 72）

ブランク期間	人数（割合）
1 年未満	23（32%）
1 年以上～5 年未満	18（25%）
5 年以上～10 年未満	14（19%）
10 年以上～20 年未満	10（14%）
20 年以上	7（10%）
最大値	32 年
最小値	0 年

３）経験年数 表 3

【平均経験年数 11.5 年】（n = 76）

経験年数	人数（割合）
1 年未満	5（7%）
1 年以上～5 年未満	11（14.5%）
5 年以上～10 年未満	20（26%）
10 年以上～20 年未満	29（38%）
20 年以上	11（14.5%）
最大値	42
最小値	0.0

３．調査結果

１）就業状況 表 4 令和 6 年 3 月現在の就業状況（n = 76）

就業状況	就業 (4 月採用を含む)	未就業	*未回答
		就職活動中	
回答数	52 人	20 人 10 人	4 人
回答/75 (%)	68%	27%	5%

*未就業のうち就職活動していない理由と人数：

県外に転居 5 人、自分自身の体調不良や家族の事情 5 人

２）再就業者の状況 表 5 再就業者の就業場所と雇用形態（n = 52）

	病院	診療所	訪問看護 ステーション	施設	その他※3	計
就業者数	19	12	2	13	6	52
常 勤※1	15	11	0	13	0	39
非 常 勤※2	4	1	2	0	6	13

※1 常 勤：雇用期間の定めのない職員（非正規雇用や短時間勤務者含む）

※2 非 常 勤：1 ヶ月以上の雇用期間の定めのある職員（嘱託など）

※3 その他の就業施設の内訳：市町村 健診センター など

令和 5 年度看護系進学状況調査結果

調査方法 県内の 52 高等学校に調査票を郵送し回収した。

調査結果 注) 5 年一貫看護師養成課程については調査対象から除く

①集計結果 (回収率 100%) * □内 県内校進学者数 (人) / 県内進学率 (%)

卒業生総数 8,830 人			総計	
ふれあい看護体験者数	299 人	体験せずに看護系 に進学した 生徒数		
	体験者で看護系に 進学した生徒数			
看護大学		121	69	190
県内/県内校進学率		65 人/53.7%	34 人/49.3%	99 人/52.1%
看護短期大学		0	2	2
看護師 学校 養成所	保健師看護師統合カリキュラム校	1	0	1
	3 年課程	128	87	215
	県内/県内校進学率	110 人/85.9%	76 人/87.4%	186 人/86.5%
准看護師学校養成所		5	16	21
県内/県内校進学率		5 人/100%	14 人/87.5%	19 人/90.5%
計		255	174	429
県内/県内校進学率		180 人/70.6%	124 人/71.3%	304 人/70.9%

卒業生総数 8,830 人中、看護系に進学した生徒数は 429 人で全体の 4.9%であった。

ふれあい看護体験者 299 人中、255 人 (85.3%) が看護系に進学しており、そのうち県内校進学者は 180 人であった。

令和 5 年度看護の出前授業実施報告

実施回数 19 回 参加者：生徒 1,622 名 教諭他 (110 名) 合計 1,732 名

日程	開催場所	講師	学年	生徒数	教諭数	合計
6 月 30 日	宮崎市立 赤江東中学校	南部病院 看護師 志戸岡 兼知氏	2 学年	95	7	102
6 月 30 日	三股町立 三股中学校	都城市郡医師会病院 看護師・NST 療法士・災害支 援ナース 門分 未来氏 演習支援： 看護師 田嶋 桃子氏 看護師 佐藤 扇菜氏	2 学年	55	2	57
7 月 4 日	宮崎市立 本郷中学校	迫田病院 看護師長 西田 枝里氏	2 学年	171	11	182
7 月 12 日	都城市立 姫城中学校	国立病院機構 都城医療センター 助産師 萬壽 裕子氏	1～3 学年	300	25	325
7 月 14 日	日南市立 南郷中学校	日南市立中部病院 病棟副師長 阿萬 みどり氏 看護師 西丸 浅人氏	3 学年	67	5	72

日程	開催場所	講師	学年	生徒数	教諭数	合計
7月20日	宮崎県立 都城泉ヶ丘高等学校	宮崎県立看護大学 在宅看護学教授 川原 瑞代氏	1、2 学年	64	1	65
7月20日	宮崎市立 宮崎中学校*	訪問看護ステーション ぱりおん 所長 堤 育子氏 訪問看護認定看護師	3 学年	52	2	54
9月1日	日南市立 吾田中学校	宮崎県立日南病院 助産師 濱田 奈穂氏 看護師 鈴木 ゆま氏	3 学年	136	8	144
9月7日	宮崎市立 大塚中学校	潤和会記念病院 主任 今村 香織 脳卒中認定看護師 佐伯 亜里沙氏	2 学年	50	2	52
9月13日	宮崎県立 富島高等学校	済生会日向病院 看護師 鈴木 美紗氏	3 学年	10	2	12
9月21日	宮崎市立 清武中学校	訪問看護ステーション なでしこ 3 号館 所長 中村 久美氏 がん看護専門看護師	2 学年	50	1	51
10月20日	高千穂町立 高千穂中学校	高千穂町 国民健康保険病院 感染管理認定看護師 興沼 裕樹氏	2 学年	58	6	64
10月21日	宮崎県立 都城泉ヶ丘高等学校	藤元総合病院 看護部長 荒武 昌代氏	1、2 学年	64	1	65
11月9日	都城市立 西中学校	国立病院機構 都城医療センター 保健師・助産師・看護師 中間 麻美氏	3 学年	172	12	184
12月8日	都城市立 山之口中学校	宮崎大学 医学部附属病院 副看護部長 助産師 河潟 富士枝氏	1 学年	53	5	58
12月12日	高鍋町立 高鍋東中学校	宮崎県立宮崎病院 助産師 内田 りか氏	2 学年	87	9	96
12月26日	日向学院 中学校・高等学校	宮崎江南病院 副看護師長 甲斐 典朋氏	中学1年 ～高3年	22	1	23
2月8日	都農町立 都農中学校	育生会井上病院 助産師 佐伯 理花氏	1 学年	66	5	71
2月15日	都城市立 山田中学校	ほのか助産院 院長 助産師 安藤直美氏	2 学年	50	5	55
合計				1,622	110	1,732

*アシスト事業からの依頼

令和5年度 看護人材獲得支援員設置事業報告

I. 事業概要

1. 目的

看護人材の安定的な確保を図るため、看護マネジメント等の経験を持つ支援員（2名）を配置し、医療機関等が抱える人材確保に関する課題等に対し助言や必要な情報提供等を行うことで、医療機関への支援体制を強化し、看護職員の求人・求職のマッチング促進につなげる。

2. 令和5年度対象

- 1) 168の訪問看護ステーション（サテライト除く）（R5年8月現在）
- 2) 医療機関：26（宮崎県福祉保健部 医療政策課選定）
- 3) 医療機関：1（訪問希望）

3. 方法

- 1) 訪問看護ステーションと訪問希望のあった医療機関に訪問同意書と事前質問用紙等を郵送し、同意の得られた訪問看護ステーションと医療機関を訪問する。また、宮崎県福祉保健部 医療政策課選定の医療機関にも事前質問用紙等を郵送し訪問する。
- 2) 訪問看護ステーションの実態に対する情報収集をする。
- 3) 訪問看護ステーションと医療機関を訪問し支援する。
- 4) 関係機関との連携を行う。
- 5) 看護人材獲得支援事業連絡会議を開催し、県との情報共有を行う。

II. 結果

1. 訪問看護ステーション

- 1) 事前質問調査の実施
- 2) 情報収集

ホームページ作成状況（R5年4月現在）	給与等比較表
宮崎県内訪問看護ステーション158箇所 （サテライト除く）の受入対応状況（R5年3月現在）	認定看護管理者教育課程受講者（訪問看護ステーション 管理者）
新卒訪問看護師の経緯	新卒訪問看護師就業状況
令和4年度宮崎県介護事業所・生活関連情報 ～介護サービス情報公開システム～	

※情報収集時期によって訪問看護ステーション数に相違あり

3) 訪問実施

4) 訪問看護ステーション訪問の結果と今後の課題

- ・訪問看護ステーションも医療機関同様人材確保に困っている状況であった。人材確保に繋がるホームページ制作や看護学生の受入れ環境整備が必要である。
- ・新卒看護師の採用に関しては、育成に割ける時間も人材確保もできない状況の訪問看護ステーションが多かった。新卒看護師を採用するためには、育成期間の財政面での支援が必要である。
- ・管理者の業務負担は大きくストレスフルな状況であった。本県も訪問看護総合支援センター設置の検討を行う等、取り組みが必要である。

- ・管理に関する教育を受けていない管理者は管理業務に対する不安や困難さを感じていた。教育方法の工夫やeラーニング導入時の補助金の活用等、体制整備が必要である。

2. 医療機関（宮崎県福祉保健部 医療政策課選定）

1) 事前質問調査の実施

2) 訪問実施

3) 医療機関訪問の結果と今後の課題

- ・病院独自で取り組んでいる看護人材確保対策で、効果が見られた取り組みは他の看護管理者に紹介して共有したり、情報交換や意見交換ができる場を設ける。
- ・職員確保の方策として、eナースセンターの登録や採用試験情報登録システム「つなぐ。」や、ふれあい看護体験等ナースセンター事業の情報発信強化が必要である。
- ・求職者や看護学生が、必要な情報を得て病院に興味を持ってもらうためには、病院ホームページ内に看護部門の紹介ページを作り、自施設看護部門の売りや強みを積極的にアピールすることが必要である。また効果的なホームページ作成のための補助金等の支援が必要である。
- ・看護管理者同士のネットワーク作りが必要である。
- ・県の医療政策課で作成した医療機関のメールアドレス登録を有効に活用し、積極的に情報発信を行う。また、情報内容に応じて看護管理者、事務部門担当者双方に情報を発信する。

3. 医療機関（訪問希望）

1) 令和5年度5回訪問実施

- ・医療機関の現状や問題点を把握した上で、問題事項に対する具体的な介入方法について一緒に考えアドバイスした。また、看護管理者としての役割行動がとれるための環境調整や病院としての方向性を明確にすることの必要性について話した。

4. 看護人材確保研修会実施

- ・令和5年8月10日に宮崎県庁防災拠点庁舎で開催し、医療機関の管理者・人事管理担当者等45名の参加があった。取り組み発表やグループワークを通して、自病院の課題が分かり取り組みや方向性が明確になったとの言葉が多く聞かれた。また、参加者全員が目的を達成できたと評価していた。

5. 関係機関との連携

6. 看護人材獲得支援事業連絡会議の開催

III. 評価

令和5年度は32の訪問看護ステーションと27の医療機関を訪問した。施設・看護管理者が抱える課題等については、必要に応じて助言や資料提供を行った。課題解決の為に関係部署を紹介しタイムリーな解決に繋がったり、eナースセンターについて説明し、直ぐに登録された事例もあった。施設や管理者が抱える課題や参考になる取り組み等は、医療政策課や関係部署と情報共有でき、看護人材獲得支援事業の目的は達成できたと思う。

次年度は2年間の施設訪問の総括として、助言、資料提供後の変化を把握すると共に、施設の存続や発展のカギを握るキーパーソンである看護管理者への支援（看護管理者行動評価シートの活用促進や、好事例の情報共有等）を行っていきたい。

(訪問看護推進事業) 訪問看護人材育成事業「令和5年度訪問看護師育成研修」報告

訪問看護師 養成コアカ リキュラム	開催日 研修時間	講義・演習(8時間30分)：令和5年8月3日(木)・8月24日(木) 実習(6時間)：令和5年8月7日(月)～8月18日(金)(期間中1日)
	目的	訪問看護に関心のある看護職が身近な地域で研修を受講することで、訪問看護に係る基本的知識・技術を修得するとともに、相談や情報収集の機会となり、訪問看護師としての就業意欲が喚起され、訪問看護師の確保と育成につながることを目指す。
	内容	講義(訪問看護の概要と宮崎県の現状/訪問看護の対象者/法制度から見た訪問看護の位置づけ/事例から学ぶ訪問看護)/訪問看護ステーション実習/実習報告会/座談会
	受講者数	受講者数 22名 修了者数 22名
訪問看護研修 STEP1 ～訪問看護基 礎研修～	開催日 研修時間	訪問看護eラーニング(35時間)：令和5年5月17日(水)～7月31日(月) 講義(16時間30分)：令和5年8月17日(木)・9月14日(木)・9月30日(土) 実習(18時間)：令和5年10月～12月(期間中3日間)
	目的	訪問看護に従事している看護師等が「訪問看護eラーニング～訪問看護基礎講座～」を活用し、訪問看護の基本的知識・技術・態度を修得する。
	内容	訪問看護eラーニング～訪問看護基礎講座～/講義(保健医療福祉施策の動向と宮崎県の現状/高齢者施策の動向/訪問看護指定の状況/地域包括支援センターの役割/関係機関及び多職種連携/訪問看護の実際/在宅療養者の理解/異常の早期発見・早期対応/訪問看護における家族支援/在宅療養者を支える家族の特性/訪問看護におけるフィジカルアセスメント/在宅での呼吸ケア)/訪問看護ステーション実習
	受講者数	受講者数 29名 修了者数 25名
訪問看護 管理者研修 (ベーシック コース)	開催日 研修時間	講義(28時間20分)：令和5年9月22日(金)・9月23日(土)・10月14日(土) 11月11日(土)・11月18日(土)
	目的	看護管理者に求められる基本的責務を遂行するために、必要な知識・技術・態度と訪問看護ステーションの運営・経営を担う能力を修得し、質の高い訪問看護管理ができるとともに訪問看護事業を発展できる。
	内容	講義(看護管理の基礎/看護管理としての問題解決技法・看護管理実践計画書作成/訪問看護ステーションにおける人材育成/訪問看護管理/訪問看護ステーション経営の基礎/訪問看護ステーションの管理・運営)
	受講者数	受講者数 16名 修了者数 14名
訪問看護 管理者研修 フォローアップ 研修	開催日 研修時間	令和5年12月16日(土)(6時間40分)
	目的	訪問看護管理者の実践能力を高める
	内容	訪問看護管理実践報告会 訪問看護管理者支援研修：「訪問看護ステーションの労務管理」
	受講者数	受講者9名
訪問看護研修 STEP2 ～専門分野の知 識・技術習得の ためのステップ アップ研修～	開催日 研修時間	講義(27時間40分)：令和5年5月18日(木)・5月20日(土)・5月27日(土) 7月8日(土)・7月29日(土) 実習(12時間)：令和5年8月～9月(期間中2日間)
	目的	目的：専門分野の知識・技術を習得し、高度医療の看護実践に活かす
	内容	講義(小児・重症児の動向及び関係する法制度/難病患者の動向及び関係する法制度/在宅に向けた退院支援の実際/多職種連携と調整/在宅における栄養士との連携/在宅における薬剤師との連携/在宅で医療的ケアを必要とする小児・重症児の特徴、疾患の理解/医療的ケア児の訪問看護の実際/日常生活への支援/急変時の対応/終末期の看護/家族及び介護者への支援/在宅における難病患者へのケアに必要な社会資源の活用/在宅での難病患者の看護実際/精神科訪問看護の現状と動向/利用者・家族を支える社会資源や制度の活用/多職種の連携/精神疾患のある在宅療養者の理解/精神科訪問看護の現状と展望/困難事例への対応/メンタルヘルス対策/WRAPを活用した精神科訪問看護/在宅における緩和ケア/在宅における緩和ケア/在宅での看取り/グリーフケア/ACPと看取りに関するガイドラインについて)訪問看護ステーション実習
	受講者数	受講者数 9名 修了者数 8名

(訪問看護推進事業) 令和5年度看護人材連携事業報告

1. 専門看護師・認定看護師による支援

研 修 名	訪問看護ステーションの専門看護師・認定看護師による研修会・相談会	
開催日時	1) 令和5年8月19日(土)	2) 令和5年9月2日(土)
会 場	(都城市) 医療法人倫生会三州病院	(延岡市) 延岡市中小企業振興センター
対 象	県内の訪問看護ステーションに従事している看護職	
目 的	1. 訪問看護ステーションの専門看護師・認定看護師による講義で学べた知識・技術を通して、自身の看護を振り返る機会とする。 2. 各施設で困っている事や悩んでいること等の相談について助言を受け、今後の看護実践に活かす。	
内 容	【講義】・選ばれるステーションになろう カンファレンスを充実させるためには ～概論編・実践編～ ・質があがる、人が育つ	【講義】・一歩前に行く感染対策 ・がん患者の『怒り』を知りケアに活かす ・働く人のこころのケア～自分を知り、 元気を創る方法
	【相談会】各施設で困っていることや悩んでいること等、Q&A	
参加者数	8名	5名

2. 医療機関と訪問看護ステーションの看護職の人材交流研修

開催日時	1) 令和5年7月22日(土)	2) 令和5年9月16日(土)	3) 令和5年10月26日(木)
会 場	国立病院機構都城医療センター	延岡市中小企業振興センター	宮崎県看護等研修センター
対 象	医療機関と訪問看護ステーションの看護職		
目 標	1. 意思決定支援におけるアドバンス・ケア・プランニングについて理解を図る。 2. 意思決定に携わるスキルを身につけ現場での実践に繋がれるようにする。 3. レクチャー・ロールプレイングを通し、ACPの流れや実践方法を学ぶ。	医療機関に就業する看護師と訪問看護ステーションに就業する看護師が事例を通して看護連携について学ぶ。	医療機関に就業する看護職と訪問看護ステーションに就業する看護職が人材交流できる機会を通して、互いの役割や地域における看護連携について学ぶ。
内 容	【講義】 ・意思決定支援のスキルを磨こう～ACP実践を目指して～ 【ロールプレイング】 ・ACPの流れや実践方法	【講義・事例紹介】 ・医療機関と訪問看護ステーションの看護連携強化を目指して 【グループワーク】 ・連携をスムーズに行うためには、看護師として何を考えますか？	【活動報告】県西・県南地区、県北地区での研修会の実施報告 【事例報告】 ・本人家族の希望に沿って自宅退院し、当日看取りとなった事例の退院支援を通じて学んだこと 1) 病棟看護師の立場から 2) 連携室の立場から 3) 訪問看護の立場から 【グループワーク】 ・連携をスムーズに行うためには、看護師としてなにを考えますか？
参加者数	27名	52名	78名

3. 訪問看護管理者交流会

開催日時	1) 令和5年6月24日(土)	2) 令和5年8月26日(土)	3) 令和5年10月21日(土)
会 場	大王谷コミュニティセンター	医療法人倫生会三州病院	宮崎県看護等研修センター
対 象	県内の訪問看護ステーションの看護管理者、BCP作成担当者		
目 的	県内の訪問看護ステーション管理者の研修会・交流会を通して、訪問看護ステーションの管理上の問題や他職種と協働する上での課題解決ができる。		
内 容	【説明会】令和3年度介護報酬改定に伴うBCP作成について 【事例発表】感染症BCP作成事例の紹介・自然災害BCP作成事例の紹介 【グループワーク】自事業所で作成したBCPを持ち寄り、BCPの内容や訓練の状況について情報交換することで、より実践的なBCPを作成すると同時に連携を深める。		
参加者数	22名	10名	15名

令和5年度宮崎県看護協会訪問看護ステーションなでしこ3館運営協議会報告

委員：中武郁子・又木真由美・橋満升子・古川壽彦・荒川貴代美・荒川文子
高野久美子・那須聡子・中村久美

開催日時	内容	参加者数
第1回 令和5年5月26日(金) 10時00分～12時05分	- 令和4年度事業目標と事業計画の実績・評価 - 令和5年度事業目標と事業計画 - なでしこ3館収支状況の報告 - インシデント・アクシデント報告 - コロナ禍での利用者の状況・職員の状況 - 交通安全について	9名
第2回 令和5年8月29日(火) 10時00分～11時15分	- なでしこ3館実績管理月報および事業別実績報告 (令和5年5月～7月) - インシデント・アクシデント報告 - 協議 ホームページの充実について - 情報共有 なでしこ1号館実地指導の結果報告 コロナ禍での利用者の状況・職員の状況	9名
第3回 令和5年11月30日(木) 10時00分～11時00分	- なでしこ3館実績管理月報および事業別実績報告 (令和5年8月～10月) - インシデント・アクシデント報告 - 協議 1) 宮崎市の医療的ケア児レスパイト事業について - 情報共有 1) コロナ禍での利用者状況、職員の状況等 2) 運営規定の変更作業の進捗状況	8名
第4回 令和6年2月29日(木) 10時00分～11時30分	- なでしこ3館実績管理月報および事業別実績報告 (令和5年11月～令和6年1月) - インシデント・アクシデント報告 - 情報共有 1) コロナ禍での利用者状況、職員の状況等 2) 運営規定変更の報告 3) オンライン請求・オンライン資格確認の3館の状況報告 4) なでしこ3館所長の相互の事業所訪問を行い、運営環境等の検討報告	7名

令和5年度 宮崎県看護協会訪問看護ステーションなでしこ3館報告

1. 令和5年度事業目標

なでしこ1号館
1. 一人ひとりのニーズに応じた個別性を重視した看護サービスを提供する
2. 多職種、関係機関との連携を図る
3. 利用者確保を維持し安定した事業運営を図る
なでしこ2号館
1. 利用者個々の介護・医療のニーズに応じた質の高い看護・リハビリテーションを提供する
2. 機能強化型ステーションとして、人材育成に努める
3. 関係機関や多職種と連携する
なでしこ3号館
1. 利用者を安定的に確保し、事業の安定を図る
2. 人材育成に努め、看護の質を高める
3. 地域の一員として活動し、連携を図る

2. 活動内容

1) 職員体制

		看護師		理学療法士	作業療法士	介護支援 専門員	事務職員	計
			常勤換算					
1号館	常勤	3	3	0	0		0	3
	非常勤	1	0.7	0	0		1	2
2号館	常勤	5	5	0	1 (3号館と 兼務)	2	0	8
	非常勤	2	1.5	1	1	1	1	6
3号館	常勤	6	6	0	1 (2号館と 兼務)	2	1	10
	非常勤	2	1.3	0	0	0	0	2
合計		19	17.5	1	2	5	3	31

2) 訪問看護事業

令和5年度のなでしこ3館の訪問看護利用者数と訪問述べ件数

利用者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護保険	112	111	116	114	121	114	119	118	121	116	121	121
医療保険	112	110	108	117	113	111	99	96	97	95	86	90
合計	224	221	224	231	234	225	218	214	218	211	207	211

訪問述べ件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護保険	514	582	616	545	626	538	584	584	569	529	577	566
医療保険	694	715	812	755	783	740	750	679	739	638	609	622
合計	1,208	1,297	1,428	1,300	1,409	1,278	1,334	1,263	1,308	1,167	1,186	1,188

3) 居宅介護支援事業

令和5年度なでしこ2・3号館の居宅介護支援利用者数

利用者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護	113	120	116	116	122	113	111	124	125	116	108	109
予防	4	5	5	5	6	7	10	9	9	8	7	7
合計	117	125	121	121	128	120	121	133	134	124	115	116

3. 職員教育体制

- 1) なでしこ3館共有のキャリアラダーに準じた個人の研修
- 2) 県内・外の研修・学会等への参加
- 3) 各ステーション勉強会の実施
- 4) 学会その他

4 実習・研修等の受け入れ

1) なでしこ1号館

区分	学校名等	対象	延人数
大学	宮崎県立看護大学	2年生	2名
専門学校	小林看護医療専門学校	3年生	64名
看護職研修	訪問看護師養成コアカリキュラム	看護師	3名

2) なでしこ2号館

区分	学校名等	対象	延人数
大学	宮崎県立看護大学	2年生・3年生	66名
専門学校	日南看護専門学校	3年生	16名
専門学校	宮崎医療福祉専門学校	3年生	76名
専門学校	穴吹医療大学校看護学科	2年生	6名
看護職研修	訪問看護研修STEP1	看護師	6名
	訪問看護コアカリキュラム	看護師	2名
	セカンドレベル研修	看護師	2名

3) なでしこ3号館

区分	学校名等	対象	延人数
大学	宮崎大学医学部	医学生	65名
		県外医療機関の研修医	1名
	宮崎大学医学部看護学科	看護学生3年	36名
	宮崎県立看護大学	看護学生3年生	93名
専門学校	日南看護専門学校	看護学生3年生	16名
	フィオーレKOGA看護専門学校	看護学生3年生	40名
看護職研修	訪問看護研修STEP1	看護師	3名
	訪問看護研修STEP2	看護師	1名
	訪問看護師養成コアカリキュラム	看護師	2名
ナースセンター	ふれあい看護体験	高校生	5名
医療機関	宮崎大学医学部附属病院	病院看護師	14名

5. 地域活動

1) なでしこ 1 号館

主催	名称	役割
宮崎県看護協会	小林・えびの・西諸県地区施設代表者・運営委員会	委員
	訪問看護管理者交流会	講師
小林市	西諸地域医療的ケア児支援連絡会議（保健・医師部会）	委員

2) なでしこ 2 号館

主催	名称	役割
宮崎市佐土原町	多職種連絡会（ターミナル利用者事例検討会）	企画・支援者
宮崎県看護協会	訪問看護管理者研修企画・運営担当者会	委員・支援者
	訪問看護師養成コアカリキュラム研修	支援者
	訪問看護管理者交流会	支援者
宮崎県介護支援専門員協会	介護支援専門員研修（実務・課程Ⅰ・Ⅱ等）	講師・ファシリテーター
	宮崎県介護支援専門員スキルアップ事業作業部会	委員

3) なでしこ 3 号館

主催	名称	役割
宮崎県看護協会	訪問看護ステーションの専門・認定看護師派遣支援事業	委員・講師
	訪問看護管理者交流会	支援者
	在宅・高齢者ケア施設における看取りの看護	講師
	みやざきナース Today 2023 IN 宮交シティ	訪問看護展示
	医療機関と訪問看護ステーションの人材交流支援検討委員会	委員・事例提供
	宮崎県訪問看護推進検討会	委員
	訪問看護研修 STEP2（在宅における緩和ケア・在宅での看取り）	講師
	訪問看護師養成コアカリキュラム実習報告会・座談会	支援者
	ELNEC-J コアカリキュラム研修	講師・支援者
	看護の出前授業（宮崎市立清武中学校）	講師
宮崎県教育庁	特別支援学校医療的ケア運営協議会	委員・講師
日南看護専門学校	在宅看護論 ターミナルケア	講師
宮崎看護専門学校	在宅看護論 在宅がん看護	講師
フィオーレ KOGA	在宅看護論	講師
宮崎県がん診療連携協議会	緩和医療専門部会小委員会	委員
特定非営利活動法人 障害者自立支援応援センター YAH!DOみやざき	医療的ケア支援部会シンポジウム	講師・支援者
一般社団法人宮崎県介護支援専門員協会	令和5年度自立支援型ケアマネジメント推進事業「在宅医療・介護多職種連携協働に関する研修会」	講師
宮崎大学大学院	がん看護専門看護師養成コース（大学院修士課程）緩和ケアⅡ	講師

主催	名称	役割
宮崎江南病院	地域多職種勉強会	講師
宮崎県医師会	在宅シミュレータ研修	講師・支援者
田野地区地域包括支援センター	第1回事例検討会 IN 田野	事例提供
日本緩和医療学会学術大会	「コロナ禍の退院後自宅看取りをした病院看護師と訪問看護師の連携と効果」	研究発表
宮崎キュアケアネットワーク	2023 年在宅を支える多職種交流会	委員・支援者
宮崎県介護支援専門員協会	介護支援専門員研修	講師・ファシリテーター
地域包括推進センター	宮崎東諸県医療介護連携推進協議会ワーキング部会	委員

令和6年度 宮崎県看護協会訪問看護ステーションなでしこ3館事業目標

なでしこ1号館 1. 在宅で過ごされる利用者、ご家族が満足と安心を得られ看護を提供できる 2. 地域医療者として関連機関との連携を積極的に行い、継続看護を実践する 3. 働きやすい職場環境を継続出来るように心掛けハラスメント防止に努める
なでしこ2号館 1. 機能強化型ステーションとして、人材育成に努める 2. 看護記録や書類の改善を行い業務の効率化をはかる 3. BCPのPDCAサイクルを回し、感染症、災害時に対応できる
なでしこ3号館 1. 利用者を安定的に確保し事業の安定を図る 2. 人材育成に努め、看護の質を高める 3. 地域の一員として活動し連携を図る

資 料

定款・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	101
定款細則・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	107
会館整備資金取扱規程・・・・・・・・・・・・・・	111
組織図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	112
令和5年度役員・委員名簿・・・・・・・・・・・・	113
令和5年度関係機関等への委員等の参画・・・・・・・・	116
令和5年度関係団体の後援・・・・・・・・・・・・	118
令和6年度日本看護協会代議員及び予備代議員名簿・・・・・・・・	119
令和5年度入会施設一覧・名誉会員・個人会員・・・・・・・・	120
年次別入会者数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	129
県内就業者数と入会状況・・・・・・・・・・・・・・	130
全国看護協会会員数と入会率・・・・・・・・・・・・	131
日本看護協会歌・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	132

公益社団法人宮崎県看護協会定款

目次

第1章	総則(第1条～第2条)
第2章	目的及び事業(第3条～第4条)
第3章	会員(第5条～第11条)
第4章	総会(第12条～第21条)
第5章	役員等(第22条～第32条)
第6章	理事会(第33条～第41条)
第7章	委員会(第42条～第43条)
第8章	事務局(第44条)
第9章	地区(第45条)
第10章	事業所(第46条)
第11章	資産及び会計(第47条～第53条)
第12章	定款の変更、合併及び解散等(第54条～第58条)
第13章	公告(第59条)
第14章	補則(第60条)
附則	

第1章 総 則

(名称)

第1条 この法人(以下「本会」という。)は、公益社団法人宮崎県看護協会と称する。

(事務所)

第2条 本会は、主たる事務所を宮崎県宮崎市に置く。
2 本会は、理事会の決議によって従たる事務所を必要な地に置くことができる。これを変更又は廃止する場合も同様とする。

第2章 目的及び事業

(目的)

第3条 本会は、公益社団法人日本看護協会（以下「日本看護協会」という。）との連携のもと、保健師、助産師、看護師及び准看護師（以下「看護職」という。）が、看護に関する専門教育と研鑽による看護の質の向上を図るとともに、医療の担い手である看護職が安心して働き続けられる環境づくりを推進し、あわせて地域のニーズに応える看護職による訪問看護等の地域医療の充実を図ることにより、宮崎県民の健康な生活の実現に寄与することを目的とする。

(事業)

第4条 本会は、前条の目的を達成するため、宮崎県内において次の事業を行う。
（１）看護教育及び学会等学術振興に関する看護の質向上に関する事業
（２）看護職の労働環境等の改善及び就業促進による県民の健康及び福祉の増進に関する事業
（３）看護に関する調査及び研究並びに看護業務及び看護制度等の改善への提言に関する事業

- （４）県民に対する疾病の予防及び健康の保持増進に関する事業
- （５）医療安全対策及び災害等危機管理に関する事業
- （６）在宅ケアサービス等の実施及び訪問看護の推進支援に関する事業
- （７）その他本会の目的を達成するために必要な事業

第3章 会 員

(種別)

第5条 本会の会員は、次の２種とする。

- （１）正会員 宮崎県内に勤務し、又は在住する看護職であつて、本会の目的に賛同して入会したもの。
 - （２）名誉会員 看護事業に顕著な功績のあった看護職で、理事会が推薦し、本人の承諾を得て日本看護協会総会において承認されたもの。
- 2 前項の正会員をもって、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（以下「法人法」という。）に規定する社員とする。

(入会)

第6条 正会員として入会しようとする者は、定款細則の入会手続きにより申し込むものとする。
2 本会の正会員は、本会を通じて日本看護協会に正会員としての加入の手続きをとるものとする。

(会費)

第7条 正会員は、本会の事業活動に必要な経費に充てるため、定款細則に定める会費を納入しなければならない。

(退会)

第8条 正会員は、定款細則に定める退会の届け出により、任意に退会することができる。

(除名)

第9条 会員が次の各号の一に該当する場合は、総会においてすべての正会員の3分の2以上の決議により、当該会員を除名することができる。
（１）本会の定款又は細則に違反したとき。
（２）本会の名誉を傷つけ、又は目的に反する行為をしたとき。
（３）その他正当な事由があるとき。
2 除名の決議を行う場合、その会員に対し、総会の1週間前までに理由を付してその旨を通知し、総会において決議の前に弁明の機会を与えなければならない。
3 除名が決議されたときは、会長はその会員に対して除名した理由を明らかにし、ただちにその旨を通知しなければならない。

(会員の資格喪失)

第10条 前2条の場合のほか、会員は次の各号の一に該当する場合には、その資格を喪失する。
（１）看護職の資格を喪失したとき。
（２）死亡し、若しくは失踪宣告を受けたとき。

- (3) 正当な理由無く3か月以上会費を滞納したとき。
- (4) すべての正会員の同意があったとき。
- (5) その他会員資格に該当しなくなったとき。

(会員資格喪失に伴う権利及び義務)

- 第11条 会員が第9条から前条までの規定によりその資格を喪失したときは、本会に対する権利を失い、義務を免れる。
- 2 本会は、会員がその資格を喪失しても、既納の会費及びその他の拠出金品は、返還しない。

第4章 総会

(構成及び議決権)

- 第12条 総会は、すべての正会員をもって構成する。
- 2 総会における議決権は、正会員1名につき1個とする。
- 3 総会をもって、法人法上の社員総会とする。

(権限)

- 第13条 総会は、次に掲げる事項を決議する。
- (1) 定款の変更に関する事項
 - (2) 理事及び監事の選任又は解任
 - (3) 会費の額
 - (4) 理事及び監事の報酬等の額
 - (5) 会員の除名
 - (6) 本会の解散、残余財産の処分及び公益目的取得財産残額の贈与
 - (7) 理事会において総会に付議した事項
 - (8) 合併、事業の全部若しくは一部の譲渡
 - (9) 貸借対照表及び正味財産増減計算書の承認
 - (10) その他総会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

(種類及び開催)

- 第14条 本会の総会は、通常総会及び臨時総会の2種とする。
- 2 通常総会は、毎年1回、毎事業年度終了後3か月以内に開催する。
- 3 臨時総会は、理事会の決議を経て、会長が招集する。ただし、すべての正会員の議決権の10分の1以上の議決権を有する正会員から、会議の目的たる事項及び招集の理由を記載した書面により、招集の請求があったときは、会長は、当該請求があった日から6週間以内の日を開催日として臨時総会を招集しなければならない。

(招集)

- 第15条 総会は、理事会の決議を経て、会長が招集する。
- 2 総会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を開催30日前までに本会の機関誌によって公表し会員に通知する方法、又は書面（電磁的方法を含む。）によって会員に通知しなければならない。この機関誌、又は書面（電磁的方法を含む。）は登録された住所又は勤務場所に送付することにより、すべての会員に送付しなければならない。

ただし、総会に出席しない正会員が書面又は電磁的方法により、議決権を行使することができることとするときは、法令に定める参考書類及び議決権行使書面を添えて2週間前までに通知を発しなければならない。

(議長)

- 第16条 総会に議長団を置く。
- 2 議長団は3名とし、総会において、その都度出席した正会員の中から選任する。
- 3 議長は、議長団がこれを定める。

(定足数)

- 第17条 総会は、すべての正会員の過半数の出席をもって成立する。

(決議)

- 第18条 総会の決議は、この定款に別段の定めがある場合を除き、すべての正会員の過半数が出席し、出席した正会員の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。
- 2 前項前段の場合において、議長は正会員として決議に加わることはできない。ただし、出席者数からは除かない。
- 3 第1項の規定にかかわらず、次に掲げる事項は、すべての正会員の3分の2以上の決議により行わなければならない。
- (1) 定款の変更
 - (2) 監事の解任
 - (3) 会員の除名
 - (4) 本会の解散
 - (5) その他法令で定められた事項

(書面による表決等)

- 第19条 やむを得ない理由のため総会に出席できない正会員は、あらかじめ通知された事項について書面をもって表決し、又は他の正会員を代理人として表決を委任することができる。この場合において書面で表決した者又は表決を委任した者は総会に出席したものとみなす。

(議事録)

- 第20条 総会の議事については、法令で定めるところにより、書面又は電磁的記録をもって作成し、総会の日から10年間主たる事務所に備え置かねばならない。
- 2 前項の議事録には議長及びその総会において選任された議事録署名人2名以上が、署名又は記名押印しなければならない。

(総会運営規則)

- 第21条 総会の運営に関し、必要な事項は、法令又はこの定款に定めるもののほか、総会の決議により別に定める総会運営規則による。

第5章 役員等

(役員の設置)

第22条 本会に、次の役員を置く。

(1) 理事 16名以上21名以内

(2) 監事 3名

2 理事のうち、1名を会長、2名を副会長、3名以内を常務理事とし、職能理事（保健師職能理事、助産師職能理事、看護師職能理事）を4名、地区理事を10名以内、准看護師理事を1名置く。

3 前項の会長をもって法人法上の代表理事とし、常務理事をもって法人法第91条第1項第2号に規定する業務執行理事（以下「業務執行理事」という。）とする。

(役員の選任)

第23条 理事及び監事は、総会の決議によって選任する。ただし、前条第1項第2号に掲げる監事3名のうち1名については、会員以外の者とする。

2 理事会は、会長、副会長及び常務理事を選定及び解職する。

3 前項において、理事会は、総会の決議により選出された会長候補者及び副会長候補者から会長及び副会長を選定することができる。

4 理事会は、会長が推薦する常務理事候補者の中から常務理事を選定することができる。

(役員の欠格事由)

第24条 次に掲げる者は、本会の役員となることができない。

(1) 法人法第65条第1項各号に掲げられた者

(2) 法人法第65条第1項第3号に該当する罪刑又は第4号に該当する刑に処せられる可能性のある罪で起訴されている者

(3) 公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律（以下「認定法」という。）第6条第1号に該当する者

(4) 認定法第6条第1号ロに該当する罪刑又はハに該当する刑に処せられる可能性のある罪で起訴されている者

(役員の資格喪失)

第25条 前条に該当するに至った者は、該当時点で本会の役員の資格を喪失する。

(役員の親族等割合の制限)

第26条 本会の理事のうちには、理事のいずれか1名及びその親族その他特殊の関係にある者の合計数が、理事の総数（現在数）の3分の1を超えて含まれてはならない。

2 他の同一の団体（認定法第5条第11号の委任を受けて公益法人に準ずるものとして政令で定められるものを除く。）の理事又は職員である者その他これに準ずる相互に密接な関係にある者として認定法施行令第5条で定められる者である理事の合計数が、理事の総数（現在数）の3分の1を超えて含まれてはならない。監事についても同様とする。

3 本会の監事には、本会の理事（親族その他特殊の関係があ

る者を含む。）及び本会の職員が含まれてはならない。また、各監事は、相互に親族その他特殊の関係があつてはならない。

(理事の職務及び権限)

第27条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、その職務を執行する。

2 会長は、本会を代表し、その業務を執行する。

3 副会長は、会長を補佐する。

4 常務理事は、理事会において別に定めるところにより、本会の業務を分担執行する。

5 会長及び業務執行理事は、3か月に1回以上自己の職務の執行状況を理事会に報告しなければならない。

(監事の職務及び権限)

第28条 監事は、次に掲げる職務を行う。

(1) 理事の職務の執行を監査し、監査報告を作成すること

(2) 本会の業務及び財産の状況を監査すること。

(3) 総会及び理事会に出席し、必要があると認めるときは、意見を述べること。

(4) 理事が、不正の行為をし、若しくは不正の行為をするおそれがあると認めるとき、又は法令若しくは定款に違反する事実関係若しくは不当な事実関係があると認めるときは、遅滞なく、その旨を理事会に報告すること。

(5) 前号の報告をするため必要があるときは、会長に理事会の招集を請求すること。ただし、その請求があつた日から5日以内に、理事会を開催する旨の招集通知（その請求があつた日から2週間以内の日を開催日とするものに限る。）が発せられない場合は、直接理事会を招集すること。

(6) 理事が、総会に提出しようとする議案、書類その他法令で定めるものを調査し、法令若しくは定款に違反し、又は著しく不当な事実があると認めるときは、その調査の結果を総会に報告すること。

(7) 理事が、本会の目的の範囲外の行為その他法令若しくは定款に違反する行為をし、又はその行為をするおそれがある場合において、その行為によって本会に著しい損害が生じるおそれがあるときは、その理事に対し、その行為をやめることを請求すること。

(8) その他監事に認められた法令上の権限を行使すること。

(役員の任期)

第29条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する通常総会の終結の時までとし、再任を妨げない。

2 前項の規定にかかわらず、理事は、会長、副会長、常務理事及びその他の理事として同一の役職に引き続き就任するときは、選任後6年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する通常総会の終結の時を超えて就任することができない。

3 監事の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する通常総会の終結の時までとし、再任を妨げない。

4 前項の規定にかかわらず、監事は、同一職に引き続き就任す

るときは、選任後8年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する通常総会の終結の時を超えて就任することができない。

5 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任の任期の満了する時までとする。

6 増員により選任された理事の任期は、他の現任者の任期の満了する時までとする。

7 第22条第1項で定めた役員員の数が欠けた場合には、任期の満了又は辞任により退任した役員は、新たに選任された役員が就任するまで、なお役員としての権利義務を有する。

(役員解任)

第30条 理事及び監事は、総会の決議によって解任することができる。ただし、監事を解任する場合は、総会においてすべての正会員の3分の2以上の決議により、行わなければならない。

(役員報酬等)

第31条 役員に対して、その職務執行の対価として、総会において定める総額の範囲内で、報酬を支給することができる。

2 役員には、その職務を執行するために要する費用を弁償することができる。

3 前2項に関し必要な事項は、理事会の決議により別に定める役員等の報酬及び費用に関する規則による。ただし、監事の報酬については監事の協議による。

(役員責任及び免除)

第32条 理事又は監事は、その任務を怠ったときは、本会に対し、これによって生じた損害を賠償する責任を負い、法人法第112条の規定により、この責任は、すべての正会員の同意がなければ免除することができない。

2 前項の規定にかかわらず、当該理事又は監事が善意で重大な過失がない場合には、本会は、同法第114条第1項の規定により、任務を怠った事による理事又は監事(理事又は監事であった者を含む。)の損害賠償責任を法令の限度において理事会の決議によって免除することができる。

第6章 理事会

(設置)

第33条 本会に理事会を設置する。

2 理事会は、すべての理事をもって組織する。

(権限)

第34条 理事会は、法令及びこの定款に定めるもののほか、次に掲げる職務を行う。

- (1) 本会の業務執行の決定
- (2) 理事の職務執行の監督
- (3) 会長、副会長及び常務理事の選定及び解職

2 理事会は、次に掲げる事項その他重要な業務執行の決定を理事に委任することができない。

- (1) 重要な財産の処分及び譲り受け

- (2) 多額の借財

- (3) 重要な職員の選任及び解任

- (4) 従たる事務所その他重要な組織の設置、変更及び廃止

- (5) 本会の業務の適正を確保するために必要なものとして法令で定める体制の整備

- (6) 第32条第2項に規定する責任の免除

(種類及び開催)

第35条 理事会は、定例理事会及び臨時理事会の2種とする。

2 定例理事会は、年6回以上開催する。

3 臨時理事会は、次の各号の一に該当する場合に開催する。

- (1) 会長が必要と認めたとき。

- (2) 会長以外の理事から会議の目的を記載した書面をもって、会長に招集の請求があったとき。

- (3) 前号の請求があった日から5日以内に、その請求があった日から2週間以内の日を理事会の日とする理事会の招集の通知が発せられない場合に、その理事が招集したとき。

- (4) 第28条第5号の規定により、監事から会長に招集の請求があったとき、又は監事が招集したとき。

(招集)

第36条 理事会は、この定款に別段の定めがある場合を除き、会長が招集し、議長となる。ただし、会長に事故あるときは、あらかじめ理事会において定めた順序による理事が招集し、議長となる。

2 理事会を招集する者は、会議の日時、場所、目的である事項を記載した書面又は電磁的方法をもって、理事会の開催日の1週間前までに各理事及び各監事に対してその通知を発しなければならない。

3 前項の規定にかかわらず、理事及び監事の全員の同意があるときは、招集の手続きを経ることなく理事会を開催することができる。

(定足数)

第37条 理事会は、議決に加わることができる理事の過半数の出席をもって成立する。

(決議)

第38条 理事会の決議は、この定款に別段の定めがある場合を除き、議事に加わることができる理事の過半数が出席し、その過半数をもって決し、可否同数のときは議長が決するところによる。

2 理事会の議事について、特別の利害関係を有する理事は、その議決に加わることができない。

3 第1項前段の場合において、議長は、理事として決議に加わることができない。ただし、出席数からは除かない。

(決議の省略)

第39条 理事が理事会の目的である事項について提案をした場合において、当該提案について、議事に加わることができる理事の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をし

たときは、その提案を可決する旨の決議があったものとみなす。
ただし、監事が異議を述べたときは、この限りではない。

(議事録)

- 第40条 理事会の議事については、法令で定めるところにより議事録を作成し、出席した会長及び監事が署名又は記名押印しなければならない。
- 2 前項の議事録は、理事会の日から10年間、主たる事務所に備え置かなければならない。

(理事会運営規則)

- 第41条 理事会運営に関し必要な事項は、法令又はこの定款に定めるもののほか、理事会の決議により別に定める理事会運営規則による。

第7章 委員会

(職能委員会)

- 第42条 本会に次の職能委員会を置く。
- (1) 保健師職能委員会
- (2) 助産師職能委員会
- (3) 看護師職能委員会
- 2 各職能委員会は、それぞれ、職能上の問題を審議し、会長に助言する。
- 3 各職能委員会の委員長は、保健師、助産師、看護師職能の理事をもって充てる。
- 4 各職能委員会の委員は、理事会において選任する。
- 5 各職能委員会の構成及び運営に必要な事項は、理事会の決議により別に定める。

(職能委員会以外の委員会)

- 第43条 前条に定める委員会のほか、本会の事業を推進するため必要があるときは、理事会はその決議により、委員会を設置することができる。
- 2 委員会は、総会、理事会その他の法定機関の権限を冒さないものとする。
- 3 委員会の委員は、理事会において選任する。
- 4 委員会の任務、構成及び運営に関し必要な事項は、理事会の決議により別に定める。

第8章 事務局

(事務局)

- 第44条 本会の事務を処理するため、事務局を設置する。
- 2 事務局には、事務局長及び所要の職員を置く。
- 3 事務局長及び重要な職員は、理事会の決議を経て、会長が任免する。
- 4 事務局の組織及び運営に関し必要な事項は、理事会の決議を経て、会長が別に定める。

第9章 地区

(地区)

- 第45条 この法人の業務運営を円滑に図るため地区を定める。
- 2 所管範囲は定款細則に定める。
- 3 地区の運営に関し、必要な事項は理事会の決議により別に定める。

第10章 事業所

(事業所)

- 第46条 第4条第6号に規定する事業を実施するため、理事会の決議を経て、訪問看護事業及び訪問介護事業を行う事業所（以下「訪問看護ステーション」という。）並びに居宅介護支援事業を行う事業所（以下「居宅介護支援事業所」という。）を設置することができる。
- 2 前項の訪問看護ステーション及び居宅介護支援事業所の組織その他必要な事項は、理事会の決議により別に定める。

第11章 資産及び会計

(事業年度)

- 第47条 本会の事業年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(会計の原則)

- 第48条 本会の会計は、一般に公正妥当と認められる公益法人の会計の基準及びその他の会計の慣行に従うものとする。

(資産の管理)

- 第49条 本会の資産は会長が管理し、その方法は理事会の決議により別に定める。

(事業計画及び収支予算)

- 第50条 本会の事業計画、収支予算、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類（以下「予算書等」という。）については、毎事業年度の開始の前日までに、会長が作成し、理事会の決議により決定するものとする。これを変更する場合も同様とする。
- 2 予算書等については、通常総会に報告するものとする。
- 3 予算書等については、主たる事務所に当該事業年度が終了するまでの間備え置き、一般の閲覧に供するものとする。
- 4 予算書等については、毎事業年度の開始の日の前日までに宮崎県知事に提出しなければならない。

(事業報告及び決算)

- 第51条 本会の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、会長が次の書類を作成し、監事の監査を受けたうえで、理事会の承認を受けなければならない。
- (1) 事業報告
- (2) 事業報告の附属明細書
- (3) 貸借対照表

- (4) 正味財産増減計算書
- (5) 貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書
- (6) 財産目録
- (7) 資金調達及び設備投資の実績を記載した書類
- 2 前項の承認を受けた書類のうち、第1号、第3号、第4号及び第6号の書類については通常総会に提出し、第1号の書類についてはその内容を報告し、その他の書類については承認を受けなければならない。
- 3 第1項の書類のほか、次の書類は、主たる事務所に5年間備え置き、一般の閲覧に供するとともに、定款、正会員名簿を主たる事務所に備え置き、一般の閲覧に供するものとする。
 - (1) 監査報告
 - (2) 理事及び監事の名簿
 - (3) 理事及び監事の報酬等の基準を示した書類
 - (4) 運営組織及び事業活動の状況の概要及びこれらに関する数値のうち重要なものを記載した書類
- 4 第1項各号(第7号を除く。)及び前項各号の書類並びに正会員名簿は、当該事業年度経過後、3か月以内に宮崎県知事に提出しなければならない。
- 5 貸借対照表は、通常総会終結後遅滞なく公告するものとする。

(公益目的取得財産残額の算定)

第52条 会長は、公益社団法人及び公益財団法人等の認定等に関する法律施行規則第48条の規定に基づき、毎事業年度、当該事業年度の末日における公益目的取得財産残額を算定し、前条第3項第4号に定める書類に記載する。

(会計の規則等)

第53条 会計に関して必要な事項は、理事会の決議により別に定める。

第12章 定款の変更、合併及び解散等

(定款の変更)

- 第54条 この定款は、総会においてすべての正会員の3分の2以上の決議により、変更することができる。
- 2 認定法第11条第1項各号に掲げる事項に係る定款の変更(軽微なものを除く。)をしようとするときは、その事項の変更に付き、宮崎県知事の認定を受けなければならない。
- 3 前項以外の変更を行った場合は、遅滞なく宮崎県知事に届け出なければならない。

(合併等)

第55条 本会は、総会においてすべての正会員の3分の2以上の決議により、他の法人法上の法人との合併又は事業の全部譲渡を行うことができる。

(解散)

第56条 本会は、総会においてすべての正会員の3分の2以上の決議、その他法令で定められた事由により、解散する。

(公益目的取得財産残額の贈与)

第57条 本会が公益認定の取消しの処分を受けた場合又は合併により消滅する場合(その権利義務を承継する法人が公益法人であるときを除く。)において、認定法第30条第2項に規定する公益目的取得財産残額があるときは、これに相当する額の財産を当該公益認定の取消しの日又は当該合併の日から1か月以内に、総会の決議により、認定法第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

(残余財産の帰属)

第58条 本会が解散等により清算するときに有する残余財産は、総会の決議により、国若しくは地方公共団体又は認定法第5条第17号に掲げる法人であって租税特別措置法第40条第1項に規定する公益法人等に該当する法人に贈与するものとする。

第13章 公告

(公告方法)

第59条 本会の公告は、主たる事務所の公衆の見やすい場所に掲示する方法により行うものとする。

第14章 補 則

(委任)

第60条 この定款に定めるもののほか、本会の運営に必要な定款細則は、理事会の決議により別に定める。

附 則

- 1 この定款は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律(以下「整備法」という。)第106条第1項に定める公益法人の設立の登記を行った日から施行する。
- 2 整備法第106条第1項に定める特例民法法人の解散の登記と公益社団法人の設立の登記を行ったときは、第47条の定めにかかわらず、解散登記の日の前日を事業年度の末日とし、設立の登記の日を事業年度の開始日とする。なお、この場合において、第50条第1項の定めにかかわらず、後段の事業年度の予算等については、認定法第21条第1項かつこ書きの定めを適用する。
- 3 この法人の設立登記の日に就任する理事及び監事は、別紙役員名簿記載のとおりとする。
- 4 この法人の最初の会長は、境孝子とする。
- 5 この法人の最初の副会長は、瀬口チホ、田上文恵とする。
- 6 この法人の最初の常務理事は、林チエ子、松浦康代とする。

公益社団法人宮崎県看護協会定款細則

目次

第1章 総 則（第1条）
第2章 会 員（第2条～第5条）
第3章 役 員（第6条～第8条）
第4章 選 挙（第9条～第16条）
第5章 日本看護協会代議員及び予備代議員（第17条～第18条）
第6章 総 会（第19条～第20条）
第7章 理事会（第21条）
第8章 常任理事会（第22条～第24条）
第9章 職能委員会（第25条～第30条）
第10章 委員会（第31条～第40条）
第11章 推薦委員会（第41条）
第12章 事務局（第42条～第43条）
第13章 補 則（第44条）

第1章 総 則

（定款細則の目的）

第1条 この定款細則は、公益社団法人宮崎県看護協会（以下「本会」という。）定款第60条の規定に基づき、本会の運営に必要な事項を定める。

第2章 会 員

（入会の手続き）

第2条 正会員になろうとする者は、本会の指定する手続きにより、入会の申し込みをしなければならない。

2 前項の場合において、本会は入会の申込み及び会費の納入を受けたときは、正会員名簿に登録し日本看護協会と連携して会員証を交付しなければならない。この手続きは、入会の申込み及び会費の納入を受けた日の翌日から起算して30日以内に行わなければならない。

（会費）

第3条 正会員の会費は、日本看護協会の会費を含む1か年13,500円とし、そのうち8,500円を本会の会費とする。ただし、名誉会員及び他都道府県の看護協会から異動した会員の当該年度の会費は免除する。

2 会費は、本会の指定する日までに翌年度分を前納しなければならない。ただし、新入会員については会費納入期日はこの限りでない。

3 定款第10条第3号の規定により、会員資格を喪失した場合は、会費を徴収しないものとする。

4 いったん納入した会費は、原則として返還しない。

（退会の手続き）

第4条 会員が退会しようとするときは、会員証を添えて、退会届を本会会長に提出しなければならない。

2 本会は、定款第8条から第10条までの規定により会員資格

を喪失した会員について、正会員名簿の登録を抹消しなければならない。

（届出内容の変更）

第5条 会員が氏名、住所又は勤務地等を変更したときは、本会会長に届け出なければならない。

第3章 役 員

（理事の種別）

第6条 理事の種類は、会長、副会長、常務理事のほか、次のとおりである。

- （1）職能理事（保健師、助産師、看護師） 4名
 - （2）地区理事 10名以内
 - （3）准看護師理事 1名
- 2 前項の規定にかかわらず、定款第22条第1項第1号に定める範囲内において理事を置くことができる。
- 3 職能理事は職能委員長となる。

（役員の職務）

第7条 会長は、この法人を代表し業務を統括し、渉外に関して会を代表してその任にあたりと共に、日本看護協会法人会員の代表者としての職務を行う。また、理事会の議を経てすべての委員を任命する。（ただし、推薦委員を除く。）

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときはあらかじめ定められた順位により、その職務を代行する。

3 常務理事は、会長の旨を受けて担当業務を執行し、副会長に事故あるときはあらかじめ定められた順位によりその職務を代行する。

担当の委員会に出席し任務遂行上の助言を行い、常任理事会および理事会に委員会の活動状況を報告する。

4 職能理事は、担当職能委員会を掌握し、委員会活動の円滑な運営をはかる。理事会に出席し専門的な立場から会全般の発展に寄与すると共に、職能委員会の活動を報告する。また、日本看護協会の各職能委員長会に出席するものとする。

5 准看護師理事は、看護師職能委員会に属し、その立場から会全般の発展に寄与する。また、日本看護協会の全国准看護師代表者会議に出席するものとする。

6 地区理事は担当地区の委員を掌握し、地区並びに本会事業の推進をはかり、本会との連携を密にする。会員の質の向上をはかり、地域住民の保健衛生の普及及び福祉に寄与する。

（役員の推薦等）

第8条 推薦委員会の推薦については、次の各号により推薦するものとする。

- （1）会長、副会長、常務理事及び監事
- （2）職能理事（保健師、助産師から各1名、看護師から2名）
- （3）地区理事（地区毎に各1名）
- （4）准看護師理事 1名

(5)日本看護協会の代議員及び予備代議員 日本看護協会の指定した数

2 前項にいう地区とは、定款第45条第2項に定める別表の7地区をいう。(別表1参照)

第4章 選挙

(役員及び推薦委員の選出)

第9条 本会の役員及び定款第43条により設置された委員のうち推薦委員会委員の候補者は、推薦委員会が正会員(会員以外から選任する監事の場合は、会員以外の者)の中から推薦し、理事会の議を経て、総会において出席した正会員が選出する。

2 推薦委員が前項の候補者を正会員の中から推薦する場合は、本会正会員の勤務施設職能等を基礎として、客観的に公正厳正、効率的に配慮しなければならない。

3 推薦委員会は、同一役職について改選数以上の候補者を推薦しなければならない。

4 推薦委員会は、推薦名簿を選挙管理委員会に通常総会の1か月前までに送付しなければならない。

(選挙管理委員会)

第10条 総会議長は、総会において、正会員の中から次年度における選挙管理委員を定める。

2 選挙に関する規則は、理事会において別に定める。

(役員候補者)

第11条 役員に立候補しようとする者は、正会員5名以上の推薦を受けて選挙管理委員長に通常総会2か月前までに届け出なければならない。

2 選挙管理委員長は、役員の立候補者名と被推薦者名を、通常総会1か月前までに正会員に公表しなければならない。

(職能委員会選任の時期)

第12条 職能委員は、理事会において、半数を奇数年次(西暦)に、半数を偶数年次(西暦)に選任する。

(投票形式)

第13条 投票は記号を用い連記無記名でこれを行う。

(選挙の成立)

第14条 投票総数のうち半数以上が有効投票でなければ選挙は成立しない。

(当選)

第15条 役員の選任については、総会に出席した正会員の過半数の賛成を得た者の中から役職ごとに得票数の多い者を当選者とする。なお、得票数が同じであるときは議長がくじでこれを定める。

(選挙の規則)

第16条 総会に係る選挙に関する規則は、理事会において別に定める。

第5章 日本看護協会代議員及び予備代議員

(代議員の選出)

第17条 毎年の総会において日本看護協会代議員を正会員の中から選出する。

2 代議員になろうとする者は、通常総会期日の2か月前までに選挙管理委員長に届け出なければならない。

3 前項の立候補を行う者のほか、推薦委員会が代議員を副会長及び職能理事を含め正会員の中から推薦し、通常総会で決定する。

4 代議員の数は日本看護協会の指定した数とするが、看護師2名、保健師、助産師、准看護師より各1名選出し、これを超える代議員については職種を問わないものとする。

5 予備代議員は、代議員が欠けたとき又は事故がある場合に備えて、同程度選出して順序を付しておくものとする。

6 代議員及び予備代議員の任期は、1か年とする。但し再選は妨げない。

7 会長は、代議員の名簿を作成し、遅くとも前年度の2月末までに日本看護協会会長に報告するものとする。

(代議員の任務)

第18条 本会を代表して加入団体である日本看護協会総会に出席して選挙権及び議決権を行使する。

2 代議員は、本会正会員及び本会の意を体して日本看護協会総会に出席し、議決事項等の権限を行使した結果について本会に報告しなければならない。

第6章 総会

(開催期日)

第19条 通常総会は、毎年6月に開催する。ただし、やむを得ない事情のある場合は、理事会の決議により、4月又は5月に変更することができる。

(総会運営規則)

第20条 総会の運営に関し必要な事項は、理事会で審議し、総会の決議により別に定める

第7章 理事会

(審議事項)

第21条 理事会の審議事項は次のとおりとする。

- (1) 会務の処理に関する事項
- (2) 定款及び定款細則の変更に関する事項
- (3) 事業計画、収支予算案、事業報告に関する事項
- (4) 総会の開催日時及び総会提出議案に関する事項
- (5) 会長の委嘱する委員に関する事項
- (6) 必要ある場合の特別委員会の設置に関する事項

- (7) 資産を預ける金融機関の選定に関する事項
- (8) 年1回以上の公認会計士による会計帳簿に関する事項
- (9) その他理事会が必要と認めた事項

第8章 常任理事会

(構成)

第22条 常任理事会は、会長、副会長、常務理事で構成する。

(審議事項)

第23条 常任理事会は、会長が議長となる。

2 常任理事会は次の事項を処理する。

- (1) 会務の執行状況に関する事項
- (2) 委員会への諮問事項
- (3) 事業計画に関する事項
- (4) 理事会運営に関する事項
- (5) その他常任理事会が必要と認める事項

(招集)

第24条 会長が、必要と認めるときに招集することができる。

第9章 職能委員会

(構成)

第25条 定款第42条に規定する職能委員会は、委員各6名(委員長を含む)をもって構成する。ただし、看護師職能委員会は18名とし、うち准看護師は2名以内とする。

(職能委員の指名等)

第26条 職能委員は、委員長となる者を除き、各職能毎に理事会において選任し、会長が任命する。

2 前項の選任数及び選任方法は別途定める。

3 前項の看護師職のうち、准看護師数は2名以内とする。

(招集及び職能別集会)

第27条 職能委員会は定例的に会議を行なう。

2 職能委員会は、年1回会長の承認を経て、職能別集会を開催することができる。

3 委員長は、職能別集会の長となり委員はこの会の運営に当たる。

(小委員会)

第28条 職能委員会は、必要に応じて小委員会を設けることができる。

(職能委員の任期)

第29条 職能委員会の委員の任期は、2年とする。但し、補欠の職能委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 職能委員のうち、半数は、奇数年次(西暦)に、のこり半数は偶数年次(西暦)に選任し、再任は妨げない。ただし、職能委員は、選任後6年を超えて就任することはできない。

(職能委員会の記録)

第30条 職能委員会の議事については、その経過の要領及びその結果を記載した議事録を作成するものとする。

第10章 委員会

(職能委員会以外の委員会)

第31条 定款第43条の規定に基づき、本会に次の常任委員会を置く。

- (1) 推薦委員会
- (2) 教育委員会
- (3) 働き続けられる職場環境づくり推進委員会
- (4) 広報出版委員会

2 前項の各号に掲げる委員会のほかに、本会の事業を推進するため必要があるときは、理事会の決議を経て、特別委員会をおくことができる。

(委員会の任務)

第32条 常任委員会は、第30条第1項の委員会を各委員長が招集し、会務執行につとめる。

2 特別委員会は、専門事項に関する調査及び企画等、会長から諮問を受けた事項を審議する。

(委員長の理事会出席)

第33条 常任委員会の委員長は、必要に応じて理事会に出席することができる。但し、表決権は有しない。

(活動内容等)

第34条 各常任委員の活動目標及び活動内容は別に定める。

(常任委員の選任)

第35条 常任委員会の委員は(推薦委員を除く)、第30条の規定に従い、正会員の中から理事会で選任し、会長が委嘱する。

(常任委員の任期)

第36条 常任委員の任期は、2年とする。但し、補欠の常任委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 常任委員のうち、半数は、奇数年次(西暦)に、残り半数は偶数年次(西暦)に選任し、再任は妨げない。ただし、常任委員は、選任後6年を超えて就任することはできない。

3 前2項の規定にかかわらず、推薦委員の任期は、選任後1年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する通常総会の終結の時までとする。

(常任委員会の構成)

第37条 常任委員会は、次の委員数をもって構成し、そのうち1名を委員長とする。

- (1) 推薦委員会 6名
- (2) 教育委員会 12名
- (3) 働き続けられる職場環境づくり推進委員会 8名

- (4) 広報出版委員会 10名
- 2 委員長は、委員の互選による。

(常任委員会の開催及び招集)

第38条 常任委員会は、定例的に開催する。

- 2 常任委員会は委員長が招集し、その議長となる。

(常任委員会の記録)

第39条 常任委員会の議事については、その経過の要領及びその結果を記載した議事録を作成するものとする。

(特別委員会)

第40条 特別委員会は、常任委員会に準ずるものとする。

- 2 特別委員会は、任務が終了したときに解散する。

第11章 推薦委員会

(設置)

第41条 推薦委員会は、本会の役員及び推薦委員並びに日本看護協会の代議員及び予備代議員の改選に際し、その候補者の推薦に関する事項をつかさどる。

- 2 推薦委員は、総会において正会員から選任する。ただし、役員は、推薦委員を兼ねることができない。
- 3 推薦委員会は、候補者を推薦しようとするときは、予め本人の承諾を得て推薦しなければならない。

第12章 事務局

(理事会の決議を要する職員)

第42条 定款第44条第3項に規定する重要な職員とは、ナースセンター長及び在宅支援室長とする。

(就業及び給与)

第43条 職員の就業及び給与に関しては、理事会の決議により別に定める。

第13章 補則

(定款細則の変更)

第44条 この定款細則を変更しようとするときは、理事会の決議による。ただし、第3条第1項に定める会費の額を変更しようとするときは、総会の決議を得なければならない。

附則

(施行期日)

- 1 この細則は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第106条第1項に定める公益法人の設立の登記の日から施行する。

附則

- 1 この細則は、平成25年7月27日から施行する。

附則

- 1 この細則は、平成27年4月1日から施行する。

附則

- 1 この細則は、平成27年12月5日から施行する。(平成27年12月5日理事会議決)

附則

- 1 この細則は、平成28年4月1日から施行する。(平成28年1月23日理事会議決)

附則

- 1 この細則は、平成29年1月28日から施行する。(平成29年1月28日理事会議決)

附則

- 1 この細則は、平成29年4月22日から施行し、平成29年4月1日から適用する。(平成29年4月22日理事会議決)

附則

- 1 この細則は、令和2年7月18日から施行する。

附則

- 1 この規則は、令和3年4月1日から施行する。(令和3年2月27日理事会議決)

別表1 地区名

地区名	含まれる地域	
延岡・西臼杵地区	延岡市、高千穂町、 日之影町、五ヶ瀬町	4市町
日向・東臼杵地区	日向市、門川町、 諸塚村、椎葉村、 美郷町	5市町村
西都・児湯地区	西都市、高鍋町、新富町、 西米良村、木城町、 川南町、都農町	7市町村
宮崎・東諸県地区	宮崎市、国富町、綾町	3市町
都城・北諸県地区	都城市、三股町	2市町
小林・えびの・ 西諸県地区	小林市、えびの市、 高原町	3市町
日南・串間地区	日南市、串間市	2市
7地区	26市町村	

公益社団法人宮崎県看護協会 会館整備資金取扱規程

(目的)

第1条 公益社団法人宮崎県看護協会（以下「本会」という。）の保有する建物・機械設備等の補修や将来の会館建替並びに備品の更新及び会館管理等に要する資金は、正会員からの会館整備に係る資金（以下「整備資金」という。）を充てるものとし、整備資金の管理・運営に関してはこの規程による。

(整備資金の使途)

第2条 整備資金の使途は、次のものに限る。

- (1) 建物・機械設備及び備品等の減価償却費
- (2) 建物・機械設備及び備品等の法定検査費
- (3) 建物・機械設備及び備品等の維持補修に要する経費
- (4) 機械設備及び備品等の更新に要する経費
- (5) 会館管理に要する経費
- (6) その他本会の建物、機械設備等の価値を高める経費

(整備資金の額)

第3条 正会員は整備資金を納付するものとし、金額は1人あたり5万円とする。

(整備資金の使途の割合)

第4条 整備資金の使途の割合は、整備資金総額の2分の1以上を公益目的事業に充てるものとする。

(整備資金の納付方法)

第5条 整備資金の納付方法は、一括払い及び分割払いのいずれの方法でも差し支えないものとする。

(会計経理の基準)

第6条 整備資金に係る会計経理については、本会の会計処理規則の定めるところにより取り扱うものとする。

(事務)

第7条 整備資金の受け入れ事務は、本会事務局が行う。

(改廃)

第8条 この規程の改廃は、総会の決議を経て行うものとする。

(補則)

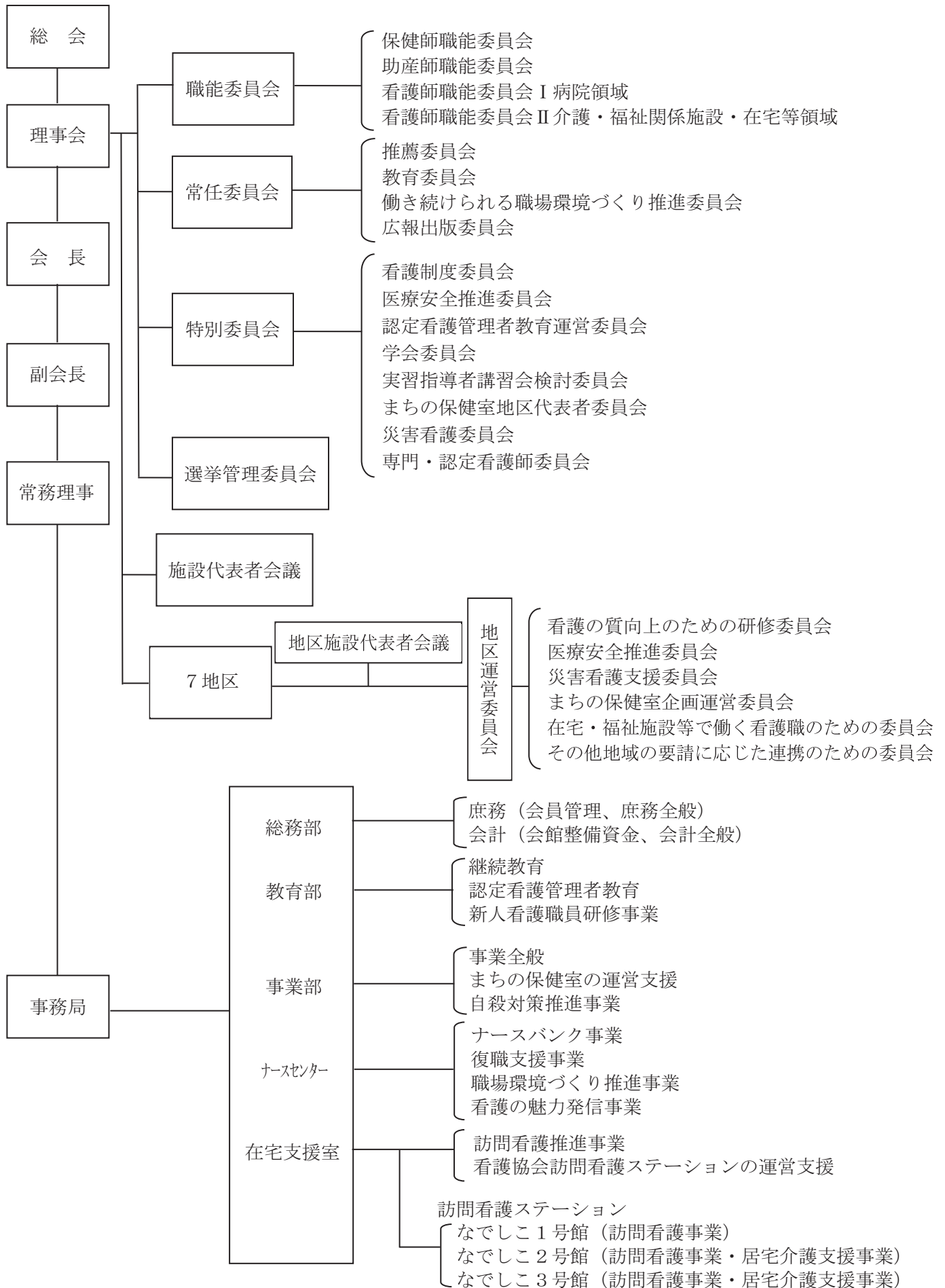
第9条 この規程の実施に関し必要な事項は、会長が理事会の承認を得て、別に定めるものとする。

附 則

この規程は、平成25年6月15日から施行し、平成25年4月1日から適用する。

公益社団法人 宮崎県看護協会組織図

(令和6年4月1日現在)



令和5年度 宮崎県看護協会役員・委員名簿

令和5年度 役員・職能委員

役員・委員会名		氏 名	施設・事業所名
会 長		中武 郁子	宮崎県看護協会
副会長		久保 敦子	宮崎大学医学部附属病院
副会長		田中 美幸	自宅
常務理事		又木 真由美	宮崎県看護協会
常務理事		橋満 升子	宮崎県看護協会
職能理事	保健師	☆ 蛭原 夕起子	宮崎県福祉保健部健康増進課
	助産師	田中 優子	古賀総合病院
	看護師Ⅰ	新名 麻理子	宮崎市郡医師会病院
	看護師Ⅱ	☆ 黒木 正樹	介護老人保健施設螢邑苑
地区理事	延岡・西臼杵地区	細元 みどり	伸和会延岡共立病院
	日向・東臼杵地区	☆ 富山 由美	和田病院
	西部・児湯地区	☆ 関原 昭吾	鶴田病院
	宮崎・東諸県地区	☆ 山下 千夏	南部病院
	都城・北諸県地区	井上 光子	国立病院機構都城医療センター
	小林・えびの・西諸県地区	☆ 弓削 尚美	野尻中央病院
	日南・串間地区	☆ 山中 ゆかり	愛泉会日南病院
准看護師理事		☆ 崎村 真由美	潤和会記念病院
監 事		蛭原 幸子	自宅
		黒木 千賀子	自宅
		三浦 洋司	三浦会計事務所
保健職能委員		村岡 涼子	宮崎県日南保健所
	☆	柳田 佳代	延岡市北方総合支所
		岩崎 恵子	宮崎県健康づくり協会
	★	戸敷 優子	宮崎市佐土原保健センター
		藤村 涼子	宮崎県福祉保健部医療政策課
助産職能委員		佐伯 理花	育生会井上病院
	☆	兒玉 朋希	宮崎市郡医師会病院
		天川 直子	宮崎大学医学部附属病院
		長友 優佳	宮崎県立宮崎病院
	☆	松本 友紀子	宮崎県立日南病院
看護職能委員Ⅰ		日高 栄美	和田病院
	☆	野邨 つぐみ	西都児湯医療センター
	☆	井上 めぐみ	宮崎県立宮崎病院
		中尾 登代子	けいめい記念病院
		横井 美香	野崎東病院
	☆	上森 妃美	都城市郡医師会病院
	☆	餅原 悦子	小林市立病院
	准	小森 みさき	三財病院
看護職能委員Ⅱ	☆	日野 亮司	訪問看護ステーション陽のひかり
		佐藤 幸代	訪問看護ステーションなでしこ日向
	☆	堀内 美智代	介護老人保健施設並木の里
		乙守 敦子	訪問看護ステーションーツ葉
		谷口 世志美	訪問看護ステーション優癒
	☆	小藺 美沙希	野尻中央病院(有料老人ホームジリーノ)
	☆	瀬戸口 麻美	訪問看護ステーション凜

令和5年度 常任委員

委員会名		氏 名	施設・事業所名
推薦委員	☆	高藤 ユキ	宮崎県日向保健所
	☆	山本 八千代	国民健康保険諸塚診療所
	☆	江藤 けさよ	迫田病院
	☆	高瀬 祐枝	慈英病院
	☆	中山 秋子	藤元病院
	☆	田中 茂子	春光会記念病院
教育委員	☆	河野 里美	伸和会延岡共立病院
		長曾我部 久美	和田病院
		田中 浩二	国立病院機構宮崎病院
	☆	三好 里美	宮崎生協病院
	☆	山田 恵美子	宮崎大学医学部附属病院
		千田 真実	鵬翔高等学校
	☆	谷口 孝英	井上病院
	☆	柳原 由美子	平和台病院
		藤浪 美穂	さがら病院宮崎
		久米田 律子	若草病院
	☆	岩崎 智子	国立病院機構都城医療センター
	★	有尾 貴子	整形外科前原病院
働き続けられる 推進委員 職場環境	☆	金澤 雅子	済生会日向病院
	☆	坂元 安恵	国立病院機構宮崎病院
	☆	小牟田 佐知子	宮崎生協病院
	☆	東原 美由紀	宮崎善仁会病院
	☆	亀澤 秀一	池井病院
	☆	中迫 伸一	大悟病院
	☆	藤村 涼子	宮崎県福祉保健部医療政策課
	☆	荒川 貴代美	県看護協会ナースセンター
広報出版委員		山崎 朱美	平田東九州病院
		濱口 節代	済生会日向病院
	☆	長友 寛子	西都児湯医療センター
	☆	本田 里美	竹内病院
	☆	米田 貴博	金丸脳神経外科病院
	☆	坂元 由美子	増田病院
		柄本 沙紀	慈英病院
		関之尾 里美	大悟病院
		芝元 由紀子	のじり地域包括支援センター
	☆	上田 麻衣子	日南市立中部病院

☆新役員・委員(再任を含む) 数字は在籍年数

★任期途中で辞任した役員・委員の後任

令和5年度 特別委員

委員 会名	氏 名	施 設 ・ 事業所
看護 制度 委員	門田 広美	延岡看護専門学校
	藤村 涼子	宮崎県福祉保健部医療政策課
	日高 明美	宮崎県立宮崎病院
	永野 秀子	宮崎県福祉保健部健康増進課
	濱寄 真由美	宮崎県立看護大学
	中武 郁子	宮崎県看護協会
医療安全 推進委員	鴨田 充世	延岡・西臼杵地区(延岡市医師会病院)
	阿部 裕子	日向・東臼杵地区(千代田病院)
	永友 聖敏	西都・児湯地区(鶴田病院)
	神田 久美子	宮崎・東諸県地区(宮崎大学医学部附属病院)
	船ヶ山 真由美	宮崎・東諸県地区(南部病院)
	外山 祥子	宮崎・東諸県地区(宮崎県立宮崎病院)
	山本 直美	宮崎・東諸県地区(潤和会記念病院)
	高佐 栄子	都城・北諸県地区(藤元総合病院)
	梅木 千恵	小林・えびの・西諸県地区(国民健康保険高原病院)
	黒木 美紀	日南・串間地区(串間市民病院)
認定看護 教育管理者 運営委員	井上 由紀子	野尻中央病院
	東 美代子	宮崎県病院局経営管理課
	井上 光子	国立病院機構都城医療センター
	比恵島 知子	フィオーレKOGA看護専門学校
	松田 聖美	済生会日向病院
	久保田 智美	宮崎大学医学部附属病院
	向井 ふさ子	宮崎県看護協会
	中島 由紀子	宮崎県看護協会
学会委員	鬼束 ひとみ	宮崎江南病院
	木添 茂子	宮崎県立看護大学
	宇和田 由美子	宮崎県立宮崎病院
	松本 憲子	宮崎県立看護大学
	濱砂 馨	宮崎大学医学部附属病院
	橋満 升子	宮崎県看護協会
実習 会 検 討 指 導 者 講 習 委員	門田 広美	延岡看護専門学校
	小川 淳子	日南看護専門学校
	児島 ゆかり	宮崎県立宮崎病院
	壹岐 さより	宮崎県立看護大学
	橋満 升子	宮崎県看護協会
災害 区 看護 代表 者 委員	富山 健司	延岡・西臼杵地区(延岡看護専門学校)
	成合 貴代	日向・東臼杵地区(済生会日向病院)
	橘田 志帆	西都・児湯地区(都農町国民健康保険病院)
	壹岐 由加利	宮崎・東諸県地区(宮崎市郡医師会病院)
	平松 真由美	都城・北諸県地区(藤元総合病院)
	橋爪 由美	小林・えびの・西諸県地区(小林市立病院)
	松田 菜緒子	日南・串間地区(串間市民病院)

委員 会名	氏 名	施 設 ・ 事業所
まちの 保健室 地区代表 者委員	古市 ミドリ	自宅
	蛭原 夕起子	保健師職能理事(宮崎県福祉保健部健康増進課)
	田中 優子	助産師職能理事(古賀総合病院)
	新名 麻理子	看護師職能Ⅰ理事(宮崎市郡医師会病院)
	黒木 正樹	看護師職能Ⅱ理事(介護老人保健施設螢邑苑)
	加藤 千鶴	延岡・西臼杵地区(延岡リハビリテーション病院)
	杉山 賞子	日向・東臼杵地区(千代田病院)
	丸岡 智子	西都・児湯地区(都農町国民健康保険病院)
	小牟田 佐知子	宮崎・東諸県地区(宮崎生協病院)
	今村 三千代	都城・北諸県地区(自宅)
	四元 瑞恵	小林・えびの・西諸県地区(小林市立病院)
	田中 澄子	日南・串間地区(自宅)
専門・ 委員 認定 看護 師	又木 真由美	宮崎県看護協会
	三輪 真砂子	宮崎大学医学部附属病院
	楠原 裕美子	古賀総合病院
	中内 健太	宮崎県立延岡病院
	鶴野 和代	宮崎市郡医師会病院
	田原 真美代	小林市立病院
	高須 順子	宮崎善仁会病院

令和5年度 選挙管理委員

氏 名	施 設 ・ 事業所
安藤優子	都農町役場
村岡涼子	宮崎県日南保健所
児玉朋希	宮崎市郡医師会病院
天川直子	宮崎大学医学部附属病院
野嶋つぐみ	西都児湯医療センター
横井美香	野崎東病院
安楽 泉	訪問看護ステーション優癒
瀬戸口麻美	訪問看護ステーション凜

令和5年度 各種事業に伴う委員会

【宮崎県ナースセンター事業運営委員会】

氏 名	団体名等
池井 義彦	宮崎県医師会
赤須 郁太郎	宮崎県医師会
石原 史絵	国立病院機構都城医療センター附属看護学校
小川 淳子	日南看護専門学校
柳田 俊彦	宮崎大学医学部看護学科
松下 理絵	訪問看護ステーション希星
和田 和代	宮崎公共職業安定所 所長
大山 晃代	社会福祉法人宮崎県社会福祉協議会 宮崎県福祉人材センター
益留 真由美	宮崎県保健師長会
徳地 清孝	宮崎県福祉保健部医療政策課
岩部 仁	宮崎善仁会病院
中武 郁子	宮崎県看護協会

【新人看護職員研修推進協議会】

氏 名	団体名等
池井 義彦	宮崎県医師会
比嘉 利信	国立病院機構宮崎東病院
長鶴 美佐子	宮崎県立看護大学
小川 淳子	日南看護専門学校
井上 由紀子	野尻中央病院
日高 明美	宮崎県立宮崎病院
新名 麻理子	宮崎市郡医師会病院
徳地 清孝	宮崎県福祉保健部医療政策課
松田 聖美	済生会日向病院
中武 郁子	宮崎県看護協会

【訪問看護推進協議会】

氏 名	団体名等
池井 義彦	宮崎県医師会
弓場 光泰	宮崎県歯科医師会
岩崎 恭子	宮崎県薬剤師会
中武 郁子	宮崎県看護協会
木場 圭一	宮崎県介護福祉士会
佐藤 幸代	宮崎県済生会訪問看護ステーション なでしこ日向
松下 理絵	訪問看護ステーション希星
崎田 聡美	なないろ訪問看護ステーション
福迫 千香	訪問看護ステーションひかり
日高 陽子	宮崎県介護支援専門員協会
楠木 千恵子	宮崎県栄養士会
川原 瑞代	宮崎県立看護大学
徳地 清孝	宮崎県福祉保健部医療政策課
島田 浩二	宮崎県福祉保健部長寿介護課

令和5年度 関係機関等への委員等の参画

役職等	名 称
会長	宮崎県総合計画審議会 宮崎県地域医療構想調整会議 宮崎県医療審議会 宮崎県医療審議会医療法人等部会 宮崎県薬事審議会 宮崎県医療介護推進協議会 宮崎県社会福祉審議会 宮崎県社会福祉審議会児童福祉専門分科会 宮崎県防災会議 宮崎県水防協議会 宮崎県国民健康保険運営協議会 宮崎県医療費適正化計画策定検討委員会 宮崎県国民保護協議会 宮崎県周産期医療協議会 宮崎県がん対策協議会 宮崎県肝疾患診療連絡協議会 宮崎県糖尿病対策推進会議 宮崎県立病院事業評価委員会 宮崎県地方独立行政法人評価委員会 宮崎県建築審査会 宮崎県キャリア教育推進会議 宮崎県医師会医療事故調査支援委員会 宮崎県訪問看護ステーション連絡協議会 第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会宮崎県準備委員会 宮崎市医療安全推進協議会 宮崎市防災会議 宮崎市立田野病院等運営協議会 宮崎市保健所運営協議会 宮崎市開発審査会 宮崎県社会福祉協議会評議員会 宮崎市社会福祉審議会 宮崎県プライマリ・ケア研究会 在宅医療研修会企画委員会委員 介護支援専門員ケアマネジメント向上支援事業に係る選考委員会 宮崎県移植推進財団理事会 日本医療マネジメント学会宮崎県支部理事会 日本社会医療学会
副会長	宮崎県献血推進協議会 宮崎県高齢者虐待防止連絡会議 宮崎県健康づくり推進協議会 宮崎市地域包括支援センター運営協議会 宮崎東諸県在宅医療介護連携推進協議会 慢性腎臓病対策推進会議（Mz-CKDI） 宮崎市国民保護協議会 宮崎県リウマチ研究会世話人会 宮崎県社会福祉事業団評議員会 「宮崎いのちの電話」理事会 宮崎県国民健康保険団体連合会保健事業支援・評価委員会
常務理事 （総務担当）	宮崎県感染症対策審議会 宮崎県感染症対策連携協議会 宮崎県医療審議会医療計画部会 宮崎県災害派遣精神医療チーム（DPAT）運営委員会 令和5年度大規模地震時医療活動訓練調整会議 宮崎県自殺対策推進協議会 宮崎県循環器病対策推進協議会 宮崎県難病対策協議会 宮崎県高齢者サービス総合調整推進会議 宮崎県アドバンス・ケア・プランニング推進委員会 宮崎県歯科保健推進協議会 宮崎東諸県認知症地域支援ネットワーク推進委員会 宮崎市高齢者・障がい者虐待防止ネットワーク運営委員会 宮崎市地域密着型サービス運営委員会 宮崎県国民健康保険団体連合会介護給付費審査委員会 宮崎県小児保健学会監事
常務理事 （教育担当）	宮崎県准看護師試験委員会 宮崎県立看護大学地域貢献等研究推進事業審査委員会 宮崎県立看護大学看護研究・研修センター運営協議会 「特定行為に係る看護師の研修制度」推進検討会 第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会宮崎県準備委員会「宿泊・衛生部門委員会」 外国人患者の受入れ環境整備推進協議会 ピンクリボン活動みやざき実行委員会 ピンクリボン活動みやざき企画委員会

役職等	名 称
常務理事 (教育担当)	ピンクリボン活動みやざき監事 宮崎県体育協会スポーツ医・科学委員会 宮崎県競技力向上対策本部コンディショニングサポート専門委員会委員 宮崎県ロコモティブシンドローム対策協議会 宮崎県医師会医療事故調査支援委員会 宮崎県プライマリ・ケア研究会学術広報委員会 宮崎リハビリテーション研究会世話人会 宮崎県健康長寿社会づくり推進会議
職能理事	宮崎県母子保健運営協議会 宮崎県保健師現任教育推進会議 宮崎県 HTLV-1 母子感染対策協議会
地区理事	延岡保健所運営協議会 延岡西臼杵地域医療構想調整会議 延岡市在宅医療介護推進協議会 日向保健所運営協議会 日向入郷医療圏地域医療構想調整会議 第 81 回国民スポーツ大会・第 26 回全国障害者スポーツ大会 日向市準備委員会 高鍋保健所運営協議会 西都児湯地域・職域連携推進協議会 西都児湯地域・職域連携推進協議部会 西都児湯地域自殺対策推進協議会 西都児湯二次医療圏地域医療構想調整会議 宮崎東諸県地域医療構想調整会議 中央保健所運営協議会 宮崎市感染症予防計画策定協議会 第 81 回国民スポーツ大会宮崎市準備委員会 都城保健所運営協議会 都城北諸県地域・職域連携推進協議会 都城北諸県地域医療構想調整会議 都城市介護保険運営協議会 都城市防災会議 都城北諸県地域自殺対策協議会 第 81 回国民スポーツ大会・第 26 回全国障害者スポーツ大会 都城市準備委員会 都城市・三股町医療・介護連携推進協議会 西諸地域・職域連携推進協議会 西諸地域・職域連携推進協議会作業部会 小林保健所運営協議会 西諸地域医療構想調整会議 西諸地域自殺対策協議会 第 81 回国民スポーツ大会えびの市準備委員会 日南保健所運営協議会 日南串間地域・職域連携推進協議会 日南串間地域医療構想調整会議 健康にちなん 21 推進会議 日南市在宅医療・介護連携推進協議会 日南市地域包括支援センター運営協議会 日南市地域密着型サービス運営会議 日南市地域ケア推進協議会 日南市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画委員会 第 81 回国民スポーツ大会・第 26 回国民障害者スポーツ大会日南市準備委員会 串間市在宅医療介護連携推進協議会
ナースセンター長	宮崎県医療勤務環境改善支援センター運営協議会 ひなたの出逢い・子育て応援運動「子育て応援部会」 みやざき医療・福祉分野人材確保対策推進協議会
在宅支援室長	宮崎県障がい者虐待防止・権利擁護連絡会議 宮崎県介護人材確保推進協議会 宮崎県訪問看護ステーション連絡協議会 宮崎県介護支援専門員研修向上委員会
会員	宮崎県精神医療審査会 宮崎東諸県地域介護認定審査会 宮崎市障がい程度区分認定審査会 都城市地域介護認定審査会 日南串間地域介護認定審査会 日南市串間地区障害支援区分等認定審査会 宮崎県医師会在宅医療協議会
事務局長	宮崎県防災会議幹事 宮崎県国民保護協議会幹事 宮崎市国民保護協議会幹事 宮崎市高齢者福祉計画等推進協議会

令和5年度関係団体の後援

	名称	主催	期日
1	第11回呼吸療法勉強会	宮崎県呼吸療法ネットワーク世話人会	令和5年6月24日
2	第63回宮崎県精神保健福祉大会	第63回宮崎県精神保健福祉大会実行委員会	令和5年10月14日
3	みやざき“いのちのリレー”ポスターコンテスト	公益財団法人宮崎県移植推進財団	令和5年7月24日～9月8日 表彰式：令和5年10月29日 展示：令和5年10月～
4	令和5年度公益社団法人宮崎県スポーツ協会認定アスレティックトレーナー育成講習会	公益財団法人宮崎県スポーツ協会	令和5年7月～10月
5	令和5年度公益社団法人宮崎県スポーツ協会認定アスレティックトレーナー養成講習会検定試験	公益財団法人宮崎県スポーツ協会	令和5年11月5日
6	第11回市民フォーラム	国立病院機構都城医療センター	令和5年9月9日
7	第34回宮崎県糖尿病教育セミナー	宮崎県糖尿病懇話会	令和5年9月3日
8	秋の「すいみんの日」宮崎県民公開講座2023	エーザイ株式会社	令和5年9月3日
9	令和5年度日本肝臓学会肝がん撲滅運動市民公開講座	日本肝臓学会市民公開講座宮崎県責任者	令和5年10月28日
10	腎臓移植フォーラム2023inみやざき	一般社団法人宮崎県腎臓病協議会	令和5年10月29日
11	第30回都城緩和ケア研究会	都城緩和ケア研究会	令和5年11月11日
12	令和5年度第11回宮崎県輸血懇話会	宮崎県赤十字血液センター	令和5年10月21日
13	第28回宮崎県理学療法学会	第28回宮崎県理学療法学会	令和5年12月3日
14	日本社会医療学会第24回学術大会	日本社会医療学会	令和5年10月28日～29日
15	シンポジウム「つながろうみんなのいのち」～重度障がい児（者）と医療的ケア児（者）の暮らしを支えるために～	社会福祉法人キャンパスの会	令和5年11月5日
16	日本医療マネジメント学会第16回宮崎県支部学術集会	日本マネジメント学会第16回宮崎県支部学術会	令和6年2月3日
17	第18回宮崎県作業療法学会	一般社団法人宮崎県作業療法士会	令和5年12月17日 令和5年12月1日～30日（オンライン）
18	令和5年度一般社団法人宮崎県介護支援専門員協会研究大会	一般社団法人宮崎県介護支援専門員協会	令和6年2月12日
19	ウィルス性肝炎領域における宮崎県医療安全講習会	宮崎県福祉保健部健康増進課	令和5年11月15日
20	第10回日本医療安全学会学術総会	一般社団法人日本医療安全学会	令和6年4月13日～14日
21	第13回2024年度「在宅を支える多職種交流会」	宮崎キュアケアネットワーク	令和6年5月25日
22	宮崎県認知症高齢者グループホーム連絡協議会設立20周年記念講演会	宮崎県認知症高齢者グループホーム連絡協議会	令和6年3月16日

※令和5年度に承諾した事業を記載

令和 6 年度日本看護協会代議員予備代議員名簿

番号	代議員・予備代議員区分	氏 名	職能別	役職等
1	代議員	久保 敦子	助産師	副会長
2	代議員	又木 真由美	保健師	常務理事
3	代議員	田中 美幸	保健師	副会長
4	代議員	田中 優子	助産師	助産師職能理事
5	代議員	新名 麻理子	看護師	看護師職能Ⅰ理事
6	代議員	黒木 正樹	看護師	看護師職能Ⅱ理事
7	代議員	崎村 真由美	准看護師	准看護師理事
8	代議員	山下 千夏	看護師	宮崎・東諸県地区理事
9	代議員	富山 由美	看護師	日向・東臼杵地区理事
予備1	予備代議員	橋満 升子	看護師	常務理事
予備2	予備代議員	藤村 涼子	保健師	保健師職能委員
予備3	予備代議員	長友 優佳	助産師	助産師職能委員
予備4	予備代議員	佐伯 理花	助産師	助産師職能委員
予備5	予備代議員	中尾 登代子	看護師	看護師職能委員（Ⅰ領域）
予備6	予備代議員	谷口 世志美	看護師	看護師職能委員（Ⅱ領域）
予備7	予備代議員	小森 みさき	准看護師	看護師職能委員（Ⅰ領域）
予備8	予備代議員	弓削 尚美	看護師	小林・えびの・西諸県地区理事
予備9	予備代議員	山中 ゆかり	看護師	日南・串間地区理事

令和6年度入会施設一覧（令和6年4月30日現在：7,180 名）

延岡・西臼杵地区（延岡市、高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町） 746 名

施 設 名	電話番号	代表者氏名	〒	住 所	入会者数	
					R6. 4. 30 現在	R5年度
宮崎県延岡保健所	0982-33-5373	会員代表者	882-0803	延岡市大貫町1-2840	9	10
延岡市役所	0982-22-7014	日高隆一	882-8686	延岡市東本小路2-1	0	3
北部福祉こどもセンター	0982-35-1700	会員代表者	882-0803	延岡市大貫町1-2845	1	1
宮崎県高千穂保健所	0982-72-2168	藺田成央	882-1101	西臼杵郡高千穂町三田井1086-1	1	4
日之影町保健センター	0982-73-7521	会員代表者	882-0401	西臼杵郡日之影町七折9074-3	0	2
旭化成(株)健康経営推進室延岡経営支援センター	0982-22-2928	赤木真希子	882-0847	延岡市旭町6-4100-1	5	4
旭化成健康保健組合	0982-22-2940	会員代表者	882-0847	延岡市旭町2-1-3	3	3
訪問看護ステーションそれいゆ	0982-31-1442	稲垣澄子	882-0851	延岡市浜砂1-5-6	3	1
訪問看護ステーション陽のひかり	0982-20-5085	日野亮司	882-0862	延岡市浜町408-28浜アネックス102号	4	2
訪問看護ステーションあいの環	0982-40-3669	高橋大樹	882-0021	延岡市無鹿町1丁目2233	2	0
訪問看護ステーションひとしずく	0982-29-3903	会員代表者	882-0864	延岡市塩浜町2丁目1858番7	1	0
訪問看護事業所あたご	0982-26-7578	黒木健次	882-0846	延岡市中島町4丁目314-3	2	2
介護老人保健施設のべおか老健あたご	0982-34-7575	会員代表者	882-0846	延岡市中島町4丁目314-3	1	1
介護老人保健施設エクセルライフ	0982-32-1550	高橋秀臣	882-0803	延岡市大貫町1-2850-1	1	1
介護老人保健施設蛭邑苑	0982-46-2295	黒木正樹	889-0101	延岡市北川町川内名7055-2	1	1
特別養護老人ホームひえいの郷	0982-47-2266	会員代表者	882-0125	延岡市北方町川水流卵1810-86	1	1
高千穂町養護老人ホームときわ園	0982-73-3001	会員代表者	882-1413	西臼杵郡高千穂町田原1071-1	1	0
宮崎県立延岡病院	0982-32-6181	小泉さなえ	882-0835	延岡市新小路2丁目1-10	365	367
延岡市医師会病院	0982-21-1302	鴨田充世	882-0856	延岡市出北6丁目1621	38	46
伸和会延岡共立病院	0982-33-3268	山本いづみ	882-0037	延岡市山月町5丁目5679-1	54	54
早田病院	0982-33-5577	梅田政子	882-0042	延岡市高千穂通3748-1	29	34
黒木病院	0982-21-6381	柳田志乃	882-0041	延岡市北小路14-1	30	37
延岡リハビリテーション病院	0982-21-6211	加藤千鶴	882-0854	延岡市長浜町1-1777	42	42
育生会井上病院	0982-21-5110	木村 祥子	882-0866	延岡市平原町1-990-1	12	13
平田東九州病院	0982-37-5959	会員代表者	889-0503	延岡市伊形町4791	32	37
介護老人保健施設トトロみのる園	0982-37-3336	会員代表者	889-0516	延岡市鯛名町422-9		
吉田病院	0982-37-0126	甲斐美和子	889-0511	延岡市松原町4丁目8850	4	3
谷村病院	0982-33-3024	会員代表者	882-0041	延岡市北小路10-2	3	3
黒瀬病院	0982-21-2558	会員代表者	882-0867	延岡市構口町2-123	1	1
岡村病院	0982-21-5353	甲斐和子	882-0866	延岡市平原町1-1389-1	3	5
延岡保養園	0982-33-6396	奈須満子	882-0863	延岡市緑ヶ丘5丁目14番地30号	1	1
日之影町国民健康保険病院	0982-87-2021	桐木志穂	882-0401	西臼杵郡日之影町大字七折9074-3	13	20
高千穂町国民健康保険病院	0982-73-1700	飯干隆幸	882-1101	西臼杵郡高千穂町三田井435-1	54	58
国見ヶ丘病院	0982-72-3151	甲斐邦宏	882-1102	西臼杵郡高千穂町大字押方1130	7	9
五ヶ瀬町国民健康保険病院	0982-73-5500	会員代表者	882-1203	西臼杵郡五ヶ瀬町三ヶ所2109-1	1	1
米田脳神経外科	0982-33-7766	会員代表者	882-0857	延岡市惣領町3-19	3	7
おがわクリニック	0982-31-3121	会員代表者	882-0803	延岡市大貫町2丁目1206-1	9	11
おおぬきクリニック	0982-28-1533	会員代表者	882-0803	延岡市大貫町2-1236		
プレストセンターさがらクリニック延岡	0982-33-0355	会員代表者	882-0836	延岡市恒富町4-26	5	5
生協クリニックのべおか	0982-26-7100	会員代表者	882-0851	延岡市浜砂1-5-17	3	4
あたご整形外科	0982-22-7575	会員代表者	882-0872	延岡市愛宕町3丁目161	1	1
大貫診療所	0982-33-1855	会員代表者	882-0803	延岡市大貫町3丁目754-1	0	1
石井皮膚科	0982-28-1112	会員代表者	882-0855	延岡市卸本町2-19	0	0

日向・東臼杵地区（日向市、門川町、諸塚村、椎葉村、美郷町） 454 名

施 設 名	電話番号	代表者氏名	〒	住 所	入会者数	
					R6. 4. 30 現在	R5年度
宮崎県日向保健所	0982-52-5101	上原千枝	883-0041	日向市北町2-16	9	9
日向市役所	0982-52-2111	会員代表者	883-0045	日向市本町10-5	1	0
椎葉村総合保健センター	0982-68-7510	会員代表者	883-1601	東臼杵郡椎葉村大字下福良1762-1	2	2
永寿園介護支援センター	0982-50-1223	会員代表者	883-0034	日向市大字富高546-1	1	1
NPO法人あったかほーむ愛あい	0982-66-0501	会員代表者	883-0021	日向市財光寺2939-8	1	1
ケアプランセンターひなた	0982-54-2245	会員代表者	883-0015	日向市永江町3-82東側	0	1
日本救急システム株式会社	0982-60-3731	会員代表者	889-0901	東臼杵郡美郷町北郷字納間401	0	1
日向市東臼杵郡医師会立訪問看護ステーション	0982-54-7770	寺西恭子	883-0052	日向市鶴町1-6-2	2	2
訪問看護ステーションあやめ	0982-66-6004	会員代表者	883-0021	日向市財光寺972番地10	1	1
訪問看護ステーションにちりん	0982-60-1840	会員代表者	883-0062	日向市日知屋16751	0	1
かかりつけ訪問看護ステーションふた葉	0982-95-0155	会員代表者	883-0012	日向市江良町4-81柏田テナント1階北側号室	0	1
介護老人保健施設メディケア盛年館	0982-53-8788	黒木志伸	883-0051	日向市向江町1-196-2	7	7
特別養護老人ホーム牧水園	0982-69-3355	酒井やつ子	883-0102	日向市東郷町山陰丙1422-2	1	1
特別養護老人ホーム立縫の里	0982-58-1100	会員代表者	889-1111	日向市美々津町4074	1	1
千代田病院	0982-52-7111	水永豊子	883-0064	日向市大字日知屋字古田町88番地	145	151
和田病院	0982-52-0011	富山由美	883-0051	日向市向江町1-196-1	87	104
協和病院	0982-54-2806	甲斐泰幸	883-0021	日向市財光寺1194-3	9	8
三股病院	0982-58-0034	高見多恵	889-1111	日向市美々津町3870	12	14
瀧井病院	0982-52-2409	兒玉るみ子	883-0033	日向市塩見11652	1	1
今給黎医院	0982-54-2459	前田明美	883-0021	日向市財光寺2864-3	8	10
済生会日向病院	0982-63-1321	松田聖美	889-0692	東臼杵郡門川町南町4丁目128番地	128	140
椎葉村国民健康保険病院	0982-67-2008	椎葉睦美	883-1601	東臼杵郡椎葉村大字下福良1747-5	18	20
美郷町国民健康保険西郷病院	0982-66-3141	美麻美佐	883-1101	東臼杵郡美郷町西郷区田代29	2	4
森迫胃腸科内科	0982-63-2048	会員代表者	889-0601	東臼杵郡門川町須賀崎1-40-1	1	1
日向市立東郷診療所	0982-69-2013	池田かおり	883-0102	日向市東郷町大字山陰1412-1	7	10
国民健康保険諸塚診療所	0982-65-0140	三浦繁光	883-1301	東臼杵郡諸塚村家代3063番地	10	12

西都・児湯地区（西都市、高鍋町、新富町、西米良村、木城町、川南町、都農町） 343 名

施 設 名	電話番号	代表者氏名	〒	住 所	入会者数	
					R6. 4. 30 現在	R5年度
宮崎県高鍋保健所	0983-22-1330	井手 香	884-0004	児湯郡高鍋町大字蚊口浦5120-1	7	9
都農町役場	0983-25-1008	安藤優子	889-1201	児湯郡都農町大字川北4874-2	2	2
新富町役場	0983-33-6059	押川美香	889-1493	児湯郡新富町大字上富田7491	1	1
西米良役場	0983-36-1114	会員代表者	881-1411	児湯郡西米良村村所15	1	0
訪問看護ステーション湯癒亭	0983-47-0588	会員代表者	889-1302	児湯郡川南町大字平田字垂門2379番地1	3	2
ひまわり訪問看護ステーション	0983-43-2431	中村嘉代子	881-0016	西都市御舟町1-93-2	4	4
訪問看護ステーションLife	0983-26-6002	会員代表者	884-0102	児湯郡木城町椎木出店4646番地2	2	3
訪問看護ステーション花ほたる	0983-27-3370	財満ひろみ	889-1302	児湯郡川南町大字平田1428-8	3	3
介護老人保健施設 並木の里	0983-44-6066	会員代表者	881-0113	西都市下三財8124-8	7	7
介護老人保健施設「菜花園」	0983-42-1122	会員代表者	881-0026	西都市穂北東原5253-4	0	2
鶴田クリニックデイケア	0983-42-3755	会員代表者	881-0016	西都市御舟町1-55	3	3
医療法人 隆徳会あさひデイサービスセンター	0983-41-1136	会員代表者	881-0031	西都市旭1-55	0	2
ケアホームこころみ	0983-25-5537	会員代表者	889-1201	児湯郡都農町大字川北16975-3	0	1
医療法人 仁徳会 渡辺産婦人科	0982-57-1011	会員代表者	883-0022	日向市平岩718	1	1
地方独立行政法人 西都児湯医療センター	0983-42-1113	清水恵子	881-0033	西都市大字妻1550	45	47
鶴田病院	0983-42-3711	関原昭吾	881-0016	西都市御舟町1-78	53	73
三財病院	0983-44-5221	会員代表者	881-0113	西都市下三財3378	9	9
西都病院	0983-43-0143	釘崎信	881-0023	西都市調殿1010	31	34
大塚病院	0983-43-0016	中尾真季	881-0016	西都市御舟町2-45	9	12

施 設 名	電話番号	代表者氏名	〒	住 所	入会者数	
					R6. 4. 30 現在	R5年度
都農町国民健康保険病院	0983-25-1031	海野澄子	889-1201	児湯郡都農町大字川北5202	25	31
独立行政法人国立病院機構宮崎病院	0983-27-1036	大野美穂	889-1301	児湯郡川南町大字川南19403-4	37	45
川南病院	0983-27-4111	会員代表者	889-1301	児湯郡川南町大字川南18150-47	5	5
海老原総合病院	0983-23-1111	佐藤裕見子	884-0006	児湯郡高鍋町大字上江堂ヶ瀬207	88	98
坂田病院	0983-22-3426	会員代表者	884-0006	児湯郡高鍋町上江8108	0	3
おおやまこどもクリニック	0983-32-8303	南聖子	889-1413	児湯郡新富町富田西2-2-1	3	5
国民健康保険西米良診療所	0983-36-1031	浜砂明美	881-1411	児湯郡西米良村村所66-1	1	1
東米良診療所	0983-46-2335	会員代表者	881-1123	西都市中尾小崎171-9	1	2
内田医院	0983-23-0041	会員代表者	884-0002	児湯郡高鍋町大字北高鍋784	2	2

宮崎・東諸県地区（宮崎市、国富町、綾町） 3,640 名

施 設 名	電話番号	代表者氏名	〒	住 所	入会者数	
					R6. 4. 30 現在	R5年度
宮崎県福祉保健部健康増進課	0985-26-7078	蛭原夕起子	880-8501	宮崎市橘通東2-10-1	19	15
宮崎県福祉保健部医療政策課	0985-26-7450	会員代表者	880-8501	宮崎市橘通東2-10-1		
宮崎県福祉保健部障がい福祉課	0985-32-4471	古川真帆	880-8501	宮崎市橘通東2-10-1		
宮崎県福祉保健部長寿介護課	0985-44-2605	会員代表者	880-8501	宮崎市橘通東2-10-1		
宮崎県中央保健所	0985-28-2111	武田靖子	880-0032	宮崎市霧島1-1-2	8	8
宮崎県精神保健福祉センター	0985-27-5663	会員代表者	880-0032	宮崎市霧島1-1-2	2	2
宮崎県病院局経営管理課	0985-26-0224	会員代表者	880-8501	宮崎市橘通東1丁目9-10	2	2
宮崎県総務事務センター健康管理担当	0985-26-7013	会員代表者	880-0805	宮崎市橘通東2-10-1	2	2
宮崎県警察本部警務部厚生課	0985-31-0110	甲斐麻子	880-8509	宮崎市旭1-8-28	2	2
宮崎県難病相談・支援センター	0985-31-3414	会員代表者	880-0007	宮崎市原町2-22	1	1
宮崎県身体障害者相談センター	0985-29-2556	会員代表者	880-0032	宮崎市霧島1-1-2	1	0
宮崎市役所	0985-42-6442	会員代表者	880-0001	宮崎市橘通西1-1-1	21	22
宮崎市保健所	0985-29-4102		880-0879	宮崎市宮崎駅東1丁目6-2		
宮崎市総合発達支援センター	0985-21-1616	会員代表者	880-0834	宮崎市新別府町久保田657-4	1	1
中央福祉こどもセンター	0985-26-1551	会員代表者	880-0032	宮崎市霧島1-1-2	0	1
国富町保健センター	0985-75-3553	会員代表者	880-1101	東諸県郡国富町本庄4991	4	4
宮崎県健康づくり協会	0985-27-2684	岩崎恵子	880-0032	宮崎市霧島1-1-2	2	3
九州電力宮崎支店	0985-26-9164	西尾仁美	880-8544	宮崎市橘通西4-2-23	0	2
訪問看護ステーションなでしこ2号館	0985-30-1876	那須聡子	880-0211	宮崎市佐土原町大字下田島12220-9	8	7
訪問看護ステーションなでしこ3号館	0985-55-6712	中村久美	889-1604	宮崎市清武町船引644-62新町橋レジデンス 1F	9	9
訪問看護ステーションーツ葉	0985-64-8195	斎藤由美子	880-0834	宮崎市新別府町江口950-1	10	13
訪問看護ステーション夢	0985-88-1683	会員代表者	880-2112	宮崎市大字小松260番地	1	1
訪問看護ステーションなんぶ	0985-78-5808	会員代表者	880-0925	宮崎市大字本郷北方字津和田3373-1	7	7
訪問看護ステーションこみどり	0985-58-3311	中瀬サチエ	889-2151	宮崎市大字熊野470-2	1	1
訪問看護ステーションやわらぎ	0985-48-0316	西橋富美江	880-2112	宮崎市大字小松1119	0	12
城ヶ崎訪問看護ステーションなのはな	0985-51-6800	細川優子	880-0917	宮崎市城ヶ崎3-2-1	4	4
みやざき訪問看護ステーション	0985-32-7070	横由香理	880-0003	宮崎市高松町2-16	2	3
訪問看護ステーションれいんぼう	0985-23-7728	森 琴絵	880-0023	宮崎市和知川原2-25-1	7	6
訪問看護ステーション希星	0985-30-6601	松下理絵	880-1102	東諸県郡国富町大字宮王丸154-8	1	1
古賀訪問看護ステーションあおぞら	0985-39-8127	久保孝子	880-0041	宮崎市池内町数太木1763-3	12	12
訪問看護ステーションのびやか	0985-62-0811	外園 亨	880-0837	宮崎市村角町北田134-6	4	3
訪問看護ステーション葵	0985-89-5535	長友妙子	880-2111	宮崎市大字柏原425-1階	1	1
訪問看護ステーションらふたーらいふ	0985-35-7410	中武悦子	880-0056	宮崎市神宮東2-3-55河崎ビル203	1	1
訪問看護ステーションぱりおん	0985-72-8787	会員代表者	880-0805	宮崎市橘通東3-1-31	4	2
こどもとおとなの訪問看護 ろけっと★ステーション	0985-89-4717	坂本郁代	880-2101	宮崎市跡江665	4	5
訪問看護ステーション結	0985-78-3588	中角美子	880-0942	宮崎市生目台東1丁目20番地3沖田ビル1F	5	7
住吉慶明会訪問看護ステーション (R5. 5. 31休止)	0985-89-0255	会員代表者	880-0121	宮崎市島之内6719-1オーシャンハイツ101	0	4
訪問看護ステーションおあふ	0985-69-6538	梅原敏行	889-1613	宮崎市清武町西新町11-3	2	1

施 設 名	電話番号	代表者氏名	〒	住 所	入会者数	
					R6. 4. 30 現在	R5年度
ココロとカラダのリハビリステーションほのか	0985-64-9950	四井信秀	889-1612	宮崎市清武町岡1-14-4	3	2
訪問看護ステーションあいこ	0985-55-0575	会員代表者	880-0951	宮崎市大塚町窪田3326-202	0	1
訪問看護ステーションCalm	0985-72-9844	会員代表者	880-0854	宮崎市一の宮町79サンターの宮101	1	1
訪問看護リハビリステーションはんもつく	0985-41-5657	会員代表者	880-0916	宮崎市恒久4769-16	0	1
訪問看護ステーションハビネス	0985-78-3393	会員代表者	880-0916	宮崎市大字恒久1182-4	1	1
訪問看護ステーション翔	0985-65-7010	佐師マキ	880-0925	宮崎市本郷北方2708	2	1
宮崎生協病院訪問看護ステーション（R5.6休止）	0985-24-6531	会員代表者	880-0824	宮崎市大島町天神前1171	0	3
太陽訪問看護リハビリステーション宮崎	0985-33-9758	会員代表者	880-0941	宮崎市北川内町内ノ野5160	0	1
訪問看護ステーション オハナ	0985-77-8803	会員代表者	880-0035	宮崎市下北方町5774-1	0	1
あいず訪問看護ステーション宮崎	0985-67-5088	会員代表者	880-0951	宮崎市大塚町乱橋4551-1ユーワホームズ本社ビル1階	1	2
訪問看護ステーションすずり	0985-40-2280	会員代表者	880-0907	宮崎市淀川3-10-12日高ビル1階	3	3
訪問看護ステーションGLEEE	0985-78-4208	会員代表者	880-0832	宮崎市稗原町19番地	3	0
セントケア訪問看護ステーション宮崎	0985-31-4351	宮島由美	880-0024	宮崎市祇園2丁目23番地2	2	1
訪問看護ステーション夢紡ぎ	0985-89-6003	会員代表者	880-0913	宮崎市恒久3丁目30番地24	3	2
訪問ケア・ステーションにじ	0985-69-8411	会員代表者	889-1613	宮崎市清武町西新町11-6エスベランザ清武103	3	3
訪問看護ステーション笑歩みやざき	0986-38-5568	会員代表者	880-0904	宮崎市中村東1-135アバンス大淀2階	0	1
きざケア訪問看護リハビリステーション	0985-71-1600	長友真弓	880-0872	宮崎市永楽町77田野ビル203	4	0
訪問看護ステーションTOMO宮崎	0985-20-2727	福田沙織	880-0835	宮崎市阿波岐原町前浜4276-673	2	0
訪問看護ステーションaika	0985-34-9420	黒木章太	880-0824	宮崎市大島町馬場尻1898-1	0	0
☆在宅看護☆すてら	050-55274-2000	阿部満智子	880-0927	宮崎市源藤町原田368-1串間ビル401	1	1
訪問看護ステーションたすと	0985-78-2321	会員代表者	880-0853	宮崎市中西町165-1	1	0
OUR訪問看護ステーション	0985-77-8266	会員代表者	880-0036	宮崎市花ヶ島町南赤江町2096-1-2F	1	0
訪問看護ステーション真ごころ	0985-65-7738	会員代表者	880-0907	宮崎市淀川3丁目3-11日栄コーポ205	1	0
訪問看護ステーション燦久寿	0985-71-0755	会員代表者	880-2112	宮崎市小松301-1	1	0
訪問看護ステーションゆずり葉	0985-86-8210	会員代表者	880-0124	宮崎市新名爪4450-1	0	0
コンパス訪問看護宮崎	0985-71-2291	会員代表者	880-0055	宮崎市南花ヶ島町331-1	1	0
一般社団法人レイール	090-6490-1880	会員代表者	880-0927	宮崎市源藤町原田368-1串間ビル203	1	1
宮崎市東大宮地区地域包括支援センター	0985-22-0808	会員代表者	880-0824	宮崎市大島町本村202-2	0	1
中央東・楳北地区地域包括支援センター	0985-60-0828	黒木克伸	880-0834	宮崎市新別府町久保田683番地1	1	2
宮崎市郡医師会地域包括ケア推進センター	0985-77-9106	会員代表者	880-2102	宮崎市大字有田1173宮崎市郡医師会病院1階	2	2
特別養護老人ホーム悠楽園	0985-47-5377	会員代表者	880-2102	宮崎市大字跡江2366	1	1
特別養護老人ホームしらふじ	0985-41-0012	会員代表者	880-2231	宮崎市糸原400	1	1
介護老人保健施設サンヒルきよたけ	0985-84-0333	会員代表者	889-1601	宮崎市清武町木原5886-16	6	9
介護老人保健施設シルバークケア野崎	0985-28-6555	会員代表者	880-0837	宮崎市村角町高尊2105	6	6
介護老人保健施設ひむか苑	0985-47-3434	坂本加代子	880-2112	宮崎市大字小松1158	14	14
介護老人保健施設春草苑	0985-39-8899	宮永由美	880-0041	宮崎市池内町数太木1749-1	9	10
介護老人保健施設あおしまのいえ	0985-65-1122	会員代表者	889-2162	宮崎市青島4-6-3	1	3
軽費老人ホームコーボ住吉荘	0985-39-6336	会員代表者	880-0122	宮崎市大字塩路2783-32	0	1
住宅型有料老人ホーム輪（りん）	0985-48-5300	会員代表者	880-2102	宮崎市有田水流田ノ上324-1	4	0
看護小規模多機能型居宅介護事業所やわらぎ	0985-47-6707	会員代表者	880-2112	宮崎市小松1133カーサ・アルパ老番館2階	2	0
カーサ・アルパ老番館2F看護小規模多機能	0985-47-6707	会員代表者	880-2112	宮崎市小松1133	1	0
グループホーム 太陽の丘	0985-85-8668	会員代表者	889-1601	宮崎市清武町木原5886-4	1	1
認定NPO法人ホームホスピス宮崎あさんの家	0985-53-6056	会員代表者	880-0913	宮崎市恒久2-19-6	2	1
NPO法人ゆめ家族	0985-30-2360	会員代表者	880-0037	宮崎市南方町迫ノ山159番地	2	2
メンタルヘルスマネジメント宮崎CLEAR	080-3908-5574	会員代表者	880-0013	宮崎市松橋2-4-31宮崎県中小企業会館5階505	1	0
ニチイケアセンター神宮	0985-35-7161	会員代表者	880-0033	宮崎市神宮西2-138	1	1
Family Care House とも	090-3662-0086	森伴子	880-0053	宮崎市神宮1-235	1	1
きら助産院	0985-74-0693	白池晶	880-0301	宮崎市佐土原町上田島1144-36	1	1
宮崎県看護連盟	0985-58-2724	渡部京子	889-2155	宮崎市学園木花台西2-4-6	4	4
宮崎県看護協会事務局	0985-58-0622	中武郁子	889-2155	宮崎市学園木花台西2-4-6	22	22
宮崎大学医学部附属病院	0985-85-9207	福満美和	889-1692	宮崎市清武町木原5200	560	648

施設名	電話番号	代表者氏名	〒	住所	入会者数	
					R6. 4. 30 現在	R5年度
独立行政法人国立病院機構 宮崎東病院	0985-56-2311	坂元安恵	880-0911	宮崎市大字田吉4374-1	28	27
宮崎県立宮崎病院	0985-24-4181	日高明美	880-8510	宮崎市北高松町5-30	458	498
宮崎県立こども療育センター	0985-85-6500	松山郁子	889-1601	宮崎市清武町木原4257-8	44	41
宮崎市立田野病院	0985-86-1155(代)	白坂幸子	889-1704	宮崎市田野町南原1丁目6番地2	29	30
宮崎江南病院	0985-51-7575	三原直子	880-8585	宮崎市大坪町西1-2-1	261	271
古賀総合病院	0985-39-6178	和泉貴子	880-0041	宮崎市池内町数太木1749-1	293	305
古賀ケアプランセンター	0985-39-9150	会員代表者	880-0041	宮崎市池内町数太木1763-3		
潤和会記念病院	0985-47-5555	西橋富美江	880-2112	宮崎市大字小松1119	308	335
井上病院	0985-39-5396	川崎誉一郎	880-0123	宮崎市大字芳士80	25	28
高宮病院	0985-24-5678	白濱美保子	880-0841	宮崎市吉村町大町前甲1931	80	91
宮崎市郡医師会病院	0985-77-9101	新名麻理子	880-2102	宮崎市大字有田1173	355	357
若草病院	0985-28-2801	小川和彦	880-0804	宮崎市宮田町7-37	59	65
訪問看護ステーションそら	0985-65-5880	会員代表者	880-0804	宮崎市宮田町7-4如月こかげ館3階		
訪問看護ステーションこころ	0985-78-6800	会員代表者	880-0840	宮崎市宮田町8-7赤レンガ館401		
訪問看護ステーションひなた	0983-32-0881	会員代表者	884-0001	児湯郡高鍋町大字高鍋町694-1メゾンサティールユ1階1号室		
宮崎生協病院	0985-24-6877	井上友香	880-0824	宮崎市大島町天神前1171	87	100
野崎病院	0985-51-3111	中山諒一	880-0916	宮崎市大字恒久5567	9	13
迫田病院	0985-51-3555	江藤けさよ	880-0917	宮崎市城ヶ崎3-2-1	33	39
南部病院	0985-54-5353	山下千夏	880-0916	宮崎市大字恒久891-14	21	24
平和台病院	0985-24-2605	脇坂幸江	880-0034	宮崎市矢の先町150-1	78	84
金丸脳神経外科病院	0985-39-8484	川野由美子	880-0041	宮崎市池内町八幡田803	18	18
さがら病院宮崎	0985-32-7170	石川章子	880-0052	宮崎市丸山2丁目112-1	43	42
竹内病院	0985-26-0123	山村由枝	880-0032	宮崎市霧島2-260	14	17
慈英病院	0985-23-5000	小川登喜子	880-0853	宮崎市中西町160番地	14	22
野崎東病院	0985-28-8555	新原幸子	880-0837	宮崎市村角町高尊2105	62	77
宮崎若久病院	0985-51-1548	小村哲郎	880-0945	宮崎市福島町寺山3147	22	20
増田病院	0985-41-1234	川越義壽	880-0045	宮崎市大字大瀬町2176-1	34	34
大江整形外科病院	0985-25-6300	尾下あけみ	880-0022	宮崎市大橋1-94-1	18	26
宮崎医療センター病院	0985-26-2800	中山秀昭	880-0003	宮崎市高松町2-16	147	167
宮崎善仁会病院	0985-26-1599	東原美由紀	880-0834	宮崎市新別府町江口950-1	175	202
阿波岐ヶ原病院	0985-26-5050	比恵島直美	880-0835	宮崎市阿波岐ヶ原町前浜4276	2	2
城山病院	0985-85-0036	松下由美子	889-1604	宮崎市清武町船引238	1	4
宮崎中央眼科病院	0985-24-8661	三角裕子	880-0021	宮崎市清水3丁目6番21号	12	13
大塚小松台眼科	0985-75-0100	会員代表者	880-0951	宮崎市大塚町無量寺道下78-3	3	2
藤木病院	0985-47-0415	会員代表者	880-2112	宮崎市大字小松2988番地	0	2
辰元病院	0985-82-3531	会員代表者	880-2224	宮崎市高岡町飯田2089-1	1	1
けいめい記念病院	0985-75-7007	後藤美紀	880-1111	東諸県郡国富町岩知野六江762	9	10
近間病院	0985-24-2418	会員代表者	880-0836	宮崎市山崎町965-6	2	2
海老原病院	0985-75-2115	会員代表者	880-1101	東諸県郡国富町本庄4365	2	2
古賀駅前クリニック	0985-22-2111	会員代表者	880-0812	宮崎市高千穂通2-7-14	15	17
このはな生協クリニック	0985-58-1222	会員代表者	889-2151	宮崎市大字熊野1613	4	5
おおつか生協クリニック	0985-52-6715	上岡奈々	880-0951	宮崎市大塚町大迫南平4401-1	4	4
和知川原生協クリニック	0985-23-0050	飯干真代	880-0023	宮崎市和知川原2-25-1	6	3
こごうメンタルクリニック	0985-55-1777	小野綾子	880-0905	宮崎市中村西3-2-33	1	1
野間内科クリニック	0985-77-5775	会員代表者	880-0823	宮崎市北権現町220-1	6	6
ふくどめクリニック	0985-41-7700	会員代表者	880-0924	宮崎市大字郡司分甲1600-1	0	4
生目台カリヨンクリニック	0985-77-7501	会員代表者	880-0942	宮崎市生目台東4-6-1	5	5
のぎきクリニック	0985-61-7751	会員代表者	880-0879	宮崎市宮崎駅東3-9-13	1	1
プレストセンターさがらクリニック宮崎	0985-23-5400	会員代表者	880-0015	宮崎市大工1-10-28ひむかワールドビル6F	4	4
市民の森クリニック	0985-39-7630	会員代表者	880-0122	宮崎市大字塩路2783-37	3	3
あおやま訪問・救急クリニック	050-5530-4013	会員代表者	880-0041	宮崎市池内町榎迫523-25	0	1

施設名	電話番号	代表者氏名	〒	住所	入会者数	
					R6. 4. 30 現在	R5年度
マナビヤ在宅クリニックun	0985-41-6310	会員代表者	880-0865	宮崎市松山2-2-32 TMビル5F	0	1
タナカ在宅クリニック	0985-55-0225	鮫島文子	880-0211	宮崎市佐土原町下田島20297-45	2	1
宮崎鶴田記念クリニックがん診断センター	0985-31-3719	会員代表者	880-0835	宮崎市阿波岐原町宝財2281-1	0	1
いしかわ内科	0985-32-2234	渡邊紀代子	880-0033	宮崎市神宮西1-49-1	4	5
外山内科神経内科医院	0985-28-1388	会員代表者	880-0841	宮崎市吉村町境目甲1529-1	2	2
なかしま外科・内科	0985-52-6511	串間由紀枝	880-0904	宮崎市中村東2丁目4-8	1	1
南宮崎ヤマモト腎泌尿器科	0985-71-2888	会員代表者	880-0916	宮崎市恒久1383-1	3	3
上田脳神経外科	0985-52-3500	金丸江理子	880-0925	宮崎市本郷北方2703	2	2
ゆげ小児科弓削整形外科	0985-25-7115	会員代表者	880-0806	宮崎市広島1-1-18	1	1
獅子目整形外科病院	0985-39-1052	会員代表者	880-0121	宮崎市島之内6654	0	0
結い診療所	0985-30-7383	北村 紗希	880-1303	東諸県郡綾町南俣字桑下319-4	1	0
はた産婦人科	0985-25-3511	会員代表者	880-0023	宮崎市和知川原1-107	1	1
青木皮膚科	0985-23-2011	境孝子	880-0873	宮崎市堀川町103	1	1

都城・北諸県地区(都城市、三股町) 927 名

施設名	電話番号	代表者氏名	〒	住所	入会者数	
					R6. 4. 30 現在	R5年度
宮崎県都城保健所	0986-23-4504	益留真由美	885-0012	都城市上川東3-14-3	9	14
南部福祉こどもセンター	0986-22-4294	会員代表者	885-0017	都城市年見町14-1-1	1	1
一般社団法人都城市北諸県医師会	0986-22-0711	会員代表者	885-0073	都城市姫城町8街区23号	1	1
藤元総合訪問看護ステーション	0986-25-1330	会員代表者	885-0055	都城市早鈴町17-1	5	10
都城市郡医師会立訪問看護ステーション	0986-57-0086	岩満雪美	885-0002	都城市太郎坊町1364-1	5	6
三股町訪問看護ステーションなごみ	0986-52-7133	会員代表者	889-1901	北諸県郡三股町樺山3384-2	1	2
訪問看護ステーション優癒	0986-58-3678	梅垣亜由美	885-1203	都城市高城町大井手2167-41	4	7
訪問看護ステーションほほえみの園	0986-36-8177	会員代表者	885-0042	都城市長飯町5-1	4	4
訪問看護ステーションひだまり	0986-25-4285	会員代表者	885-0093	都城市志比田町4539-1	1	1
訪問看護ステーションcocoro美	0986-77-8186	隅元美乃里	885-0042	都城市上長飯町58-13	1	1
訪問看護ステーション紬（つむぎ）	0986-51-4758	河野美緒	885-0035	都城市立野町3633-1	3	3
訪問看護ステーション笑歩	0986-38-5568	会員代表者	885-0004	都城市都北町5576-1-2F	0	0
介護老人保健施設 すこやか苑	0986-39-1107	安藤美保	885-0062	都城市大岩田町5812	1	1
介護老人保健施設 はまゆう	09876-51-0001	会員代表者	889-1914	北諸県郡三股町蓼池660	0	0
星空の都なかごう	0986-39-1111	会員代表者	885-0043	都城市豊満町2647	1	1
遊癒の里おおいで	0986-58-4816	会員代表者	885-1203	都城市高城町大井手2166-1	0	1
デイサービス遊癒	0986-36-7872	会員代表者	885-0055	都城市早鈴町1990イオン都城ショッピングセンター 2F	1	0
えりこ助産院	0986-39-3234	会員代表者	885-0063	都城市梅北町4265-2	1	1
みやこぼるこども縁	0986-22-4323	会員代表者	885-0094	都城市都原町11-5	2	2
メンタルサポートyuki	0986-66-5136	会員代表者	885-0033	都城市妻ヶ丘町40-16-B	1	1
独立行政法人国立病院機構都城医療センター	0986-23-4111	田中久美	885-0014	都城市祝吉町5033-1	175	200
都城市郡医師会病院	0986-36-8300	上森妃美	885-0002	都城市太郎坊町1364-1	248	277
宮永病院	0986-22-2015	会員代表者	885-0077	都城市松元町15-10	16	20
藤元病院	0986-25-1315	中山秋子	885-0055	都城市早鈴町17-4	95	128
藤元総合病院	0986-22-1717	荒武昌代	885-0055	都城市早鈴町17-1	165	194
小牧病院	0986-24-1212	会員代表者	885-0035	都城市立野町5-5-1	12	12
倉内整形外科病院	0986-22-1252	会員代表者	885-0072	都城市上町16-6	2	2
藤元上町病院	0986-23-4000	会員代表者	885-0072	都城市上町10-24	8	8
メディカルシティ東部病院	0986-22-2240	西照代	885-0035	都城市立野町3633-1	18	15
都城新生病院	0986-22-0280	久保和男	885-0093	都城市志比田町3782	0	1
三州病院	0986-22-0230	会員代表者	885-0037	都城市花繰町3-14	13	18
宮田眼科病院	0986-22-1441	肝属千加子	885-0051	都城市蔵原町6-3	6	8
横山病院	0986-22-2806	会員代表者	885-0083	都城市都島町506	23	27
吉見病院	0986-58-2335	福留義広	885-1202	都城市穂満坊457-1	0	3

施 設 名	電話番号	代表者氏名	〒	住 所	入会者数	
					R6. 4. 30 現在	R5年度
城南病院	0986-23-2844	会員代表者	885-0026	都城市大王町30-5	1	1
飯田病院	0986-22-0563	会員代表者	885-0072	都城市上町9-10	0	1
大悟病院	0986-52-5800	谷口光恵	889-1911	北諸県郡三股町大字長田1270	87	110
森山内科・脳神経外科	0986-21-5000	会員代表者	885-0082	都城市南鷹尾24-20	6	6
野田医院	0986-24-8553	会員代表者	885-0051	都城市蔵原町9-18	3	3
すみ産婦人科医院	0986-23-1152	松下深雪	885-0052	都城市東町14街区9-1号	5	4
中山産婦人科医院	0986-23-8815	会員代表者	885-0025	都城市前田町17-32	2	2

小林・えびの・西諸県地区(小林市、えびの市、高原町) 382 名

施 設 名	電話番号	代表者氏名	〒	住 所	入会者数	
					R6. 4. 30 現在	R5年度
宮崎県小林保健所	0984-23-3118	高藤ユキ	886-0003	小林市堤3020-13	7	9
のじり地域包括支援センター	0984-44-2271	会員代表者	886-0212	小林市野尻町東麓1159-3	1	0
高原町総合保健福祉センター「ほほえみ館」	0984-42-4820	中村みどり	889-4412	西諸県郡高原町大字西麓360-1	2	2
訪問看護ステーションなでしこ1号館	0984-24-1828	高野久美子	886-0003	小林市堤2260-1	4	4
訪問看護ステーションひかり	0984-33-6300	福迫千香	889-4301	えびの市大字原田2200-9	5	6
訪問看護ステーションケアふる	0984-35-1601	会員代表者	889-4221	えびの市大字栗下209-5	1	1
訪問看護ステーションおじゃったもんせ	0984-27-3133	会員代表者	886-0003	小林市堤3702-2	2	1
訪問看護ステーションなごみ	0984-25-7101	川野小百合	886-0212	小林市野尻町東麓1085-2	1	2
訪問看護ステーションみなづき	0984-47-0815	会員代表者	889-4412	西諸県郡高原町大字西麓88	0	1
特別養護老人ホーム八幡の里	0984-27-4165	会員代表者	889-4301	えびの市原田403-27	0	1
ケアサポートステーションすみれ	0984-33-3405	会員代表者	886-0003	小林市堤3742-12	0	0
小林市立病院	0984-23-4711	武田愛	886-8503	小林市細野2235-3	101	106
池井病院/介護老人保健施設みずほ	0984-23-4151	亀澤秀一	886-0007	小林市真方87	52	64
整形外科押領司病院	0984-22-3131	会員代表者	886-0004	小林市大字細野162	25	29
桑原記念病院	0984-22-4138	会員代表者	886-0004	小林市大字細野167	9	17
園田病院	0984-22-2221	会員代表者	886-0003	小林市大字堤3005-1	10	13
整形外科前原病院	0984-23-1711	津貫恵子	886-0004	小林市大字細野2033	48	58
槇内視鏡内科医院	0984-22-2819	酒匂みどり	886-0007	小林市大字真方242	6	6
内村病院	0984-23-2575	小川賢二	886-0002	小林市水流迫852-1	18	19
野尻中央病院	0984-44-1141	会員代表者	886-0212	小林市野尻町東麓1176	34	46
沖内科・小児科医院	0984-22-4043	会員代表者	886-0004	小林市細野59-8	1	1
和田クリニック	0984-23-5653	会員代表者	886-0003	小林市堤3727-1	0	1
池田病院	0984-23-3535	会員代表者	886-0007	小林市真方27-1	3	5
押川病院	0984-44-1005	会員代表者	886-0212	小林市野尻町東麓1082-1	1	1
えびの市立病院	0984-33-1023	山之口和樹	889-4301	えびの市原田3223	21	23
京町共立クリニック	0984-37-1011	会員代表者	889-4151	えびの市向江508	2	2
国民健康保険高原病院	0984-42-1022	古川裕恵	889-4412	西諸県郡高原町大字西麓871	26	36
川井田医院	0984-42-2000	会員代表者	889-4412	西諸県郡高原町西麓173-3	1	1
堀胃腸科外科医院	0984-23-3988	会員代表者	886-0004	小林市細野436-10	1	1

日南・串間地区(日南市、串間市) 505名

施 設 名	電話番号	代表者氏名	〒	住 所	入会者数	
					R6. 4. 30 現在	R5年度
宮崎県日南保健所	0987-23-3141	後藤由佳	889-2536	日南市吾田西1-5-10	10	10
はまぼろ訪問看護ステーション	0987-27-0021	野口初代	889-3143	日南市下方1376番地4	2	2
訪問看護ステーションひなこ (ST凛へ)	0987-67-5762	会員代表者	889-2536	日南市吾田西1-3-24コスモマンション戸高212	0	1
訪問看護ステーション凜	0987-55-0950	会員代表者	889-2532	日南市大字板敷858-4	0	0
なないろ訪問看護ステーション	0987-27-3133	崎田聡美	889-2536	日南市吾田西3-8-23星のグリーンテラス内	3	3
日南慶明会訪問看護ステーション	0987-55-1515	井上早智子	889-2535	日南市飢肥6丁目6番5号	2	3
介護老人保健施設おびの里	0987-25-2012	会員代表者	889-2535	日南市飢肥6-1-15	0	0
居宅プランなごみ	0987-32-0017	野邊子つる	887-0024	日南市西弁分137	1	1
宮崎県立日南病院	0987-23-3111(代)	井上洋子	887-0013	日南市木山1-9-5	233	249
日南市立中部病院	0987-27-1111	倉元幸恵	889-3141	日南市大堂津5-10-1	55	53
谷口病院	0987-23-1331	会員代表者	887-0034	日南市大字風田3861	23	28
愛泉会日南病院	0987-23-3131	山中ゆかり	887-0034	日南市大字風田3649-2	89	98
おび中央病院	0987-25-2525	池永博恵	889-2535	日南市飢肥6-2-28	12	10
春光会記念病院	0987-22-2324	田中茂子	889-2533	日南市大字星倉4600番 1	11	11
串間市民病院	0987-72-1234	清水小百合	888-0001	串間市大字西方7917	58	64
県南病院	0987-72-0224	会員代表者	888-0001	串間市大字西方3728	6	7

大学・学校 183 名

施 設 名	電話番号	代表者氏名	〒	住 所	入会者数	
					R6. 4. 30 現在	R5年度
延岡看護専門学校	0982-21-1305	門田広美	882-0856	延岡市出北6丁目1621番地	14	16
聖心ウルスラ学園高等学校	0982-33-3203	江藤ますみ	882-0863	延岡市緑ヶ丘5-1-12	12	14
宮崎医療福祉専門学校	0983-42-1010	藤澤豊子	881-0004	西都市大字清水1000	10	12
児湯准看護学校	0983-23-2008	鍋倉扶美	884-0002	児湯郡高鍋町大字北高鍋160-1	4	4
宮崎看護専門学校	0985-77-9102	平原久美	880-2102	宮崎市大字有田1173	10	11
鵬翔高等学校	0985-52-0880	日向加穂子	880-0916	宮崎市大字恒久4336	16	18
宮崎県立看護大学	0985-59-7725	長鶴美佐子	880-0929	宮崎市まなび野3-5-1	44	53
九州医療科学大学専門学校	0985-29-5340	会員代表者	880-0867	宮崎市瀬頭2-1-10	0	10
日南学園高等学校田野看護専攻科・宮崎穎学館	0985-86-1021	中野里美	889-1702	宮崎市田野町乙10905	3	3
宮崎大学医学部看護学科	0985-85-9837	野間口千香穂	889-1692	宮崎市清武町木原5200	14	18
フィオーレKOGA看護専門学校	0985-38-8010	比恵島知子	880-0879	宮崎市宮崎駅東2-2-10	14	12
国立病院機構都城医療センター附属看護学校	0986-22-3690	石原史絵	885-0014	都城市祝吉町5033-1	5	5
都城看護専門学校	0986-22-0775	水津賢二	885-0073	都城市姫城町8-23	13	12
藤元メディカルシステム付属医療専門学校	0986-52-6921	竹ノ内道子	889-1911	北諸県郡三股町大字長田字丸岡1258-1	3	7
小林看護医療専門学校	0984-27-3010	深見信子	886-0009	小林市駅南309番地	11	10
日南学園高等学校日南看護専攻科	0987-23-1152	井上香代子	887-0031	日南市吾田東3-5-1	1	2
日南看護専門学校	0987-23-1883	小川淳子	887-0013	日南市大字木山2-4-16	9	9

個人会員 860 名

延岡・西臼杵地区	103名	日向・東臼杵地区	57名	西都・児湯地区	63名
宮崎・東諸県地区	433名	都城・北諸県地区	106名	小林・えびの・西諸県地区	51名
日南・串間地区	39名	県外	8名		

日本看護協会名誉会員 5名

鈴木 昌 子

山口 も と 代

串 間 秀 子

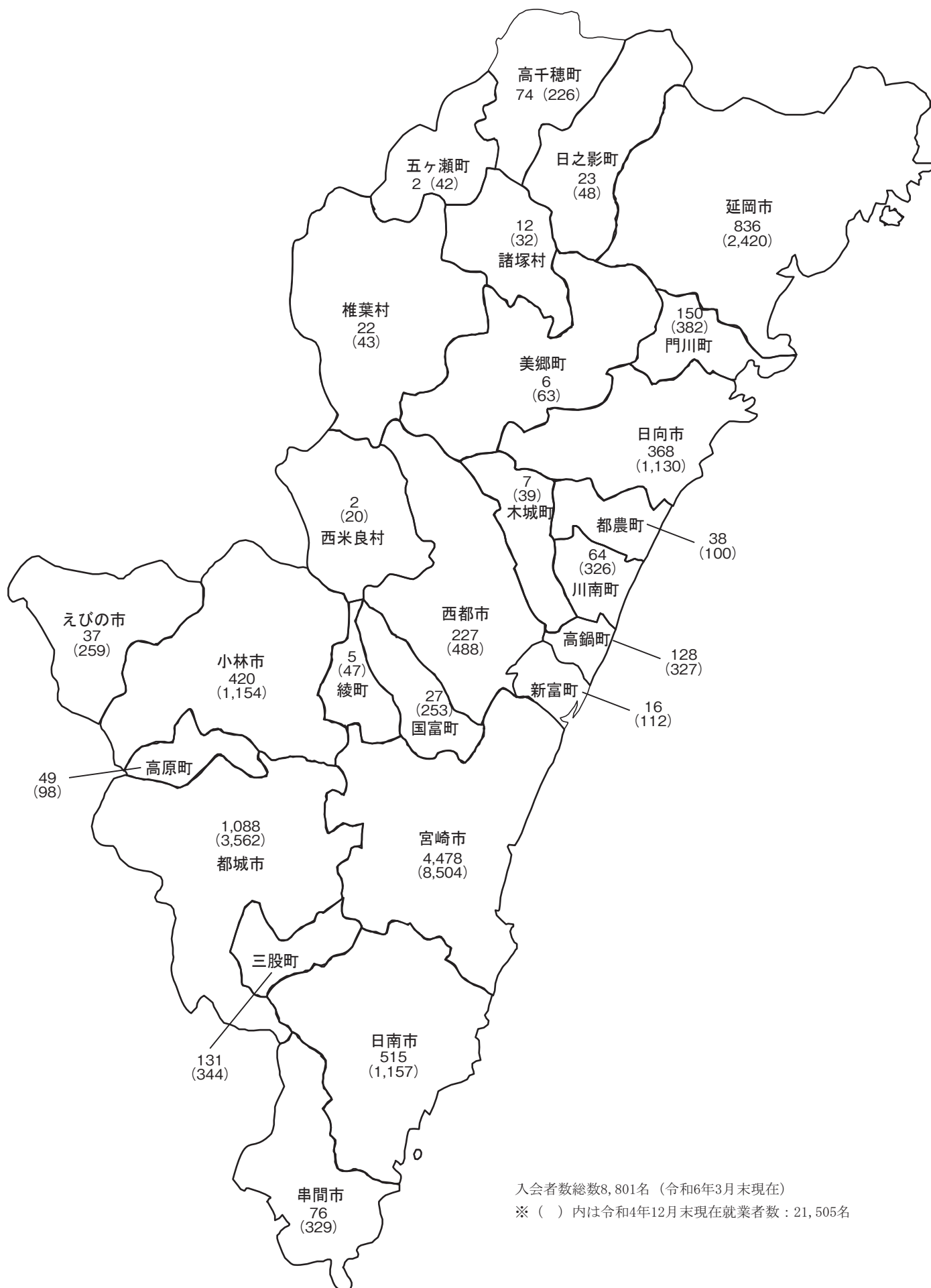
瀬 口 チ ホ

林 チ エ 子

宮崎県看護協会年次別入会者数

年度	保健師	助産師	看護師	准看護師	計	前年度比
57	195	1,625		502	2,322	
58	204	96	1,611	497	2,408	86
59	207	101	1,666	463	2,437	29
60	208	114	1,907	460	2,689	252
61	211	111	1,953	451	2,726	37
62	218	116	2,084	442	2,860	134
63	237	123	2,164	478	3,002	142
平成 元	240	112	2,291	482	3,125	123
2	235	126	2,340	485	3,186	61
3	239	120	2,438	471	3,268	82
4	248	110	2,520	499	3,377	109
5	234	122	2,604	554	3,514	137
6	220	127	2,721	571	3,639	125
7	222	130	3,020	569	3,941	302
8	221	132	3,177	596	4,126	185
9	239	143	3,445	642	4,469	343
10	244	149	3,822	724	4,939	470
11	266	137	4,043	699	5,145	206
12	256	157	4,139	666	5,218	73
13	245	166	4,221	671	5,303	85
14	248	167	4,502	697	5,614	311
15	247	164	4,760	659	5,830	216
16	216	176	4,947	720	6,059	229
17	249	180	5,081	731	6,241	182
18	249	176	5,276	738	6,439	198
19	236	196	5,552	769	6,753	314
20	227	193	5,786	788	6,994	241
21	231	209	6,070	834	7,344	350
22	243	217	6,324	800	7,584	240
23	241	233	6,470	771	7,715	131
24	234	222	6,670	783	7,909	194
25	222	229	6,789	760	8,000	91
26	225	233	6,949	749	8,156	156
27	226	234	7,099	704	8,263	107
28	212	236	7,200	641	8,289	26
29	229	220	7,272	609	8,330	41
30	232	230	7,571	620	8,653	323
令和 元	225	253	7,750	593	8,821	168
2	229	242	7,864	576	8,911	90
3	226	251	7,931	535	8,943	32
4	223	258	7,967	487	8,935	△ 8
5	225	261	7,884	431	8,801	△ 134

県内就業者数と入会状況（令和5年度）



入会者数総数8,801名（令和6年3月末現在）

※（ ）内は令和4年12月末現在就業者数：21,505名

会 員 数 と 入 会 率

	合 計			保 健 師			助 産 師			看 護 師			准 看 護 師		
	06.3.31 現在 会 員 数	05.3.31 現在 会 員 数(a)	04.3.31 現在 会 員 数(b)	06.3.31 現在 会 員 数	05.3.31 現在 会 員 数(a)	04.3.31 現在 会 員 数(b)	06.3.31 現在 会 員 数	05.3.31 現在 会 員 数(a)	04.3.31 現在 会 員 数(b)	06.3.31 現在 会 員 数	05.3.31 現在 会 員 数(a)	04.3.31 現在 会 員 数(b)	06.3.31 現在 会 員 数	05.3.31 現在 会 員 数(a)	04.3.31 現在 会 員 数(b)
	人	(a/b)	%	人	(a/b)	%	人	(a/b)	%	人	(a/b)	%	人	(a/b)	%
北海道	42,375	43,251	85,100	1,131	3,288	36	1,314	1,313	94	38,256	38,928	67,176	1,674	1,834	13,065
青 森	8,557	8,663	18,886	212	709	33	324	329	87	7,724	7,775	13,463	297	325	4,374
岩 手	7,756	7,760	18,087	306	831	38	329	336	394	7,003	6,967	14,383	118	141	2,479
宮 城	13,035	13,065	27,883	47	1,165	23	660	657	771	11,819	11,816	21,304	293	323	4,643
秋 田	6,811	6,950	15,267	162	625	29	298	305	284	6,279	6,383	11,767	72	83	2,591
山 形	7,960	7,976	15,850	337	720	49	372	367	360	7,125	7,127	12,391	126	132	2,379
福 島	12,303	12,501	25,631	49	1,112	33	412	419	604	10,884	10,970	18,236	657	743	6,577
茨 城	15,904	16,031	32,641	49	1,357	27	598	591	761	14,103	14,143	24,148	850	928	6,375
栃 木	12,425	12,561	25,696	49	1,093	47	411	407	571	10,971	11,059	18,046	535	585	6,386
群 衆	11,479	11,597	27,698	42	1,132	54	357	358	547	10,031	10,066	19,868	506	566	6,111
神 奈 川	24,919	25,437	69,532	37	2,311	18	960	953	1,615	23,070	23,521	54,603	494	550	11,003
玉 手	28,034	28,583	62,016	46	391	24	401	419	1,603	26,005	26,431	49,888	722	827	8,064
京 東	42,982	45,206	145,776	31	4,821	8	2,095	2,157	4,184	40,128	42,206	125,480	369	437	11,292
新 潟	36,503	37,707	87,768	43	2,862	25	1,254	1,317	2,494	34,184	35,248	75,074	417	440	7,338
山 梨	16,080	16,275	30,281	54	1,246	67	600	616	742	14,206	14,342	23,798	440	488	4,495
山 梨	5,949	5,999	11,316	492	646	79	185	192	255	5,116	5,134	8,658	156	164	1,757
山 梨	14,732	14,857	31,203	1,094	1,857	59	691	712	872	12,714	12,802	24,403	233	251	4,071
山 梨	8,961	8,982	17,150	52	514	15	402	407	430	7,958	7,975	13,404	87	92	2,595
山 梨	9,711	9,877	18,642	53	234	10	339	308	389	9,084	9,084	15,251	229	252	2,379
山 梨	6,499	6,623	12,845	220	528	41	217	220	258	5,911	6,003	9,555	151	183	2,504
山 梨	12,693	12,711	25,404	50	1,122	31	453	464	640	11,447	11,412	18,552	448	482	5,090
山 梨	40,465	40,566	83,420	49	1,891	27	882	894	1,085	20,729	20,697	35,953	573	617	5,581
山 梨	11,748	11,934	24,479	49	3,066	19	1,638	1,637	2,334	37,648	37,660	66,768	613	679	11,252
山 梨	9,211	9,270	17,478	53	859	17	359	379	496	10,821	10,960	18,910	451	482	4,214
山 梨	16,697	17,101	35,245	49	723	47	324	314	536	8,414	8,449	14,857	147	167	1,362
山 梨	52,964	54,917	102,959	53	1,368	22	624	643	929	15,345	15,675	29,240	447	484	3,708
山 梨	31,389	32,094	71,107	45	2,223	29	1,028	1,053	1,543	29,111	29,691	58,797	597	695	8,544
山 梨	6,118	6,178	14,962	41	648	19	302	311	408	6,997	6,924	14,185	277	310	1,758
山 梨	4,296	4,375	10,123	43	535	27	213	213	253	5,674	5,716	11,538	95	105	2,636
山 梨	5,828	5,927	12,642	47	388	28	209	213	246	3,946	4,008	7,742	42	46	1,747
山 梨	17,664	17,714	34,014	59	727	17	284	291	334	5,187	5,247	9,284	105	118	2,451
山 梨	20,063	20,387	40,944	45	1,159	63	435	423	560	15,961	15,851	24,654	541	595	3,641
山 梨	10,112	10,250	25,059	41	1,455	25	485	512	727	13,457	13,656	33,314	779	862	9,448
山 梨	4,810	4,815	13,488	36	783	61	324	321	411	8,946	9,030	18,227	381	422	5,638
山 梨	7,677	7,714	16,479	47	476	27	247	247	273	4,362	4,385	9,548	58	55	3,191
山 梨	10,146	10,296	22,575	46	628	34	309	306	318	6,969	6,985	11,997	196	211	3,536
山 梨	6,270	6,405	14,934	43	763	47	235	236	289	8,283	8,413	17,205	276	292	2,757
山 梨	42,860	43,409	83,040	52	2,314	30	1,055	1,063	1,597	7,754	7,872	11,393	240	260	2,757
山 梨	5,462	5,598	16,564	34	552	34	109	115	245	4,956	5,052	11,766	212	244	4,001
山 梨	9,790	9,913	26,023	38	824	20	203	212	471	9,152	9,243	18,798	274	292	5,930
山 梨	15,640	15,745	34,868	45	1,103	43	386	393	508	13,674	13,683	24,586	56	56	8,671
山 梨	10,103	10,160	21,650	47	830	67	210	219	369	8,770	8,803	15,700	569	605	4,751
山 梨	8,801	8,935	21,505	42	746	31	263	263	353	7,907	7,985	15,097	406	459	5,309
山 梨	12,241	12,446	32,398	38	1,026	45	389	391	614	10,957	11,106	23,322	435	488	7,236
山 梨	10,326	10,387	22,281	47	917	32	419	432	573	9,334	9,342	17,694	289	320	3,097
合 計	748,707	761,443	1,664,378	46	60,299	32	26,331	26,708	38,063	682,728	692,454	1,311,087	20,917	23,018	254,329
				18,731	841	19,283	859		70						9

注 (1) 就業者数は『令和4年度 衛生行政報告例』により計上。
(2) 「入会率」は、令和5年3月31日現在の会員数で算出。
(3) 各都道府県の会員数は、住所変更に伴う他県への移動により、各都道府県の会費納入者数(令和4年度決算報告書)とは異なる。
(4) 「保健師」、「看護師」、「准看護師」欄の()内は男子の専従。

光 求めて

山本 敏子 作詞

小椋 佳 補作詞・作曲

1. 大空のもと 光求めて
 看護の心 胸深く
 両手にかざす 愛のほむらは
 静かに燃える 優しく燃える
 今 この時 そして明日に

C F

1. お お ぞ ら の も と — ひ か
2. さ ざ な み に ゆ れ — ひ か
3. そ よ か ぜ に の り — ひ か

Dm7 Am G7 C F

り も と め て — か ん こ の
り も と め て — か ん こ の
り も と め て — か ん こ の

2. さざなみに揺れ 光求めて
 看護の願い 胸熱く
 つなぐその手に 通う血潮は
 さやかにとける 優しくとける
 ただ ひとすじ またひたむきに

Dm7 G7 C G7 C
 こねい ろむねふかつく
 ねいがの むむねあきく
 りよ う て に か ざ す ー あ い
 つ な く ぐ そ の に た に つ ー か い
 ま な く ら そ の に た に つ ー は な

3. そよ風に乗り 光求めて
 看護の祈り 胸清く
 枕べにたつ 花の香りは
 ほのかに匂う 優しく匂う
 今 この時 そして明日に
 今 この時 そして明日に

Am G7 F

の ほ む ら は しず か に も え
う ち し お り は さ や か に と け
の か お り は ほ の か に お

E7 Am F G7

る — や さ し く も え る — い
る — や さ し く と け る — た
う — や さ し く に お う — い

C F G7 (F/G)

ま こ の と き — そ し て あ し た
だ ひ と す じ き — ま し た ひ あ た む た
ま こ の と き — そ し て あ し た

1.2.C 3.C C

に — に — い ま こ の と
に —

F G7 (F/G) C

き — そ し て あ し た に —

かんごちゃん



公益社団法人宮崎県看護協会

〒889-2155

宮崎県宮崎市学園木花台西 2-4-6

TEL : 0985-58-0622

FAX : 0985-58-2939